

令和4年度行政評価

施策評価票

(対象：令和3年度事業分)

施策評価票

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- ◎基礎的な学力・体力の向上
- ◎時代の変化に対応した教育の推進
- ◎多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援
- ◎豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ◎地域とともにある学校づくり
- ◎教育環境の整備
- ◎地域で育む教育の推進
- ◎特色ある交流事業の推進

2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供

- ◎生涯各期における学習活動の充実
- ◎社会教育の充実と活性化
- ◎多様な分野の学習活動の促進
- ◎自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築

3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実

- ◎芸術文化の振興
- ◎文化財の保護継承と活用
- ◎地域の芸術文化の創造
- ◎山岳文化の振興と活用
- ◎スポーツの振興

◆1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成◆

子どもたちを取り巻く課題は、少子化による児童数や学級数の減少に伴う教育環境の維持、確保のほか、教育の格差やいじめ、不登校、非行の問題など多岐にわたり、地域全体で解決に向けた取組みが求められています。

子どもたちを学校・家庭・地域が協働して支援するコミュニティ・スクールを推進し、郷土に誇りと愛着を持ち、将来への目的意識や自尊感情、人を思いやる心と社会において自立的に生きるために必要な「たくましく生きる力」を育みます。

また、コミュニティ・スクールの取組みの中で、今後の少子化を見据え、学校等の統廃合を含めた、あらゆるケースを想定しながら、幼児期を含めた教育のあり方全般について、地域とともに協議を進めます。

【基礎的な学力・体力の向上】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎基礎学力の定着と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実 ・30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習等の推進 ・基礎学力を向上させる取組みの推進 ・社会性の確立と基礎体力向上の促進 	学校教育課	<p>小・中すべての学校に30人規模学級を取り入れ、少人数による指導が実現している。</p> <p>小学校6学年、中学校3学年すべての学校で全国学力テストを実施、小学校国語では全国平均を下回り、算数は全国平均とほぼ同じ、中学校国語では全国平均を少し上回り、数学は全国平均を少し下回る結果であった。</p> <p>実態の正確な把握を行い、指導改善等を図りつつ、各校独自にPDCAサイクルを形成しながら学力向上に向けた仕組みを構築し、実態に即した具体的で効果的な取組みを実施した。</p> <p>自己有用感については、小中学校共に前回の令和元年度調査と比較し向上している傾向となっている。</p> <p>少人数指導のさらなる工夫改善に取り組む。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎小中一貫、小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育や連携教育の推進により、義務教育を一貫した教育課程でつなぐ協働の学びを通じた児童生徒の自立学習の促進 		<p>美麻義務教育学校では、一貫教育を実施、八坂小・中学校や大町北小学校と第一中学校などは連携教育を実施している。</p>	B
◎中高連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大町岳陽高校に中高連携教員を配置し、数学・英語教科などの連携の推進に加え、進路指導を充実 	学校教育課	<p>中高連携教育推進のために配置した中高連携加配講師等を効果的に活用し、大町岳陽高校との中高連携教育の推進と学力向上に取り組んでいる。</p> <p>【大町岳陽高校と連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一中…数学教育の向上 仁中…英語力の向上 	B
◎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「きらりおおまちサンプラン」や元気アップ運動の実践による正しい生活習慣の確立 スマイルマラソン、サーキットトレーニングなど体力向上の充実を図り、継続して定着化 		<p>運動やスポーツに対する意欲の向上、運動習慣の確立、生活習慣の改善を重点目標に設定。市内すべての小中学校の全学年で「新体力テスト」の実施、継続的にデータをチェック、検証しながら課題にあった体力づくりに取り組むとともに、学校・家庭・地域と連携しながら子どもたちの生活改善に取り組む。</p>	B
◎運動部活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 「中学生期のスポーツ活動指針」に基づく、適切で効果的な運動部活動の促進 		<p>活動指針に基づき、効果的な運動部活動を促している。また、市独自の活動方針により、活動時間等の適正な管理を実施している。</p>	B
◎学校給食における食育・地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食事を通じた教育や、地域の農産物や料理を通じて地域への理解を深め、児童生徒の健康な体づくりを促進 	学校教育課	<p>地産地消の取組みを更に推進するため、「大町を味わう日」を設けるなど、地域食材を通じた食育に力を入れている。</p>	B
		農林水産課	<p>JA大北による地元農産物の集出荷の支援を行い、学校給食における利用を進めている。地産地消として大町産有機米を美麻小中学校の給食に提供した。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【時代の変化に対応した教育の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アクティブラーニングの定着	・ICT機器を活用した、アクティブラーニングによる課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実践	学校教育課	ICT（情報通信技術）機器を活用しながら、主体的・対話的で深い学びを授業指導に積極的に導入し協働の学びを実践。国の指針に沿ったカリキュラムや時代に見合ったICT機器の更新・導入に取り組んでいる。	B
◎外国語学習の充実	・外国語指導助手（ALT）の積極的な活用		すべての市内中学校にALT（外国語指導助手）を配置している。併せて小学校の外国語活動へALTを派遣し、小学校の英語教科化に対応した。	A
◎正しいメディア教育の推進	・情報化社会の進展に対応した、適切なメディア教育の推進		情報教育研究委員会を定期的開催し適切な情報モラルが適切に進められているかなどを確認をし、メディア教育の推進を図っている。	B

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎特別支援教育態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に障がいを持つ児童生徒に対する支援態勢の整備充実 ・障がいのある子どもを含む全ての子どもが共に学ぶインクルーシブ教育の推進 ・教職員の確保と指導力の養成 	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援教育の充実によって、個に応じた支援体制を構築している。	B
◎特別支援指導員の配置	・発達障がい等を持つ児童生徒の通常学級への在籍に対応するための特別支援指導員の配置		教育相談委員会を通じ、早期把握や支援体制の確立を進めている。関係部署との、より充実した連携を推進する。	B
◎心身障がい児のための教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署、機関と連携した発達障がい児の早期把握と支援 ・教育相談委員会の充実 			

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

		子育て支援課	保育園、認定こども園、幼稚園において、5歳児発達相談及び巡回相談を実施。発達特徴の理解を深め、状況に応じ就学に向けた支援を実施している。	B
◎外国籍児童生徒に対する教育の充実	・外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実	学校教育課	通訳支援者を必要に応じて学校に配置して支援している。多様な言語に対応する通訳支援者の確保が難しく、併せて財政的負担が大きい。	B

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の様々な悩みや課題の早期発見、早期対応に向けたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置と関係機関の連携強化 ・学校が一丸となった課題の解決と、家庭や地域と連携した取り組みの推進 ・登校支援指導員や心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進 ・中間教室「アルプスの家」への適応指導員の配置による支援態勢の充実強化 	学校教育課	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に市内小中学校を訪問して、さまざまな悩みや課題に対応している。</p> <p>中間教室での支援体制や、関係づくりを充実するなかで、通室生徒の進学や、学校復帰を叶えている。</p>	A
		子育て支援課	<p>ケースワーカー、保健師、家庭児童相談員と学校職員等が連携し相談支援・就学支援を実施している。</p> <p>相談支援体制の充実及び強化の課題はあるが、関係機関との情報共有システムの導入により支援体制の強化が図られた。</p>	B
◎道徳教育・人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなど学校での悩みや課題を持つ児童生徒の早期発見と早期支援等解決に向けた取り組みの強化 ・いじめや不登校の児童生徒ゼロを目指し、人権教育を基本とした学校、学級づくりの推進 ・福祉、保健、医療等との連携強化やスクールカウンセラー等の支援、指導態勢の充実 	学校教育課	<p>児童・生徒の自主的活動により、「いじめ撲滅宣言」、「いじめのない学校宣言」等の取り組みを実施している。</p>	A
		生涯学習課	<p>地区人権を考える市民の集いを学校で開催し、児童生徒の人権に対する意識向上が図られている。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【地域とともにある学校づくり】

進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎コミュニティ・スクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を生かし、学校や家庭、地域住民が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の推進 児童数の減少に伴う学校のあり方や地域課題についての協議の場の設置 学校開放行事など地域に開かれた学校づくりの推進 特色ある学校づくりを通じた地域の活性化 地域人材の活用の推進 学社連携・融合事業の充実 	学校教育課	すべての市立学校を、学校・保護者・地域が連携して学校運営に参加する文科省型コミュニティ・スクールとして指定し、地域に開かれ、地域と一体となった学校づくりが進められている。	A
		生涯学習課	地域学校協働活動を支援し、学校運営協議会と共に、地域と共にある学校づくりを目指し、学舎連携・融合を図る。	B
◎社会人・職業人として自立に必要な能力、意欲の形成を図るキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育推進協議会を設置し、小学校・中学校・高等学校が一貫した連携態勢の整備 職場見学、職業体験学習先の登録制の導入と事業者による学校支援の充実 キャリア教育指導員による相談、支援の充実 	学校教育課	幼保から小・中・高まで連携し、一貫したキャリア教育を推進し、実践する連携指導体制の確立を図る。 職場体験や職場体験受入先の発掘等拡充が必要であり、市全体として構築した体制により、今後さらなる推進を図る。	B
		生涯学習課	不登校など特に支援が必要な子どもについて、義務教育終了後や進学・就職後も見守り、必要な支援や相談を提供する体制を取っている。義務教育終了後に支援が必要な子どもの把握が困難であり、課題となっている。	B
◎郷土を学ぶ体験学習、郷土愛・郷土に誇りを持つ気運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」を活用した体験学習や校外活動等による地域への理解を深める活動の推進と、郷土を愛する心の醸成 総合学習等の成果を市民に発表する機会の提供 	学校教育課	総合的な学習に地域との連携が進んでおり、学校ごと、お米作りや伝統工芸など、地域に根ざした学習を取り入れている。	A
◎学校支援員、ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校ボランティア等の人材育成の推進と活動の拡大 学校支援員の育成と相互の連携の強化 地域とともにある学校づくりと協働の気運の醸成 	生涯学習課	学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを進めている。 コーディネーターを中心に、学校ボランティアの活動推進や人材育成に取り組んでいる。	A

【教育環境の整備】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎幼児期を含めた教育のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行など時代の変化や地域の特性に応じた教育全般のあり方についての検討 	学校教育課	市全体の学校再編について令和3年9月に「大田市学校再編基本計画」を策定し、令和5年4月に大町中学校が開校、八坂小中学校が義務教育学校として開校する。旧市内4小学校は令和8年4月に統合予定している。	A
		子育て支援課	地域の幼児教育を担う私立幼稚園・認定こども園に対し運営支援を実施している。少子化に応じた施設のあり方について引き続き検討を行う。	C
◎施設・設備・機材の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なひとづくりにつながる小中学校の施設整備の検討や実施 ・教育環境の充実を図るための、設備・機材等の整備 	学校教育課	<p>特に小学校は老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、大田市ファシリティマネジメントのなかで学校の統廃合も含め改修計画の策定と財源確保を検討していく。</p> <p>理科教育設備整備等補助金の活用など教育環境の充実を図っている。</p> <p>トイレ洋式化事業を美麻小中学校、八坂小学校、仁科台中学校で実施。トイレ環境の改善と感染症対策を図った。</p>	B
◎就学支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・就学費助成の実施 ・私立高等学校就学生徒への就学助成の実施 		<p>経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。</p> <p>保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生徒奨学補助事業を実施している。</p>	A
◎奨学金の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学、専門学校に就学する学生に対する奨学金制度の充実 ・新たな給付型奨学金制度の創設による、大学生等に対する就学支援の拡充 		市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。平成29年度から給付型奨学金制度を創設し、支援の充実を図っている。	A

第1 心るさに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎通学の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおまち子ども安心・安全マップ」の周知による危険箇所の情報共有と、通学時の児童生徒に対する地域の見守り態勢の確立 ・遠隔地の子どもの足を確保するためのスクールバスの運行 	<p>学校教育課</p>	<p>市ホームページにおいて、通学時などに気を付けなければいけない危険箇所等の情報を公開し、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続、関係機関が連携した取り組みを推進する。</p> <p>通学管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を設置し、「大町市通学路交通安全プログラム」を策定した。継続して取り組んでいく。</p> <p>スクールバスは、遠距離通学児童生徒の安全を確保するとともに、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図るうえで必要不可欠であり、臨時運行など柔軟に対応し、安全な通学の確保に努めている。</p>	<p>A</p>
-----------------	---	--------------	--	----------

【地域で育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>◎家庭教育支援の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する学習機会の提供 ・子どもや親子で参加できる体験学習の機会と内容の充実 ・広報やインターネット、学校や公民館等による啓発活動の強化 	<p>生涯学習課</p>	<p>全地区で、秋に子育てセミナーの開催や、親子教室を開催しているほか、社地区では、家庭教育懇談会を開催し、家庭や地域における課題や大人の関わり方についての情報共有を行っている。</p> <p>子ども会育成会の活動を支援することで、子どもたちが遊びを通じて主体的な体験活動の機会を得るよう働きかけている。</p> <p>年4回「がったつうしん」を発行し、親子で参加できる各種行事や子どもの体験学習の場の情報提供を実施している。</p>	<p>B</p>

第1 心るさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎学校・家庭・地域の連携強化による健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動による青少年の非行防止のための巡視、補導活動の充実 ・青少年を取り巻く有害環境の改善や防止活動の推進 ・いじめや不登校、引きこもりなどの問題に、学校だけでなく家庭や地域が一体となって取り組む態勢づくり ・子どもたちを取り巻く諸問題に対して、サポートする組織の強化と充実 ・悩みを抱える子どもたちを受け入れ、心の支えとなる相談場所や人材の確保と充実 	<p>子育て支援課</p>	<p>ケースワーカー、保健師、家庭相談員を配置し、関係機関と連携により気軽に相談できる体制づくりに努めている。</p> <p>相談支援体制の充実及び強化の課題はあるが、関係機関との情報共有システムの導入により支援体制の強化が図られた。</p>	<p>B</p>
<p>◎学校・家庭・地域の連携強化による学習支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な体験や学習ができる児童クラブや放課後子ども教室等の充実 ・社会教育施設や関係団体等の連携による休日の子どもの学習支援活動の場の確保と充実 ・家庭での学習が困難であったり、学習が遅れがちな子どもたちの基礎学力の向上を図るため、生活習慣や学習習慣を身につける学習支援の場の検討 	<p>子育て支援課</p>	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」を一体的に実施するため、交流活動のプログラムの内容や実施日等を調整し、各事業従事者が連携できる仕組みを構築する。</p>	<p>B</p>
		<p>生涯学習課</p>	<p>学校運営協議会と地域学校協働活動が進むにつれ、放課後を利用した学習支援が各地区で始まってきている。学校・家庭・地域一体による支援を引き続き実施する。</p>	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎多様な体験活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体同士の連携による活動の促進 ・遊び場やスポーツ活動、野外活動、文化活動の場としての公共施設の有効活用と利用の促進 ・通学合宿等の生活体験の実施 ・様々なボランティア活動の促進 ・伝統文化を理解する機会の充実と継承活動の推進 ・自然環境問題への実践活動の充実
<p>◎高度情報化社会への対応と情報教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や児童生徒に対するインターネットやSNS等の正しい利用方法や危険性に関する学習機会の充実
<p>◎郷土愛や、自分、周囲の人を大切に思う心を育む活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールにおける子どもたちの様々な学習の場の充実と地域住民の積極的な参画の促進 ・郷土学習の充実 ・人権を尊重する意識を高める機会の提供と支援 ・異文化交流による、多様な価値観を尊重する心の醸成 ・山村留学の都市児童の積極的な受け入れによる交流の促進と地元児童双方の教育効果の増進

生涯学習課

<p>体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施。</p> <p>子どもたちの生きる力を育むために、少年リーダー研修会を通じて自然体験学習等を開催。</p> <p>各地区において子ども球技大会や駅伝大会等を開催し、青少年の健全育成に取り組んでいる。</p>	<p>B</p>
<p>高度情報化社会への対応や課題等について理解を深めるため、研修会・講演会等を開催し、保護者や児童生徒の意識改革に取り組んでいる。</p>	<p>B</p>
<p>学校運営協議会と地域学校協働活動が進むにつれ、地域との交流の場が生まれてきている。放課後活動を中心としながら、学校・家庭・地域一体による支援を引き続き実施する。</p> <p>コーディネーターやボランティアなど人材の共用のほか、運動会や人権を考える市民の集いへの学校参加により、地域社会と子どもたちとのつながりを深めている。</p> <p>郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」および低学年向けの郷土学習冊子「わたしたちの大町市」を配布し、郷土理解を深め、郷土愛を育む学習に活用している。</p> <p>山村留学の推進のため、(公財)育てる会と、受入農家等で組織する山村留学推進協議会へ補助を行った。受入農家の高齢化が進み、後継者の確保が課題でとなっている。</p>	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎地域を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域での福祉・環境・奉仕活動・職場体験等の社会体験の促進 		リーダー研修会を通じて、美観活動など地域への奉仕体験を実施。	B
◎子ども会活動の活性化と少年リーダー等の育成	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会活動の促進と育成会による支援 子ども体験学習号の運行と積極的な活用 子ども会リーダー研修会等でのリーダーの育成と活動の場の充実 子どもたちの主体的な活動をサポートする地域の指導者の育成と確保 リーダーバンクへの指導・育成者の登録の促進 	生涯学習課	<p>6地区ある地区子ども会へ補助金を交付し、特色ある育成会事業を実施するとともに、子どもたちの主体性・社会性の育成を図るため、大田市子ども育成連絡協議会へリーダー研修会を委託。</p> <p>リーダーバンクについては登録の促進だけでなく、活用について一層の周知が必要。また、少子化により各地区の子ども会の活動が低調になりつつあるが、身近な地域による育成活動の重要性を伝えながら支援して行くことが必要。</p>	B

【特色ある交流事業の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎姉妹都市交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習と姉妹都市との交流により、交流先の都市への理解を深めるとともに、大町の新たな魅力を発見する機会の提供 	学校教育課	毎年相互で実施される姉妹都市中学生サミットによる立川市との交流を通じ、両市の友好と理解がますます深まるとともに、魅力の再発見につながっている。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートによる交流会を実施。	A
◎山村留学を通じた都市交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 山村留学経験者や関係者と連携した地域活動の実施による都市交流の促進 	八坂支所	山村留学OBや留学生保護者も地域住民と一緒に、小学校と合同で開催してきた「ふれあい運動会」が、コロナ禍により小中学校のみの開催となった。次年度は合同開催に向け、安心して実施できるよう、開催の時期、内容、感染予防策等を検討する必要がある。	B
		美麻支所	小中学校と地域合同での運動会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。再開に向けて内容や時期・感染防止対策等の検討を行う。	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎メンドシーノ姉妹都市 交流事業	・訪問団の派遣と受入れの隔年実施	美麻支所	新型コロナウイルスの影響で相互訪問事業は中止となったが、交流を継続するためビデオレターによる交流を行った。	B
---------------------	------------------	------	---	---

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
放課後・土日学習支援活動実施施設	—	1施設以上	4施設	ボランティアの確保	生涯学習課 子育て支援課
家庭教育懇談会開催会場数	6会場	10会場	4会場	少子化により、開催会場を6地区から4地区へ変更	生涯学習課
ジュニア・シニアリーダー登録者数	11人	12人	18人	感染対策の徹底	生涯学習課

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	63.0%	80%
地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成に満足していると思う市民の割合	63.6%	70%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	61.0%	75%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市過疎地域持続的発展計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
私立幼稚園・認定こども園運営支援事業	13215	私立幼稚園・認定こども園運営支援事業	子育て支援課
家庭児童相談事業	13218	家庭児童相談事業	子育て支援課
療育事業	13219	療育事業	子育て支援課
児童クラブ運営事業	13225	児童クラブ運営事業	子育て支援課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
奨学金事業	110127	奨学金事業	学校教育課
山村留学事業	110128	山村留学支援事業	生涯学習課
小学校管理一般経費	110212	小学校管理一般経費	学校教育課
小学校教育振興一般経費	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
中学校管理一般経費	110311	中学校管理一般経費	学校教育課
中学校教育振興一般経費	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
	110421	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課
	110422	青少年育成事業	生涯学習課
	110435	大町公民館活動費	生涯学習課
	110437	平公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
おいしい給食費	110535	おいしい給食費	学校教育課
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
コミュニティ・スクール推進事業	1101210	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課
ICT活用推進事業	1101211	ICT活用推進事業	学校教育課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
メンドシーノ姉妹都市交流事業			美麻支所

◆2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供◆

生涯学習は、個人の生きがいや教養、趣味、レクリエーション活動等に関する学習だけでなく、市民一人ひとりが地域と関わり、地域課題、生活課題の解決に向けて一体となった「学びの絆」や、学びの成果を地域に還元する「学びの循環」としての要素がますます重要になっています。

生涯学習推進プランや社会教育計画に基づき、生涯各期における学習機会や多様な分野の学習機会の充実、学習環境の整備を進めるとともに、地域づくりや子育てなど、市民と行政、市民同士の連携、協働態勢を構築し、生きがいに満ちた生涯学習の推進を図ります。

【生涯各期における学習活動の充実】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎生涯各期における学習機会の充実	・乳幼児期から高齢期の段階に応じた学習機会の提供と充実	生涯学習課	生涯学習課のあらゆる事業において、講座、講演会、イベントなどの形で学習機会を提供している。事業内容や参加者の年齢層に偏りがあるため、講座内容や実施日時の工夫が必要である。	B
		市民課	地域における学習機会として、健康教室や健康づくり推進員を中心とした学習会を開催。ライフステージに応じた学習機会として、離乳食教室、両親学級、思春期体験事業を実施。また連携自立圏の取組として、健康づくり意識啓発事業を実施。働き盛りの年代の参加が少ない。	B

【社会教育の充実と活性化】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野の学習機会の充実と支援 ・地域課題、生活課題に関する学習の強化 ・郷土学習の推進 ・全市的な教育課題に対する取組みの強化 	生涯学習課	郷土の歴史についての学習要望が高い。低学年用および高学年用郷土学習冊子を作成配布し、それぞれ活用している。	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎公民館事業の充実と活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業の推進 ・自主グループ等の活動の支援 ・地域コミュニティの活動の支援 	<p>生涯学習課</p>	<p>地域活動や生涯学習活動の拠点となる分館施設の改築・改修に対する助成を行い、地域コミュニティの振興を図っている。</p>	<p>B</p>
<p>◎図書館の充実と読書活動等の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい図書館サービスの充実 ・子どもから大人までの読書活動の促進 ・読み聞かせ活動等多様な分野でのボランティア活動の推進 ・他の施設やボランティアとの連携による事業の充実 	<p>まちづくり交流課</p>	<p>市民活動団体には、活動に必要な備品類の貸出や印刷のサービス、情報提供、情報発信、補助金の相談などの活動支援を行っている。</p> <p>連合自治会事務局、大町地区連合自治会事務局として、自治会の抱える問題等の相談窓口として対応している。自治会の活動を情報発信するなど地域コミュニティの大切さを訴えていく。</p>	<p>A</p>
<p>◎他機関との連携、協力の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設をはじめ民間の教育施設等との積極的な連携と協力による学習機会の拡充 	<p>生涯学習課</p>	<p>住民が、自ら考え、調査し、学習する一助となるような各種講座の開催。</p> <p>子ども向けのおはなし会やブックリストの作成、児童施設への読み聞かせ訪問や、高齢者施設、くまの子文庫、シルバー文庫、西小学校への配本などを実施。</p> <p>エネルギー博物館の運営支援を行い、市の大きな特色である水力発電と自然環境を柱とする郷土学習に活用している。</p> <p>安曇野アートライン推進協議会に加盟し、広域的な美術・博物館施設を一体的にアピールすることで相乗効果を図っている。</p>	<p>B</p>

【多様な分野の学習活動の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会情勢の変化に対応した学習の促進	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の魅力を知り、発信する学習活動の充実強化 • 防災意識の啓発と学習活動の充実 • 外国語講座等国際理解を深める学習や各種交流事業の充実 • 情報化社会に対応したパソコン教室や情報セキュリティ対策などの学習機会の充実 	生涯学習課	外国人に向けた日本語講座を開設し、国際理解を深めるよう努めている。	B
		危機管理課	<p>自主防災会を中心とした地域での防災訓練、消防団による住民参加型訓練により、防災知識習得の機会を設け防災意識の高揚を図った。</p> <p>地震総合防災訓練、消防団が開催している消防フェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>自治会や自主防災会を対象とした避難所開設運営訓練を実施し、避難所運営は避難者自らが行うことを意識付けしている。</p>	B
		情報交通課	<p>平成30年度に大学や企業等で構成するICT学習活動推進協議会を設立し、児童、生徒、地域住民を対象としたプログラミング講座等を開催し、累計60人の小学生が受講。</p> <p>(新型コロナの影響により、令和2年度は一般向けスマホ・タブレット講座のみ、令和3年度は開催中止)</p>	B
◎アルプス囲碁村づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> • 保育園や学校などへの囲碁普及員派遣による囲碁の普及啓発活動 • アルプス囲碁村まつり等の交流イベントの開催 • 囲碁普及員や学校囲碁指導員の育成 	企画財政課	<p>コロナ禍により、イベント等の中止や子ども囲碁教室等の短縮など、大きな影響を受けたものの、普及活動を通じた「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、現代社会における人との関係や優しさ、思いやりなどを育むことで、「囲碁によるまちづくり」が推進されている。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進	<ul style="list-style-type: none"> 山岳情報や山岳文化・歴史、山岳の自然や生き物など山岳文化都市としての積極的な情報発信 博物館としての機能や施設の充実 「北アルプスの自然と人」を基調とした常設展や企画展等の開催に併せた講演会、出版等の実施 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪の氷河認定を契機とした北アルプスや氷河への関心の喚起 	山岳博物館	<p>博物館活動を充実させるため、計画的な常設展の改修を進めるとともに、調査、研究を基にした年3回の企画展示や、年4回のパネル展示のほか、研究紀要や展示図録などの出版を行った。</p> <p>大学や研究機関と連携し、最新の情報発信をすることに努めている。</p>	B
----------------------------	---	-------	---	---

【自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎情報提供・相談事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習ニーズに対応する多様なメディアを用いた情報提供の推進と環境整備 適切な助言と情報提供を一体化した学習相談態勢の確立 生涯学習リーダーバンクの登録の促進と積極的な活用 市職員の出張講座による学習機会の充実 自主的な市民活動の情報提供と支援 		<p>一元的な情報発信を目的に、子どもに関係のあるイベント等の情報を広く集め、「がった通信」として作成配布するとともにホームページに掲載している。</p> <p>リーダーバンクは、引き続き、利用促進を図るための周知を行っていく。</p>	B
◎社会教育推進態勢の強化と施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設等の機能強化と施設間の連携、協力態勢の強化 関係機関、団体等と連携、協力した学習活動や事業の充実 社会教育施設等の自己評価による事業の改善 社会教育施設等の適切な維持管理と快適な環境づくり 	生涯学習課	<p>子ども体験学習号での施設利用メニューの提案や、学習活動における相互利用などで施設間、関係団体等の協力や連携を図っている。</p> <p>社会教育施設には、運営審議会、委員会、協議会を置いて事業計画、事業報告等を審議し、意見を取り入れるなど民意を反映するよう心掛けている。</p> <p>多くの施設が建築後30年以上経過し老朽化が進んでいる。引き続き、施設の躯体寿命や実耐用年数を意識した計画的な修繕により、利用環境の整備や適切な維持管理に努める。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎学習成果の評価と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を地域社会で活かすための支援の充実と活動機会の整備 ・個人のキャリア向上につながる取組みの充実 		文化祭、市民芸術祭、サークル活動発表、雪形まつりなど学習成果の発表の場の確保・提供に努めている。 講座の内容によっては指導者が高齢化しており、後継者の育成が必要である。	B
◎生涯学習ボランティアの活動促進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なボランティア活動への参加啓発と活動の機会や環境の整備 ・個人や団体のボランティア活動の支援と連携態勢づくり ・ボランティアコーディネーターなど専門的かつ中心的な指導者の育成 ・リーダーバンクへの登録の促進と活動の充実 	生涯学習課	リーダーバンク制度の周知・活用を図る。 「お手伝いし隊」の実施、育児ボランティア養成講座の開設などボランティア活動促進のための施策はまだ少ないため、今後事業を充実・拡大していく必要がある。	B

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
公民館利用者数	93,099人	93,000人	35,735人	新型コロナウイルスの影響による減	生涯学習課
公民館講座等開催数	445回	450回	190回	新型コロナウイルスの影響もあり減	生涯学習課
公民館講座等受講者数	9,679人	9,700人	3,735人	新型コロナウイルスの影響もあり減	生涯学習課
図書館年間貸出冊数	154,641冊	155,000冊	113,271冊	新型コロナウイルスの影響による休館などもあり、昨年度よりさらに減少している。	生涯学習課
図書館来館者数	44,178人	44,000人	54,317人	新型コロナウイルス感染症の影響で減 昨年度よりさらに減少している。引き続き魅力ある施策を実施し、来館者数増加に努めたい。 ※統計データ収集方法の変更により基準値より増加している。	生涯学習課
生涯学習リーダーバンク登録者数	59人	80人	52人	情報化社会への対応	生涯学習課
	20団体	25団体	19団体		

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

生涯学習のまちづくり出張講座メニュー数	128 項目	140 項目	118 項目	特に無し	生涯学習課
生涯学習のまちづくり出張講座利用件数	111 件	130 件	46 件		生涯学習課
生涯学習のまちづくり出張講座利用者数	4,133 人	4,300 人	1,597 人		生涯学習課
囲碁普及員派遣延べ時間	348 時間	350 時間	232.25 時間	コロナ禍により派遣時間が短縮や、少子化等の影響により受講者数は減少傾向にある。また、普及員の高齢化による不足が問題となっており、後継者の確保・育成が課題となっている。	企画財政課
山岳博物館年間入館者数	18,294 人	21,000 人	14,072 人		山岳博物館

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	63.3%	70%
公民館活動に満足していると思う市民の割合	73.0%	80%
山岳文化都市づくりを聞いたことがある市民の割合	41.3%	60%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、アルプス囲碁村計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
アルプス囲碁村推進事業	12136	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課
市民活動促進事業	12182	市民活動促進事業	まちづくり交流課
	14133	母子保健事業	市民課
	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
エネルギー博物館運営費補助金	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課
コミュニティ対策事業補助金	110415	公民館分館整備助成事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	110435	平公民館活動費	生涯学習課
	110437	常盤公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	110443	大町公民館活動費	生涯学習課
	110443	図書資料購入事業	生涯学習課
山岳博物館教育普及事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
付属園整備事業	1106112	付属園整備事業	山岳博物館
		情報化推進一般経費	情報交通課

◆3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実◆

文化会館や山岳博物館をはじめとする文化施設について、市民の幅広い芸術文化活動の場や芸術文化創造の場としての活用を進めます。また、現在活動している各種サークル等の連携を促進し、地域全体の芸術文化活動の振興を図ります。

特に、国内外からアーティストを招へいし、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、本市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造します。

また、市民一人ひとりが、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。

【芸術文化の振興】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎芸術文化の振興と芸術鑑賞、体験機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員による調査、研究や提言活動の推進 ・展覧会等の情報提供や美術館めぐりの開催 ・文化会館の自主事業の充実 ・子どもたちの芸術鑑賞の機会の充実 	生涯学習課	美術振興専門委員会を設置し美術振興に対する提言を受けている。 美術館めぐりを実施し、芸術文化に触れる機会を提供するなど、芸術文化に対する情操や感性の育成に努めるほか、ギャラリー・いーずらなどの活用にも努めている。 文化会館ではコロナ禍ではあったが定員管理などにより一定程度、事業を遂行することができた。	B
美術作品等の整理と一般公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品等の台帳の整備や作品等の一般公開の推進 	生涯学習課	文化会館において大規模な一般公開の美術展を開催。寄贈作品等の有効活用を図るため、企画展等一般公開の機会の確保に努めている。	B
◎市民の自主的で主体的な芸術文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自主的かつ主体的な芸術文化活動の促進のための支援 ・文化祭、芸術祭等の芸術文化活動の発表の場の確保と支援 ・行政と民間等との協働による事業の実施 	生涯学習課	芸術文化活動をしている市民団体に、ギャラリーいーずらの貸し出しを行い、絵画・写真展などに利用していただいている。 文化会館では市民が主役となるステージイベントを実施。	B
		八坂支所	地区独自の文化活動団体への支援を行っているが、コロナ禍により活動を休止している団体もあるので、感染	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			<p>対策等についてもできる範囲で支援を行い、早期に活動再開できるようにしたい。</p> <p>八坂公民館と連携して地区文化祭の開催協力をしている。</p>	
		美麻支所	<p>美麻源流太鼓は演奏を通して地域文化の振興と伝承に寄与している。</p>	A
◎芸術文化に関するサークル活動や自治会活動等の奨励と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルや自治会などの自主運営の拡充と活性化のための支援 ・地区文化祭等の発表の場、体験学習の場の提供と充実 ・団体等の交流と広域的な活動の促進 ・サポーター募集による芸術文化活動に参加できる仕組みの構築 	生涯学習課	<p>文化会館、公民館等を中心にサークル活動の支援や団体間の交流、発表の場の設定などを行っている</p>	B
		まちづくり交流課	<p>芸術祭のボランティアサポーターは、随時募集を行い、登録者数は870人（対前年比134人増）。企画発表会や芸術祭などに携わっていただいた。</p> <p>コロナ禍での開催であったことから、参加募集もほとんどできず、本来想定していたほどの参加は得られなかった。また、信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響から事業が実施できなかった。</p>	B

【文化財の保護継承と活用】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎文化財保護の推進と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の保存修理やパトロール等による破損の防止と環境整備 ・文化財の保護意識の啓発 ・郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」の活用 ・文化財センター、民俗資料館などの施設の活用 ・未指定文化財の掘り起しと学術調査の実施 ・県や関係機関等との連携と文化財の調査研究の推進 	生涯学習課	<p>文化財パトロールを実施し、現状の把握と所有者の文化財保護意識の醸成を図っている。また、保存修理や環境整備等を実施するとともに、補助事業として所有者等を支援している。補助事業に限らず、文化財保護管理関係者の減少により所有者等の文化財の維持管理費用の捻出が困難となってきたため、将来にわたっての維持・保全が心配される。</p> <p>文化財の説明看板等の改修を進め、保護意識や学習活動、利活用の促進を図っている。</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			<p>市民の古文書等の歴史的資料の確認と整理を進めている。</p> <p>文化財を地域の活性化のために積極的に活用しながら、ゆるやかに守っていくため、信州大学の受託研究として、市内の歴史的建造物について、国の有形文化財登録と街並みや景観の地域観光の資源とするための調査研究を実施している。</p>	
<p>◎地域の伝統文化や伝統芸能の保存と継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財講座や文化財めぐりの実施 ・まちづくり出張講座等による文化財等の学習活動の支援 ・小中学校との連携による文化財や自然等の学習活動の促進 ・地域の伝統芸能の後継者育成等、継承のための支援 ・地域に点在する文化財、民俗資料等の収集保管や、文化祭等での特別展示、巡回展示による積極的な活用の推進 ・文化財を活用した学習機会の充実 ・地域の歴史研究会等と連携した講座等の共同開催 ・伝統芸能等を後世に伝えるための情報収集と記録活動の推進 ・民俗芸能や風俗、風習などの保存活動と継承活動への支援 	<p>生涯学習課</p>	<p>歴史・民俗等に関する講座や天然記念物の自然観察会を開催し、学習機会の充実を図っている（コロナウイルス対策のため居谷里湿原自然観察会は中止）。現地学習や内容の充実、回数の増や公民館等と共催で開講したことで、文化財講座の受講生は約100人増加した。引き続き、内容の充実を図りたい。</p> <p>小中学校の地域学習の支援を行うとともに、市・地区文化祭で文化財特別展を開催した。</p> <p>地域の伝統芸能等に関する補助事業を実施し、継承について支援しているが、将来的な後継者や参加者の減少が懸念される。</p> <p>関係機関・団体と連携し、地域の魅力的な観光コンテンツの情報発信を進めるとともに、団体等の活動を支援する。</p> <p>地域住民の方のご協力をいただき、旧中村家住宅巻き俵行事を実施し、地域の民俗文化の継承を図っている。</p>	<p>B</p>

【地域の芸術文化の創造】

進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>◎アーティスト・イン・レジデンス事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト・イン・レジデンス、芸術祭等の開催と支援 ・芸術文化活動を通じた国内外との交流の促進 	<p>まちづくり交流課</p>	<p>信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度は実施できなかったが、今後もコーディネーターとして市内芸術団体</p>	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の芸術文化資源等の魅力の掘り起しと発信 	<p>が役割を担い、国内外からアーティストを招聘し、あさひAIRでの滞在制作を支援しながら、芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら、芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。</p> <p>3年に一度のトリエンナーレとして開催した、北アルプス国際芸術祭では、2回目から新たにビジュアルディレクターを迎え、より質の高い国内でも有数の芸術祭を目指した。</p> <p>国内外から質の高いアートが集結し、生活文化でもある地域の食を提供し、目的である国内外への強い発信、地域経済への波及効果、交流人口・関係人口の増、市民との協働の4項目に、コロナ禍における疲弊した地域経済の活性化と、地域の活気や元気を取り戻し持続可能な地域づくりを目指す、の2項目を加え、持続可能な元気ある大町を目指し開催した。</p>	
--	--	--	--

【山岳文化の振興と活用】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎調査・研究・教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプスを中心とした山岳文化に関わる人文・自然科学に関する調査研究・情報発信の充実 ・学校教育における総合的な学習の支援 	山岳博物館	<p>調査研究の成果は、企画展示、研究紀要などに反映させている。</p> <p>教育普及活動の中でも、学校教育への支援を重視し、連携授業や総合学習に対応した活動を実施している。 (32回、延べ400人)</p>	B
収蔵資料の収集と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳資料や美術資料、標本等、収蔵資料の収集と、企画展示や各施設での巡回展示などによる積極的な活用の推進 		<p>資料収集保管は、貴重な資料を後世に伝える重要な役割があるが、収蔵庫の容量が少なく、今後の収蔵活動への影響が懸念される。</p> <p>収蔵資料の活用として、外部機関のデータベースを通じた公開も行っている。また、館外施設への展示については、関係機関と調整を進め推進していきたい。</p>	B

【スポーツの振興】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期からの体力向上や学校と連携したスポーツクラブ活動等、子どものスポーツ活動の推進と充実 各種スポーツ教室や大会の開催、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるスポーツの導入等、スポーツに親しむ機会の充実 保健、福祉部局と連携し、年齢や体力、目的等に応じたスポーツによる健康、体力づくりの推進 	学校教育課	<p>少子化に伴い、生徒のスポーツ活動の機会が損なわれることがないように、合同部活動等の仕組みや、総合型地域スポーツクラブとの融合や協働など取り組みを進めていく。</p>	B
		スポーツ課	<p>運動の習慣付けにより体力向上効果が期待できる運動あそび教室を、年長児及び年中児を対象に市内保育園等を巡回して実施した。</p> <p>成人及び高齢者向けの教室については、年代により取り組みが進んでいない。保健、福祉部局等と一部連携して事業を進めているが、重複する内容も多いため、より効果的な取り組みを進めていく。</p>	B
◎競技スポーツの推進と指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 組織の育成や競技力の向上と指導者の養成、確保や活用の推進 スポーツへの関心を高めるためのトップレベルのスポーツ大会の開催やトップアスリートとの交流の促進 		<p>市民のスポーツ活動を促進し、地域のスポーツの振興を図るためスポーツ振興事業補助金を交付。</p> <p>トップレベルのプレーを間近で見られるよう小中学生を対象に、松本山雅のホームゲームの観戦事業を計画したが新型コロナウイルスの影響により2年連続中止となっている。</p>	B
◎スポーツを通じたコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域において身近なスポーツ活動の拠点となる総合型地域スポーツクラブの育成支援 地域で開催するスポーツ大会や教室、健康づくり等によるコミュニティの再生支援等、スポーツを通じた交流の充実 スポーツ活動や大会等を支えるスポーツボランティア活動の促進 自然環境を活かした山岳スポーツや、湖、河川での水上 	スポーツ課	<p>総合型地域スポーツクラブの育成支援は、組織強化や人材育成等の支援を充実していくため、補助金交付要綱の見直しを行った。</p> <p>スポーツボランティア活動の促進では、例年アルプスマラソンにおいて多くのボランティアに協力いただいている。また、各種競技団体主催大会等にも、大勢の市民がボランティアとして参加している。</p> <p>自然環境等を活かしたスポーツについては、木崎湖で</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	スポーツ等、地域特性を生かしたスポーツの振興 ・雪や氷など、自然の恵みを活かした冬季スポーツの振興	スポーツ課	の海洋性スポーツ教室やカヌー大会を開催した。 冬季スポーツは暖冬の影響や、新型コロナウイルスの影響により市民スケート大会及び市民スキー大会が中止となった。	
スポーツ施設の整備と有効活用	・利用状況に応じたスポーツ施設の適切な整備 ・スポーツ施設の有効活用の促進		第二屋内運動場の整備により、冬季における運動施設が充実し、稼働率も向上している。 利用者が少ない施設があることや、多くの施設で老朽化が進んでおり、修繕等の維持管理に多額の費用が必要と見込まれることから、計画的で適切な施設管理に努める。	B

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
文化会館大ホール入場者数	26,872人	27,000人	12,045人	新型コロナの影響により、中止・延期をせざるを得ない状況の中、感染対策を行いながらホールの運営を行った。 令和4年度は7月より入場者数制限を50%から100%に解除し、感染対策を徹底しながら利用者の増加に努めたい。	生涯学習課
文化財めぐり開催数	8回	12回	7回	現地学習を取り入れるとともに内容の充実を図った。また、効果的な事業となるよう、関係する公民館や係と共催し、事業を実施した。 引き続き、内容の充実を図りたい。 (コロナウイルス対策のため居谷里湿原自然観察会3回中止)	生涯学習課
文化財めぐり参加者数	408人	500人	227人	前年度より約100人の増となった。	生涯学習課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

体育施設利用者数	297,682人	281,500人	207,642人	体育施設の利用の促進や有効活用を図り、計画的で適切な管理に努める。	スポーツ課
スポーツ教室参加者数	3,156人	3,000人	733人	コロナ感染防止対策により、開催出来る教室に限られるため、参加者が少ない状況が続いている。市民ニーズに合った教室の開催を行う。	スポーツ課
スポーツ大会参加者数	9,447人	8,900人	2,814人	夏季の市民スポーツ祭は、コロナ感染防止対策を行ったうえでの開催。 冬季の市民スポーツ祭は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	スポーツ課
週に1回以上スポーツをする人の割合	48.0%	65%	—	アンケート未実施	スポーツ課

目標実現の条件

- ・大町市人口ビジョンの人口の維持

市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用がされていると思う市民の割合	65.5%	75%
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	69.6%	80%

関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市スポーツ推進計画、大町市過疎地域持続的発展計画、文化資源活用ビジョン
--

◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
	110461	文化財センター管理事業	生涯学習課
文化財保護事業補助金	110462	文化財保護一般経費	生涯学習課
遺跡発掘調査	110463	遺跡発掘調査事業	生涯学習課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	110465	中村家住宅管理事業	生涯学習課
山岳博物館教育普及事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
山岳博物館調査研究事業	110614	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館
山岳資料収集保管事業	110615	山岳資料収集保管事業	山岳博物館
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業	121131	芸術文化振興事業	まちづくり交流課
北アルプス国際芸術祭推進事業	121131	芸術文化振興事業	まちづくり交流課

施策評価票

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

1 商工業の振興による地域経済の活性化

- ◎中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化
- ◎中心市街地の活性化
- 企業誘致の推進
- 既存企業の育成と振興

2 地域の特性を生かした農林水産業の振興

- ◎生産と販売の促進
- 農地施策の推進
- ◎豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化

3 観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進

- ◎“welcome おおまち”魅力ある観光地づくりの推進
- ◎地域の芸術文化の創造

4 移住・定住促進策等の充実強化

- ◎定住促進ビジョンの推進
- ◎過疎地域における移住・定住促進
- ◎都市との交流の促進
- ◎信濃大町ブランドの戦略的な展開

◆ 1 商工業の振興による地域経済の活性化 ◆

地域経済の活性化策の一つとして、雇用を伴う設備投資への支援を推進するとともに、既存企業の一層の育成を図ります。また、企業の設備投資の動きを迅速に把握し、豊富な地下水や恵まれた自然環境など、市の特性を最大限に生かすことのできる企業の誘致を積極的に推進します。

中小企業の経営基盤の強化を支援し商工業の振興を図るとともに、全庁的な推進体制により創業希望者・創業者の支援・育成や企業の誘致、地域内産業の相互連携を進め、地域経済の活性化と雇用の場の確保を図ります。特に中心市街地の商店街では、平成26年現在84店の小売店が営業していますが、年々減少しており、後継者も不足していることから、移住希望者や創業希望者を含めた創業者や後継者を育成します。

【中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎中小企業の育成と商工団体等の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市制度資金の活用による、中小企業の新たな設備投資や事業の拡大、新規分野への事業展開への支援 ・中小企業の経営基盤の安定化、競争力の強化による、地域経済の活性化 ・後継者対策に関する支援や関係機関の連携の充実 ・商工団体等の活動の支援 	商工労政課	コロナ禍における経済情勢や金融市場に際し、制度融資資金を拡充、資金繰りを支援し中小企業者の経営安定化に努めた。 関係機関の連携体制を構築し、事業者の経営実態や金融市場の動向等、状況把握に努めた。 感染症や物価高騰の影響を捉えた施策の展開が必要である。	B
◎創業希望者・創業者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援協議会の創業塾・セミナーの開催による、市内外の住民やI・Uターン者等の創業希望者の掘り起しと育成 ・人材育成を図るため、商業をはじめとする広範な分野の新規創業の積極的な支援 		市創業支援協議会によるコワーキングスペースの運営、セミナー・塾等による創業支援に努めた。 テレワーク事業拡充に向け、関係自治体との広域連携を検討する。 起業（創業）支援制度を一元化し、新たな支援体制を構築する。	B
◎企業説明会・就職面接会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者、I・Uターン者への企業情報の提供や就職支援、高校生のキャリア教育、就職支援としての企業説明会や就職面接会の開催 		感染症対策を講じ、平常時と同様な説明会を開催し、就職支援に努めた。 コロナ禍における状況に応じた実施内容等を検討する。	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

<p>◎既存企業の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市制度資金の活用による、既存企業の新たな設備投資や事業の拡大、新規分野への事業展開への支援 ・既存企業の経営基盤の安定化や競争力の強化による地域経済の活性化 ・後継者対策に関する支援や関係機関の連携の充実 ・企業活動の活性化促進策としての、ビジネスや短期滞在者向けの宿泊施設の整備等に対する支援の検討 	<p>商工労政課</p>	<p>関係機関による連携体制を構築し、コロナ禍における事業者の経営状況の把握に努めた。</p> <p>感染症や物価高騰等の影響を含め、経済・金融・雇用情勢等の変化に応じた施策を検討していく。</p>	<p>B</p>
-----------------	--	--------------	---	----------

【中心市街地の活性化】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>◎活性化に向けた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次中心市街地活性化基本計画に位置付けられた各種事業の積極的な推進 ・商店街が創意工夫し自主的に取り組む消費者交流事業や大町まちづくり協議会等の団体が取り組む自主的な事業への支援 ・市民のほか周辺地域の住民、観光客等の市外から訪れる人の市街地への積極的な誘導 ・空き店舗を活用して行う改修補助、家賃補助による中心市街地機能の維持・向上 ・チャレンジショップ事業、がんばる元気な商店支援事業等による、やる気のある創業者や商店への積極的な支援 	<p>商工労政課</p>	<p>コロナ禍において第4次中心市街地活性化基本計画すべての具体的な施策・事業の推進に至っていない。今後は、官民連携まちなか再生推進事業との整合を図り、自走可能なプラットフォームの構築と持続可能なまちづくりに向け、継続した取り組みを進めていく。</p> <p>空き店舗活用事業等により、民間による中心市街地内への新たな立地が進み、機能の維持・向上につながっている。</p>	<p>B</p>
<p>中心市街地における施設整備の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地への人の誘導化策を踏まえた施設整備の推進 ・市街地緑化の推進 	<p>建設課</p>	<p>「緑の基本計画」の策定により、市民の緑化意識の高揚や市街地緑化の推進及び、市街地への誘客効果などを踏まえ、駅前交通広場や駅前広場公園、また、中心市街地に近いポケットパークに花壇を整備した。民間主体による、植栽の継続した維持管理が広がりつつある。</p>	<p>A</p>

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

		商工労政課	芸術祭やイベント実施により一時的な賑わい創出は実現、今後、各種助成制度による施設整備を推進し、誘導化の促進を図る。	B
市営住宅団地等の新設	・ 中心市街地への市営住宅団地等の整備によるコンパクトな市街地の形成と地域経済の活性化	建設課	新設団地用地選定庁内検討委員会を組織し、建設候補地選定を進めており、令和4年度中に決定する。	C
		商工労政課	第4次中心市街地活性化基本計画に基づく区域内の用地選定、コンパクトシティ化に向けた調整・検討に継続して取り組む。	B

【企業誘致の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地域の特性を活かした戦略的な企業誘致の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全庁を挙げての推進体制の構築 ・ 効果的な企業誘致の戦略的な展開 ・ 豊富な地下水や恵まれた自然環境、農業や観光業と連携した事業展開など、地域特性を生かした企業誘致の推進 ・ 工場等誘致振興条例に基づく企業への支援 ・ 地域産業活性化懇話会による企業情報の共有化 	産業立地戦略室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業立地戦略本部による企業誘致をワンストップでサポート。 ・ 東洋紡跡地やカスタムオーダーの誘致を推進。 ・ 当市の地域特性を活かした誘致活動の推進。 	B

【既存企業の育成と振興】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
既存企業の育成と振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業訪問等による情報収集と課題解決への支援 ・ 雇用を伴う設備投資等への支援 ・ 経営安定化への融資や利子補給等の支援 ・ 企業による市の特産品等の商品開発への支援 	産業立地戦略室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業等景況調査の実施。 ・ 工場等誘致振興条例に基づく助成 投下固定資産分 新設1件、増設1件、固定資産税相当額2件 	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

		商工労政課	<p>関係機関の連携体制を構築、事業者の経営状況等を把握し、実情に即した支援を行った。(融資制度拡充による利子補給等)</p> <p>コロナ禍や物価高騰の影響を踏まえ、事業者の経営活動を把握し状況に応じた施策を検討していく。</p>	B
<p>農業・商業・観光業の連携による地域内流通の促進</p>	<p>・地域固有の農産物の掘り起しからブランド化、販路開拓までのビジネス展開に対する、農業者・商業者・産業支援機関等との連携・協働による支援</p>	商工労政課	<p>姉妹都市立川市アンテナショップ等における物販活動において、意欲ある事業者にえんポーター制度に登録いただき、販売を通し消費者の反応を直接感じることで、生産品の品質向上に向けた取組みや意識の向上を図り、販路の開拓を支援する。</p> <p>特産品開発セミナーを開催し、大町に来た人が「買いたい、食べたい、また大町に来たい」と思う商品開発を推進する。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p> <p>信濃大町食材プロモーション事業として、大町の食材の魅力を発信するため、有名シェフが生産者を訪ね素材を厳選、メニューを作成し店舗で提供するまでを記事にして知的探求心が高く情報受発信に積極的な人が集まるWEBサイト「ONESTORY」での情報発信を図った。</p>	B
		農林水産課	<p>商工労政課、観光課と連携し、関西地区事業者と市内事業者のマッチングを行い、関西地区の2店舗において、米やりんごジュース、ジャム、菓子等、当市の特産品の販売を実施している。</p>	B
		観光課	<p>長野県北アルプス地域振興局が事務局を持つ「北アルプス山麓育ち in 首都圏実行委員会」にて、銀座NAGANO 等において農業観光一帯となった地域ブランドPRを実施。また、観光キャンペーンでは特産品や農産物の販売も同時に展開するなど、担当課が独自に展開</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

			することに加え、相互に連携することを念頭に置いて取り組んでいる。R3年度は、観光キャンペーンが中止となり農産物や特産物の販売は実施できていない。
--	--	--	--

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
制度資金利用件数	15件	35件	132件	コロナ資金運用延長に伴う利子補給事務の煩雑化	商工労政課
空き店舗活用件数(5年累計)	2件	15件	5件	空き店舗情報の公開・一元化	商工労政課
創業者数(5年累計)	—	15人	12人	コワーキングスペースの有効活用に向け、運営方法見直しを検討	商工労政課
中心市街地の通行量	平日 1,900人 休日 1,200人	平日 2,600人 休日 1,700人	平日 1,887人 休日 5,100人	調査時の状況(天候・イベント開催等)により数値変動	商工労政課
企業誘致件数(5年累計)	1社	3社	2社	平成30年度～令和3年度の実績数値	産業立地戦略室
助成対象企業数(増設・移設)	1社	1社	2社	【令和3年度】 新設1件、増設1件	産業立地戦略室
特産品となる新たな商品取扱企業数(5年累計)	—	5社	累計11社	【平成29年度】 ・特産品開発コンテスト入賞 NPO法人がんばりやさん、喜久龍、猫の耳、手造り食品蛸、信濃おやき幸庵、健菜樂食 Zen 【平成30年度】 ・おもてなしマルシェ参加者 レストランくんくん、喜久龍、農園カフェラビット、健菜樂食 Zen 【令和元年度】	商工労政課

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

				<ul style="list-style-type: none"> おもてなしマルシェ参加者 健菜樂食 Zen、喜久龍、農園カフェ ラビット、青空フーズ、美麻オリザファーム、ファイブスター 	
市内農業者・商業者等と観光業者とのマッチング件数（5年累計）	—	10件	累計9件	販路開拓という面で、首都圏で行う物販事業等に出展している事業者 【平成29年度】 峯村農園、石原りんご園、久保屋、自家焙煎珈琲屋 UNITE、健菜樂食 Zen、信濃おやき幸庵 【平成30年度】 信濃大町のつけものや、ねまるちゃテラス 【令和元年度】 小澤製麺	商工労政課 観光課 農林水産課

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
商工業の振興に満足していると思う市民の割合	33.5%	50%
中心市街地の活性化に満足していると思う市民の割合	24.1%	50%
働く場や雇用機会が充実していると思う市民の割合	20.7%	50%
既存企業の育成、企業誘致等産業の活性化施策に満足していると思う市民の割合	25.4%	50%

○関連する個別計画

大町市中心市街地活性化基本計画、大町市企業誘致戦略、信濃大町ブランド戦略

◇施策に係る対象事業

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
創業支援事業	15114	創業支援事業	商工労政課
起業支援事業	15114	創業支援事業	商工労政課
中小企業支援事業	17114	中小企業支援事業	商工労政課
中小企業融資事業	17114	中小企業支援事業	商工労政課
特産品振興事業（ブランド振興事業）	17115	特産品振興事業（ブランド振興事業）	商工労政課
アンテナショップ運営事業	17115	特産品振興事業（ブランド振興事業）	商工労政課
中心市街地活性化事業	17117	中心市街地活性化事業	商工労政課
中心市街地振興事業	17117	中心市街地活性化事業	商工労政課
工業振興・企業誘致事業	17122	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室
工場等誘致振興助成事業	17123	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室
官民連携まちなか再生推進事業	171118	官民連携まちなか再生推進事業	商工労政課

◆2 地域の特性を生かした農林水産業の振興◆

農業者の高齢化等による担い手不足や安定した農業経営の維持・確立が課題となっていることから、認定農業者や集落営農組織を育成し地域の担い手づくりを進めることにより、農地集約化の促進や農業経営の安定化と生産体制の強化を図ります。

また、新規就農者や環境保全型農業に取り組む農業者への支援を推進するとともに、鳥獣被害対策や遊休荒廃農地の有効利用等に積極的に取り組みます。

水産業では、水産資源を確保し販路拡大を進めます。また、林業では、健全な森林の維持と、多面的・公益的な機能の保持のため、適切で計画的な森林の育成整備と管理を進める必要があります。間伐や林産物の生産促進など、林業の経営安定や後継者の確保に努めるとともに、木質系エネルギーの活用等を促進し、地域材の利用拡大を図ります。

【生産と販売の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎農業後継者の確保	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成、新規就農者の支援 高齢農業者の持つ技術や能力を活用し、農家と連携した農業研修などによる支援 	農林水産課	新規就農者に対して、国の制度を活用しながら資金面、技術面等において、関係機関と連携を図りながらサポートしているが、農家子弟及び地元担い手でない場合、農地の確保が厳しい場合があり、近隣農家等の受入に対する理解が必要となる。	B
◎持続可能な農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 集落における地域農業者との懇談 地域における中核的農業者への指導、育成 集落や地域全体での農業経営体の組織化支援 作業受託態勢強化への支援 		中核的農業者の育成を進めているが、高齢化と後継者不足が課題である。 集落営農組織の活動も展開されているが、リーダーの高齢化と後継者不足が課題である。 認定農業者等の担い手による農作業の受託により地域の農地の維持保全がなされている。また、受託作業の補助制度も活用されている。	B
◎農業法人化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農業法人化へ向けた推進態勢の整備 		支援センター等と協力して相談等を行うなど推進態勢は整備されてきているが、法人化を目指す担い手が少ない状況である。	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

<p>稲作の生産振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優良品種の導入、技術改善の促進 ・生産性、品質向上による生産向上対策の推進 	<p>農林水産課</p>	<p>生産に繋がられるように、農技連の試験圃場で品種ごとの栽培試験を行っている。</p> <p>意欲ある生産者は、利用権等の設定により農地を集約して効率的な利用を進め、コスト削減や品質の安定化を図ることにより、収益確保の取り組みを進めている。</p>	<p>B</p>
<p>果樹・野菜・花卉の生産振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・りんごオリジナル品種、新わい化等の栽培促進 ・ワイン用ぶどうの生産振興への支援 ・消費者ニーズに即した優良品種や業務用野菜等の導入拡大、野菜や花卉栽培の技術向上への支援 		<p>苗木等の補助を行い、りんごやワイン用ブドウ等の栽培促進の支援を行っている。</p> <p>JA大北では園芸推進重点品目を選定し、生産の振興を図っているが、収益が上がっても費用がかかるものや作業が大変なものは敬遠されることから、一定量は栽培されても、産地化には至っていない。</p>	<p>C</p>
<p>転作作物の生産振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米+αによる付加価値の高い転作作物の振興 ・麦、大豆、そばや園芸品種などへの転作の促進 		<p>経営所得安定対策の活用により、麦、大豆、そばの土地利用型作物や園芸品目の生産振興に努めており、個別の取り組みは進んでいる。しかし、土地利用作物以外の園芸品目の産地化までには至っていない。</p>	<p>B</p>
<p>◎地産地消や高付加価値型農業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食等への地元農産物の活用促進 ・観光や商業と連携した農産物の振興 ・果実などの加工や販路拡大の推進 ・特色ある農業を行う経営者の育成 ・商工業、観光業との連携による6次産業化の推進 ・有機農業等の取り組みへの支援による環境負荷軽減の促進 		<p>学校給食における地元農産物の活用を進めている。</p> <p>農産物等の輸出に積極的に取り組む意向のある事業者により設立された大田市農産物等輸出協議会により、香港でのりんごや加工品などの試験的な販売に取り組み、加工品2品目について、継続的な取引につながったほか、シンガポールにおいてインターネットを活用した日本酒の販売にも取り組んだ。</p>	<p>B</p>
		<p>観光課</p>	<p>市外での観光キャンペーンは中止となり農産物や特産物の販売及びPRは実施できていない。</p>	<p>C</p>

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

		商工労政課	特産品開発セミナーを開催し、大町に来た人が「買いたい、食べたい、また大町に来たい」と思う商品開発を推進する。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	C
		学校教育課	給食に「大町を味わう日」を設けるなど、地元農産物の活用に努めている。	B
◎鳥獣被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> サル追い払い協力員等による地域ぐるみの追い払い対策の実施 猟友会員の育成と確保の支援 侵入防止柵の設置、緩衝帯の整備等による対策の強化 県特定鳥獣保護管理計画等に基づく個体数調整の促進 捕獲した有害鳥獣の有効活用 モンキー犬の育成支援 	農林水産課	<p>サルの対策については、猟友会による個体数調整、協力員及びモンキー犬による追い払いなどの対策のほか、国の交付金及び市の補助事業による侵入防止柵の設置を進めている。猟友会との連携を強化し、従来の捕獲方法に加えGPSや遠隔操作で捕獲できる大型捕獲檻などのICTを活用した効率的な捕獲に取り組んでおり、被害は軽減している。</p> <p>イノシシによる掘り起しやニホンジカによる稲の食害等について報告されているほか、鳥類等の被害も報告されていることから、猟友会と連携し被害の低減するよう、さらに取り組みを進めていく。</p>	B
畜産の振興	<ul style="list-style-type: none"> 生産農家の地域に根差した連携と飼育環境改善への支援 		地元自治会等との懇談会を開催し、飼育への理解を深め、相互理解の促進を図っている。	C
在来魚種の保護と特産魚等水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 漁業協同組合との連携によるイワナ、ワカサギ等のふ化・放流や情報発信 観光業等と連携した特産品のPR、販路拡大や釣り場、釣り客増加の促進 漁業協同組合との連携による外来魚の駆除対策の推進 		<p>市内3漁業協同組合の事業へ補助を行い、水産業の振興と外来魚駆除を促進している。</p> <p>市漁連と協力して「淡水魚の日」を開催し、仁科三湖等の淡水魚のPR、消費拡大を図っている。</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

【農地施策の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
「人・農地プラン」の作成	<ul style="list-style-type: none"> 「人・農地プラン」の作成による地域の担い手と農地の課題解決と地域活性化に向けた事業の推進 	農林水産課	<p>人・農地プランによる持続可能な農業のあり方を検討しているが、高齢化、農地狭小等様々な理由により、中心となる経営体が位置付けられない地域ではプランの作成が進んでいない。</p>	B
農地集約化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構を通じた農地の集約化 農地流動化の促進 		<p>農業経営基盤強化促進法の利用権設定における農地流動化担い手育成奨励金を活用し、農地の集積を図っていく。</p>	B
農地・農業用施設の維持・機能保全等	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地等の利活用の促進 多面的・中山間・環境直払など、日本型直接支払事業の推進 		<p>遊休農地対策については、地域コミュニティ組織の活動に対し支援していくとともに、新規就農者等に対し、当該農地の情報提供をしていく。</p> <p>多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金について、各地域において組織等を立ち上げ共同活動を実施しているが、現状維持が精一杯の組織もあることから、広域化について検討していく。</p>	B
農地・施設の機能保全及び基盤整備事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> 基幹的農業水利施設の長寿命化対策に基づく更新整備 農業用ため池の耐震化の推進 老朽化した農業用水路網の効率的な維持保全 農地の区画整理や農道、暗渠排水等と併せたほ場整備等への支援 	建設課	<p>農業用ため池については、防災重点ため池を対象に耐震調査業務を行い、現在、2ため池において、県営事業により耐震化事業を実施している。</p> <p>老朽化した農業用水路等の農業用施設については、機能診断を行い、個別施設計画を作成し、市の単独事業、多面的機能保全交付金事業や補助金事業を活用しながら効率的に実施をする。</p> <p>農地再編に伴う農業基盤整備事業については、地域の実情にあった受益者の負担が少ない事業などを検討しながら事業を進めている。</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

【豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎林業の担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> 新規就業者等後継者の確保と指導者の育成 林業技術の講習会などの普及活動への支援 	農林水産課	後継者確保や指導者育成のため、林業技術の講習会や、資格取得のための補助事業を検討	C
◎みどり教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 森林の持つ役割、森林を守り育てることを学ぶ、みどり教育の推進による郷土愛の育成 みどりの少年団の育成や活動への支援 植樹祭、育樹祭等の参加体験による森林とのふれあいの促進 		1歳6か月検診時に「木のぬくもりプレゼント」として積み木の配布や、保育園等への積み木の貸し出しにより木育活動の充実を図りながら、木に触れていただく機会を増やしている。	B
健全な森林の育成・整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域に適した健全な森林の育成 間伐等適正な森林施業への支援 地域でまとまりのある森林整備の推進 		健全な森林の育成のために必要な間伐事業に対して、国、県の補助金に対し5%の嵩上げ補助を実施している。 本年度より森林環境譲与税を活用した森林整備を実施した。 北アルプス連携自立圏による協議会を来年度より設置し圏域での林業振興に取り組む準備を進める。	B
森林資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫やナラ枯れ等森林病害被害の監視強化と伐倒燻蒸処理、薬剤樹幹注入等被害対策の推進 樹種転換等の推進 忌避剤等による幼齢木の食害防止 		被害確認木の伐倒くん蒸処理及び空中散布等を行い、全量駆除を目指しているが、被害木は毎年発生している状況にある。 多くの森林を有する当市において、松くい虫被害の対策を実施することは、森林自体の保護のほか当地域の財産である北アルプスと緑の森林の景観を守ることにもつながっている。	C
経営基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 林道等の整備の推進 		林業事業者の実施する森林整備に合わせ、県の補助事業等を活用し整備を促進する。	B
地域材の利用拡大	<ul style="list-style-type: none"> 地域材の公共施設や住宅への利活用の促進 地域資材の流通、加工施設等広域的整備の検討 木質系バイオマスエネルギーの利用拡大の推進 間伐材等地域材の利活用の推進 		薪ストーブ等の購入に際し、10万円を限度に助成制度を設け、木質バイオマスの利用拡大を推進している。地域材の流通及び間伐材の利活用の推進については、大	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

			北圏域で北アルプス森林林業活性化協議会を設立し今後検討していく。	
林産物の生産促進	・林床部を活用した特用林産物の生産振興の検討		松くい虫被害木の適切な伐採処理や一部搬出可能な箇所でのバイオマス利用と共に、下層の広葉樹等への更新を図ることにより、薪生産林への整備を推進する。	C

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
認定農業者数	85人	80人	79人	認定農業者の高齢化により、継続者が減少傾向にある。新規就農者の更なる育成及びサポートが必要となる。	農林水産課
新規農業者数(5年累計)	4人	10人	10人	現在目標値は達成しているが、安定的な農業経営を図るためには、更なる就農希望者の発掘が必要である。	農林水産課
有害鳥獣による農業被害額	10,354千円	8,000千円	6,292千円	サルの被害については減少傾向にあるが、イノシシ、ニホンジカ、鳥類などの被害が報告されている。	農林水産課
人・農地プラン作成・更新地域数(5年累計)	9地域	15地域	14地域	プラン未作成地域においては、営農懇談会等でプラン作成を働きかける。	農林水産課
協働による遊休荒廃地等の整備面積	5.7ha	8ha	0ha	今年度予定された整備が組織の都合により中止となった。	農林水産課
ため池の耐震化対策	3池	2池	2池	順次耐震化対策工事実施中	建設課
集落営農組織数	21団体	19団体	14団体	地域の生産活動の維持と農地の有効活用、保全に重要な役割を果たしているが、新規の組織化や既存団体の法人化の動きはほとんどなく、リーダーや農作業従事者の高齢化と後継者不足により組織の維持が難しくなっている団体	農林水産課

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

				もある。経営所得安定対策等の補助事業による支援を継続し、生産活動の維持を図っていく。	
林業従事者数	26人	28人	63人	林業従事者の高齢化が進んでおり、後継者の育成について検討していく。	農林水産課
間伐実施面積	44.25ha	120ha	20.63ha	間伐実施面積を増やすため、林業事業者を増やす支援や、作業箇所を拡大するための森林経営計画作成の支援等を検討する。	農林水産課

目標実現の条件

- ・青年就農給付金の継続

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
農林水産業の振興に満足していると思う市民の割合	45.8%	60%
間伐等適正な森林施策が推進されていると思う市民の割合	12.5%	50%
農地、林地の環境保全推進対策に満足していると思う市民の割合	43.8%	60%

○関連する個別計画

農業振興地域整備計画、大田市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画、大田市森林整備計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
農業次世代人材投資事業	16132	農業振興事業	農林水産課
環境保全型農業直接支払補助金	16132	農業振興事業	農林水産課
農業マーケティング事業	16133	農業マーケティング事業	農林水産課
農地流動化担い手育成奨励金	16134	農業経営基盤強化推進事業	農林水産課

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

中山間地域等直接支払事業	16136	中山間地域等直接支払事業	農林水産課
多面的機能支払事業	16137	多面的機能支払事業	農林水産課
間伐推進事業	16312	林業振興一般経費	農林水産課
市有林整備事業	16313	市有林管理育成事業	農林水産課
森林整備地域活動支援事業	16315	森林整備地域活動助成事業	農林水産課
松林健全化推進事業	16316	松林健全化推進事業	農林水産課
有害鳥獣対策事業	161311	有害鳥獣対策事業	農林水産課
有害鳥獣対策事業	161312	有害鳥獣対策強化事業	農林水産課
森林環境譲与税事業	163112	森林環境譲与税事業	農林水産課

◆3 観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進◆

本市は、北アルプスの山々をはじめ魅力ある観光資源を数多く有しており、これらの資源の魅力向上や、新たな資源の発掘を図り、観光振興の豊富な経験と実績を持つ有識者を活用して外貨を獲得し地域でお金が回る仕組みを構築するとともに、観光の質の向上を推進します。

白馬村、小谷村との連携によるDMO（観光業を強化する連携体制）の組織化を図り、DMOの持つ機能を最大限に活用し、滞在型観光地づくりを進めます。

また、国内外からアーティストを招へいし、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンス事業を積極的に展開し、市固有の魅力をアートを通じて発信し、国内外から新たな観光客層の誘客を図ります。

さらに、市民が観光を通じて市の魅力を再認識し、訪れた観光客との交流を促進するため、市民のおもてなしの心を醸成し、観光客に感動を与えリーダーの獲得を基軸とする観光振興により豊かな地域づくりを目指します。

【“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
観光資源の有効活用と魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> • 恵まれた温泉資源の有効活用 • 豊かな自然を生かした登山やカヌー、サイクリングなどアウトドア活動を楽しむ観光の推進 • 新たな観光資源の発掘と既存資源の磨き上げ • 観光キャンペーン、商談会等での誘客宣伝の推進 • 農、工、商業など、地元企業との連携による多彩な観光事業の推進 • スキー場等への統一ICカードの導入等による顧客データの収集、分析と、データに基づく戦略的な情報発信の実施 	観光課	市公式観光サイト「信濃大町なび」に着地型商品の申し込みページを作成し、観光誘客を図った。 大町温泉郷未来検討会議を発足し、温泉郷の魅力づくりを図ることとしている。	B
	<ul style="list-style-type: none"> • 道の駅等、公共的な観光施設の整備と、健全な管理運営による利用促進 	観光課	観光公衆トイレ及び観光施設については、年次計画により施設整備を進めている。	B
		八坂支所	指定管理者制度による民間の能力、経営ノウハウを活用し利用促進、利用者のサービス向上を目指している。	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

			各施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と連携を図りながら計画的に施設整備を進めるとともに適正な管理に努めている。	
		美麻支所	指定管理者と連携して、観光事業振興や市民福祉の増進に努めるため、施設の計画的な修繕を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により断続的に休業等したことから、苦しい施設運営となっている。	C
滞在型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域連携によるDMO組織体制の構築と、市内観光関連事業者との連携強化 ・ 民・官の連携による国内外からの外貨の獲得と交流人口の拡大 ・ 通過型の観光から、滞在型観光への転換の促進 ・ 広域連携を含めた観光資源を結ぶ観光ルートの定着化 ・ 日程に合わせた周遊モデルプランの提案 ・ 国営アルプスあづみの公園を活用した誘客の促進 ・ 学習旅行誘致の促進 ・ 二次交通の整備強化 ・ 体験型の観光資源を含めた多様な観光スタイルの提案 	観光課	<p>平成31年4月に3市村広域型DMO（観光地域づくり法人）として「HAKUBA VALLEY TOURISM」を設立</p> <p>滞在型観光に向けて、周遊バス「信濃大町ぐるりん号」のほか、本年度プレミアム付き観光タクシーチケットを開始した。</p> <p>2次交通手段が乏しい観光地のアクセス向上を目的として、プレミアム付き（3,000円で5,000円分）のタクシーチケットを販売した。</p> <p>令和3年度から周遊バス「信濃大町ぐるりん号」に、ボンネットバスを利用した。また、フォトコンテスト開催や市内小中学生全員にパンフレットを渡すなどの周知を図り、利用増に努めた。</p>	B
外国人観光客の誘客強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携したゴールデンルートなど他の人気都市を巡る観光ルートからの外国人観光客の誘導 ・ 東アジア、東南アジアをターゲットとする戦略的な誘客促進 ・ 外国人観光客の関心を喚起する新たな観光資源の発掘 ・ 観光施設や、個室を有する宿泊施設などの受入態勢の充実強化 		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンドの入込が見込めない状況であったが、台湾・韓国向けFacebookによる定期的な観光情報の発信に加え、台湾のテレビ局による市内観光地のPRなどコロナ後のインバウンド誘客につながるよう努めている。また、インバウンド向けの仁科神明宮に多言語案内が可能なQRコード及び案内看板を整備した。</p>	B
山岳観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山周辺地域観光整備計画に基づく誘客の促進・充実 ・ 高瀬溪谷の観光振興 		<p>新型コロナウイルス感染拡大により、登山客の減少等で山小屋による登山道の整備が困難な状況にあり、コロ</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな環境を活用した山岳エコツーリズムの推進 山岳情報や文化・歴史、自然や生き物など山岳文化都市としての魅力を国内外へ発信 		<p>ナ感染対策山小屋支援金を支給した。</p> <p>高瀬渓谷については、高瀬渓谷振興協議会での観光誘客を図っているが、自然環境が厳しい高瀬渓谷であるため、年次計画通りには進まない状況である。</p>	
		山岳博物館	<p>東山は博物館に最も近いフィールドとして、自然観察会などに積極的に活用している。</p> <p>山岳情報の発信としては、ホームページのほか、SNSなど各スタイルにあった四季折々の情報など随時発信している。</p>	B
◎おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> 最新の観光情報を市民へ提供し、観光に対する意識の高揚 観光客への積極的な声かけや、観光地の清掃活動、各種イベントへの参加などの取組み強化 観光客との交流の促進と受入態勢の整備 	観光課	<p>観光客へのおもてなしについては、観光客受け入れとして、大町市観光協会や観光関係団体と連携しながら取り組んでいる。市情報メールによる市民等への情報提供や観光協会を通じた情報提供により観光事業者等への意識の向上に努めている。</p>	B
◎観光ボランティア(ガイド)の育成	<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティア(ガイド)の人材育成と会員確保の推進 信濃おおまち達人検定の合格者へ観光ボランティア(ガイド)登録の勧奨 		<p>大町市観光協会の事業(県補助金活用)として、ガイド研修を開催し、ガイドマニュアルを作成している。また、公認ガイドの育成にも務めている。</p>	B

【地域の芸術文化の創造】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アーティスト・イン・レジデンス事業の推進(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> アーティスト・イン・レジデンス、芸術祭等の開催や支援 芸術文化を通じた国内外との交流の促進 地域固有の芸術文化資源等の魅力発信 	まちづくり交流課	<p>信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度は実施できなかったが、今後もコーディネーターとして市内芸術団体が役割を担い、国内外からアーティストを招聘し、あさひAIRでの滞在制作を支援しながら、芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら、芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

			<p>3年に一度のトリエンナーレとして開催した、北アルプス国際芸術祭では、2回目から新たにビジュアルディレクターを迎え、より質の高い国内でも有数の芸術祭を目指した。</p> <p>国内外から質の高いアートが集結し、生活文化でもある地域の食を提供し、目的である国内外への強い発信、地域経済への波及効果、交流人口・関係人口の増、市民との協働の4項目に、コロナ禍における疲弊した地域経済の活性化と、地域の活気や元気を取り戻し持続可能な地域づくりを目指す、の2項目を加え、持続可能な元気ある大町を目指し開催した。</p>	
--	--	--	--	--

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
観光客の年間消費額	121 億円	130 億円	77 億円	新型コロナウイルス感染拡大により観光客の入込に多大な影響があった。	観 光 課
観光ボランティア登録数（5年累計）	23 人	30 人	18 人	継続して登録者数を増やすよう関係団体等と協力していく。	観 光 課
外国人延宿泊数	30,911 人	40,000 人	4 人 (温泉郷内)	新型コロナウイルス感染拡大により外国人観光客の入込に多大な影響があった。アフターコロナに向けて、多言語案内看板設置や Wi-Fi スポットを整備している。	観 光 課
アーティスト・イン・レジデンスによる来場者数（5年累計）	4,100 人	81,500 人	34,738 人	コロナ禍における運営体制の工夫や、市民への情報提供を積極的に行った。	まちづくり 交流課
明日香荘など八坂地区4施設の利用者数	81,682 人	82,500 人	56,660 人	北アルプス国際芸術祭の開催により、鷹狩山展望施設の入込みは昨年度を大きく上回ったが、新型コロナウイルス感染症の	八坂支所

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

				影響で積極的な誘客が出来なかったことや臨時休館により、全体としては目標値を大きく下回った。	
道の駅ぽかぽかランド利用者数	96,710人	97,000人	53,998人	積極的な利用促進の取り組みを行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて断続的に全館休業となり、結果的に利用者は大幅な減少となった。	美麻支所

目標実現の条件

- ・国内景気の維持
- ・国や県における訪日外国人観光客の地方への誘客と個人旅行者への戦略の実施
- ・観光人材の育成への気運の高まり

市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
観光の振興に満足していると思う市民の満足度	47.5%	60%

関連する個別計画

大田市観光振興計画、大田市東山周辺地域観光整備計画、文化資源活用ビジョン、大田市過疎地域持続的発展計画

◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
山岳博物館教育普及事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
明日香荘管理運営費	121119	明日香荘管理運営費	八坂支所
信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業	121131	芸術文化振興事業	まちづくり交流課
北アルプス国際芸術祭推進事業	121131	芸術文化振興事業	まちづくり交流課
ぽかぽかランド（施設修繕、更新）	1211215	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美麻支所

◆4 移住・定住促進策等の充実強化◆

全国的に多くの地方都市で人口減少が進んでおり、総合的に地方の活力は衰退していると言われていいます。本市においても、人口の減少が続いており、活力の再生など地域の活性化のためには、ふるさとに対する誇りや愛着心の向上が不可欠です。定住促進ビジョンに沿って、移住・定住を促進するために、また、地方都市として生き残りを賭けるうえでも、本市の魅力的な地域資源をブランドイメージへと高めることにより、特色ある信濃大町ブランドの構築を戦略的に展開し、ブランド力の強化による全国的な認知と魅力の向上を図ります。

【定住促進ビジョンの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎移住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働組織である定住促進協働会議による定住促進事業の推進 ・大都市向けの移住セミナーの開催やPR事業による、移住先としての市の認知度の向上 ・移住者の心を惹きつけ、住んでみたくなる魅力の向上と発信 ・「山好き」「美味しい水」など地域資源の魅力に特化したPR事業の推進 ・市民の定住促進の意識高揚を図ることによる市の魅力の発信 ・市の暮らしを知る魅力体験ツアーの開催による具体的な移住を検討できる機会の充実 ・移住情報専用サイトによる移住情報の一元的な発信 ・首都圏在住の市出身の若者を対象としたイベント等の開催によるUターンの促進 ・定住促進アドバイザーによる移住相談の充実 ・移住後の暮らしの充実のための移住者交流会の開催 ・ターゲットとする若年層・ファミリー層と地域を活性化中高年齢層の移住促進 	まちづくり交流課	<p>情報発信として、全国版移住情報誌への広告記事の掲載や、市移住情報ウェブサイトでの移住情報発信に力を入れている。</p> <p>全国的に移住促進事業が行われるようになり、より大町市の特徴を活かしたPR方法や施策の検討が必要である。</p> <p>第3期定住促進ビジョンを策定</p> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進協働会議による取組 移住セミナー・相談会計17回 魅力体験ツアー10回 参加者数合計163人 ・窓口、定住促進アドバイザーへの相談件数 相談件数456件。 ・51世帯、92人が移住。 ・空き家改修・流通促進補助金 利用件数12件 3,130千円 	A

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 北アルプス広域の他町村との連携による移住促進 			
定住の奨励と拡充	<ul style="list-style-type: none"> 快適な住環境の提供などによる住み続けたいと思えるまちづくりの推進 市民の定住を促進するための様々な節目での助成等を行う生活応援事業の推進 人口の流出抑制やUターンの促進を図る3世代同居・近居世帯の定住促進 地域商品券発行による定住意識の醸成 県有料道路割引通行券の購入助成による通勤圏拡大を図る定住の促進 	まちづくり 交流課	<p>第2期定住促進ビジョンに基づく定住促進奨励事業の実施。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品券事業 Uターン生活応援 25件 Iターン生活応援 66件 新婚生活応援 45件 4,080千円 マイホーム取得助成事業 新築53件、購入27件 22,559千円 有料道路利用者負担軽減 利用者82名、169冊 	A
空家等の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクの充実 住宅情報の一元化と情報誌等による定住希望者への情報の発信 移住者が空き家に入居する際の住宅改修費の助成 空き家、空き店舗の見学会などによるマッチングの促進 地域住民による空き家活用とまちづくりを考える機会を提供する住民活動へのサポート 		<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク登録物件数9件、成約件数13件、利活用者登録数34名（令和4年3月末） 空き家流通促進事業補助金 1件 移住推進空き家改修事業補助金 11件 信州大学、東京大学との共同研究事業（空き家の学校及びシャッターオープンプロジェクトの開催） 空き家利活用支援体制の運用 	B

【過疎地域における移住・定住促進】

進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎過疎地域における移住・定住促進策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進住宅の整備や過疎地域定住促進奨励金などの支援の充実 	八坂支所	八坂地区内の空き家に入居した1世帯に定住促進奨励金を交付した。	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域における創業支援 	美麻支所	二重地区に3区画の定住促進住宅建設。入居者選考委員会の選考により入居者を決定した。 定住促進奨励金、住宅新築資金等利子補給金を交付。 過疎地域起業育成支援として補助金交付。起業に限らず事業継続への支援も必要。	B
--	--	------	--	---

【都市との交流の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
都市と農村の交流	<ul style="list-style-type: none"> 滞在型市民農園を活用した地域間交流の推進 都市との交流施設への転換など滞在型市民農園の多面的な活用方法の検討 	美麻支所	新型コロナウイルス感染症の影響により、都市住民利用者の利用日数が減少した。また、施設の老朽化や競合する施設が増加しており、利用者獲得が課題となっている。	C
◎地区住民と市民農園利用者との交流	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の野菜づくりにおける地区住民の農業指導や、利用者の交流による、地域活動等への参加意識の醸成 		農業指導は行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との交流や収穫祭が見送られる状況となっている。	C

【信濃大町ブランドの戦略的な展開】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎信濃大町ブランド戦略に基づくブランド力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 信濃大町ブランド戦略に位置付けられた施策の着実な実施による認知度と魅力度の向上 「信濃大町」の呼称の統一的使用によるブランド力の強化 市民や市内事業者等への信濃大町ブランド戦略の浸透と、信濃大町に対する誇りや愛着心の醸成 ブランド専用Webページの開設による情報の受発信の活発化 観光大使など市出身やゆかりの著名人の協力による情報発信の強化 	商工労政課	ブランド啓発事業「信濃大町 水の恵みに感謝を！！プロジェクト」を実施し、既存事業の水道水源感謝祭等で、のぼり旗の掲出や、啓発用コースターを作成し啓発を図っているが、コロナ禍で2年間未実施。 信濃大町ブランド公式サイト「しなののおまち水と人」の記事内容の充実を図り、ブランド力の強化を図った。 首都圏在住者を中心とした信濃大町サポーターを随時募集し観光・物販イベント等でのアシスタント、情報の拡散等を担っていただき市の認知度向上を図っている。	C

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 信濃大町の認知度の向上のため、アンテナショップ等を活用した首都圏への情報発信 	観光課	<p>国際芸術祭において、観光大使2名がプロモーション等を行い、情報発信の強化に努めた。</p>	B
<p>◎信濃大町水ブランド戦略の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の「水」を最大限に活用した水ブランド戦略の積極的推進 市民の地域への誇りや愛着を醸成するための水を知る機会の提供と全国に向けた情報発信 「水のまち」をイメージできるような親水スポットの整備 	商工労政課	<p>市内飲料水事業者の販路を活用した湧水地「信濃大町」認知度向上。信濃大町湧水はモンドセレクション2020最高金賞を受賞し国際的評価を得ている。 <平成28年度に駅前親水施設整備事業基本構想を策定、平成29年度には意見交換会を開催（全7回開催）、現行の基本構想案では水ブランド向上への効果が得難く、発展性に乏しいため、「水のまち」を象徴し、中心市街地の活性化に資する、より効果的な計画を慎重に練っていく必要性を示唆、基本構想策定の延期方針を決定></p> <p>これを受け、中心市街地の歴史的建造物等を拠点に、市と包括協定締結を結ぶ（株）モンベルに依頼し水巡りクリアボトルを作成・販売したほか、男清水・女清水の水飲み場が新たに1ヵ所、民間により整備された。地域を訪れる観光客等に「水のまち」のPRを図っていく。</p>	B
		建設課	<p>「水のまち」をイメージする既存の親水空間の保全や、親水スポット等の整備については、民間の低未利用土地であった「庵寓舎」への水場設置や、下中町ポケットパークにおける歩行者ルート沿いの水路活用など、市民をはじめ、関係各課が連携した取組みを進めている。</p>	B
		上下水道課	<p>中心市街地にぎわい社会実験のイベントにあわせ、水のPR動画を放映し、水源の写真パネルの展示や水のパンフレットを設置した。また北アルプス芸術祭では、一部のサイトにおいて、ペットボトルウォーター「信濃大町湧水」の販売を行い、来場者には大町市のおいしい水について興味を持っていただき、水のPRに貢献できた。</p>	B

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

<p>◎地域資源や特産品のブランド化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 個性的で魅力ある新しい特産品の開発支援 • 他地域との差別化が図られる、食品などの特産品のイメージの向上 • 地域資源、特産品のデザインや物語性の構築 • 地元産の発酵食品や日本酒、ワイン等の製造と普及 	<p>商工労政課</p>	<p>特産品開発セミナーの開催を予定したが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 北アルプス国際芸術祭開催に合わせ、信濃大町の食材の魅力発信を予定したが、北アルプス国際芸術祭の延期に伴い延期した。</p>	<p>B</p>
<p>おおまびよんの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ファン感謝デー等の開催による市民との交流や愛着の醸成 • 全国で開催される各種イベントへの積極的な参加 	<p>農林水産課</p>	<p>大北地区の市町村で構成している北アルプス山麓ブランドにおいて当市の認定品を紹介し、販売促進に取り組んでいる。</p>	<p>B</p>
		<p>商工労政課</p>	<p>感染拡大により、ゆるキャライベント等の多くが中止となったが、市内行事のほかWEB開催のイベント、キャラクター商品開発等による市のPRとともに、SNSを活用した大町市の魅力の情報発信を行った。</p>	<p>B</p>

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
マイホーム取得助成交付件数(5年累計)	85件	425件	412件	加算項目の見直し	まちづくり交流課
市人口の社会動態数	△166人	△42人	△140人	転出者数の縮減、Uターン促進	まちづくり交流課
移住相談による移住者数(5年累計)	25世帯	100世帯	208世帯	移住相談増加への対応	まちづくり交流課
八坂・美麻地区の定住促進住宅整備棟数(5年累計)	12棟	14棟	16棟	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者技術習得施設1戸を定住促進住宅に用途変更した。 ・定住促進住宅の譲渡要件に該当する方もいるが譲渡まで至らない。 ・定住人口の増加と集落機能の強化に一定の効果がある。新たな住宅を建築するだけでなく、空き家の利活用等の検討も進める必要がある。 ・移住希望者のニーズの把握と、移住された方々の意見を取り入れるとともに、受け入れ希望地区の住民との協議を行い、整備を進めている。 	八坂支所 美麻支所
市民農園利用者数	28,522人	30,000人	9,455人	コロナウイルス感染症の影響により、大幅に利用者数が減少している。一方、コロナの影響で問い合わせは増加しているので、お試し用のラウベを活用し利用促進を図る。	美麻支所
長野県内の認知度順位	14位	7位	9,455人	更なる情報発信が必要	商工労政課
長野県内の魅力度順位	12位	6位	16位		

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

様式第1号

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
効果のあがる移住対策が推進されていると思う市民の割合	41.6%	60%
地域ブランド力が向上していると思う市民の割合	9.4%	50%

○関連する個別計画

大田市定住促進ビジョン、大田市過疎地域持続的発展計画、信濃大町ブランド戦略

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
定住促進事業	12137	定住促進事業	まちづくり交流課
市民農園管理事業	16152	ふたえ市民農園管理費	美麻支所
市民農園管理事業	16153	おおしお市民農園管理費	美麻支所
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
八坂定住促進事業	121118	八坂定住促進事業	八坂支所
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
美麻定住促進事業	1211212	美麻定住促進事業	美麻支所

施策評価票

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

1 健康で長生きできる社会の実現

- 市立大町総合病院新改革プランに基づく経営改善
- ◎地域に密着した医療の提供
- 安心して受けられる医療の確保
- ◎健康づくりの推進
- ◎高齢者が住み慣れた場所で暮し続けられる支援の構築

2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進

- ◎地域福祉の推進
- ◎障がい者福祉の推進
- ◎生活困窮者への支援の推進
- ◎生きがい対策の充実

3 結婚・出産・子育て支援の充実

- ◎結婚支援の充実
- ◎妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- ◎子育て支援の充実

4 市民生活の安全の確保

- ◎災害に対する市民生活の安全の確保
- ◎災害に強いまちづくりの推進
- ◎交通安全対策の推進
- ◎消費生活相談の充実

◆ 1 健康で長生きできる社会の実現 ◆

大北医療圏の中核機能を担う市立大町総合病院は、新改革プランに基づく経営健全化の取組みを着実に進め、経常収支の黒字化を図ります。また、高齢化が進む地域の医療ニーズに応えるため、急性期から慢性期までの病床機能を持つ多機能型病院として、体制整備を進めるとともに、周産期、小児医療を堅持し、地域医療を支えます。

市民の健康づくりでは、全てのライフステージにおいて、きめ細かな保健指導や健康増進活動を推進し、高齢者に対し、地域の担い手として生きがいを持って活躍する場を提供して、健康長寿社会の実現を目指します。

【市立大町総合病院新改革プランに基づく経営改善】 進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
抜本的な経営改善	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な医師確保対策による医師の増員 病床機能に応じた効率的な受入れによる患者数の増加 各部署等の改善目標達成に向けた PDCA サイクルの徹底 健診業務等の充実による収益増への取組み強化 業務の効率化による人員と人件費の抑制 計画的かつ最小限の施設、器械整備と材料費等の節減 許可病床数の削減による病院規模の適正化 経営改善推進チームの設置や業務改善による収益確保とコスト削減 広域的な構成による病院運営に関する検討組織の設置 	大町病院	<p>医師確保に向けた様々な取組みにより、2名の専門医確保に繋がった。</p> <p>病床数を199床に変更し、診療報酬の増加に取組んだことにより、入院・外来収益の向上が図られたほか、経営健全化計画に基づき、給与・手当の削減、設備投資の抑制、診療材料費等経費の見直しによりコストの削減が図られた。</p>	A
経営形態の見直しとネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人等、柔軟で自律性の高い経営形態の早期検討 近隣病院や高度医療機関との連携強化と役割分担の推進 地域医療連携推進法人化の検討 		<p>経営検討委員会において、経営形態についての検討を行っているが、様々な課題もあるため、慎重に議論を進めている。</p>	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

【地域に密着した医療の提供】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地域ニーズに応じた質の高い医療提供	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療、病床機能等、高齢化に対応した医療提供体制の充実 二次救急医療提供の堅持 周産期、小児医療提供の堅持 訪問診療や訪問看護等による在宅医療提供の充実 地域包括ケアシステムの構築に向けた福祉保健分野との連携の強化 	大町病院	<p>高齢者、在宅医療などについて、地域の医療ニーズに対応すべく様々な取り組みを行っている。また、救急医療についても、積極的な受入れを行った。</p> <p>11月に産婦人科医が1名着任し、周産期医療は再開できたが、安定的な体制の構築に向け引き続き関係機関等と連携し医師確保を目指す。</p>	B
◎臨床研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 信大附属病院総合診療科と連携した臨床研修の拡充 初期・後期臨床研修医の確保 信州大学医学部の研修医・実習生受入態勢の整備 		<p>信州大学附属病院総合診療科の臨床研修病院として指導医・研修医の派遣を受け、研修体制の充実が図られた。</p>	B
保健福祉事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい児、介護予防事業への支援 健診センターの充実 		<p>コロナ禍により休止となった時期もあったが、人間ドックの受検者増加に向け、積極的に宣伝活動を行った。</p>	B
◎認定看護師等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各種認定看護師等の資格取得を勧奨、研修会への参加 		<p>認定看護師の資格取得を進めたほか、医師の診療を補助する特定行為看護師の養成に取り組んだ。</p>	A
◎職員の能力向上	<ul style="list-style-type: none"> 院内研修の充実 		<p>全職員を対象とした院内研修会の開催のほか、経営層、管理層、主任層の3つの階層に合わせたマネジメント研修を実施し、組織マネジメントや経営意識を学習した。また、専門的知識習得のため、外部研修会の積極的な受講に努めた。</p>	A

【安心して受けられる医療の確保】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
かかりつけ医制度の普及	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけの医科・歯科・薬局の普及啓発と、情報共有による市民の健康増進 開業医の後継者対策の検討 	市民課	<p>かかりつけ医の普及啓発を行っている。国の動向を見極めつつ、機会を捉え、情報提供を行う必要がある。</p>	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

持続可能な医療保険制度の確保	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険、後期高齢者医療に係る収納率の向上と保健事業の充実 医療費適正化による健全運営の堅持 	市民課	<p>滞納世帯には短期証を交付し、納税相談・折衝の機会を確保した。税務課管理収納係とも連携し、滞納整理に取り組むとともに、適切な不納欠損処理を行うことにより、収納率の向上に努めた。</p> <p>医療費の適正化については、後発薬品を使用した場合の差額通知を発送することにより、後発薬の使用を啓発している。</p>	B
医療費負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者等の医療機関での保険診療における窓口負担額の一部給付の実施 		福祉医療費給付事業に負担軽減を図っている。	A
過疎地域の医療確保	<ul style="list-style-type: none"> 診療所の継続的な医師確保と医療機器の整備 医療提供体制確保のための交通弱者に対する地域振興車両等による診療所への送迎 	八坂支所	移動手段の無い高齢者等が安心して八坂診療所に通院できるよう、送迎診療バスの運行を実施している。コロナ禍により乗車時の密を避けるため、送迎回数を2回に分けて乗車人数を分散させている。	B
		美麻支所	診療所受診のため患者輸送と運行車両の管理業務を委託。248回運行し、509人が利用。	A
		市民課	<p>補助金を活用し、必要な医療機器の購入、更新を行っている。</p> <p>送迎車両を活用した送迎診療を行うとともに、医師の訪問診療も実施している。</p>	B

【健康づくりの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
生活習慣病発症・重症化予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診率向上と保健指導の充実 生活習慣病の重症化予防の充実 ライフステージに応じた保健指導の推進 がん検診の充実 健康づくり活動等への支援と積極的な情報提供 乳幼児期からの適正な生活習慣の確立の支援 	市民課	<p>保健指導は健診結果をもとに、高血圧、糖尿病性腎症の重症化予防対象者を重点的に、医療機関への受診勧奨及び保健指導を、訪問や来所・電話等により実施をしている。保健指導実施率の向上と指導内容の充実が課題である。</p> <p>18～39歳及び75歳以上の健診受診者への保健指導を随時実施</p>	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

			<p>乳幼児健診や地区健康相談等の機会を捉え、対象者に応じた保健指導、健康教育を実施</p> <p>がん検診では、子宮頸がん検診の集団健診を実施。検診日前に再度通知を発送し、受診勧奨を行っている。20～40代の若い受診者が5割近くを占め、若い世代が受診しやすい検診となっている。</p>	
◎母子保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな成長・発達を支援 ・育児力向上のための学習機会の充実 ・妊産婦・乳幼児の健康の保持増進のための健診や相談等の充実 	市民課	<p>食や生活リズムの乱れがみられるため、乳幼児期から、より良い生活習慣の形成を支援している。</p> <p>乳幼児の健康の保持増進を図るため、親が子どもの養育、発達を知り、安心して育児に取り組めるよう支援している。</p>	B
◎こころの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発の推進 ・こころの不調に気づき、相談支援につなげる人の育成 ・相談窓口の周知と充実 ・関係機関との連携強化 		<p>心の相談については、多職種による支援体制が図られ、必要な関係機関につなぐことが増えてきている。「大田市いのちを守る推進計画」に基づき、更に連携を図り、生きることへの支援を行う。</p> <p>心の健康についての正しい知識の普及や、ゲートキーパー等地域の人材育成に努めていく。</p>	B
◎健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で健康づくり活動を担う健康づくり推進員の育成 		<p>地域の健康づくりは、健康づくり推進員が中心となり実施している。市の健康課題である高血圧等に関して学ぶ機会を提供し、自ら健診受診の必要性を確認するとともに、家族や地域に健診受診の啓発活動を実施。しかしながら推進員の活動状況は、地域によって差異が生じている。</p>	B
◎自ら取り組む健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守るための自己管理能力を身につけるための支援 		<p>各地区の依頼を受けて、健康相談・健康教育等を実施している。働き盛りの40・50歳代の参加者が少ないため、若い人が参加できる機会を設けることが課題である。</p>	B

【高齢者が住み慣れた場所で暮し続けられる支援の構築】

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
生活支援態勢の整備	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の状況に応じた多様なニーズに対応できるサービスの充実 住民ニーズ、地域資源の発掘とマッチング 	福祉課	<p>圏域ごとに日常生活を送るうえで、便利なサービス等の提供に向け取り組みを進めている。提供範囲が一部地域に限られているため、全域をカバー可能なサービス等の創出が求められる。</p> <p>在宅生活が継続できるよう、配食、生活支援員派遣、緊急通報システム等のサービス利用を案内している。</p>	B
介護予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が生活に目標を持ち、いきいきと暮らせる多彩な介護予防事業の展開と既存サービスの一層の充実 地域での通いの場となる公共施設等を利用したサロンや各種教室の定期的な開催 介護予防事業者に対する運営支援の検討 		<p>一般介護予防体操教室を開始。集団指導と個別指導を組み合わせた教室で好評を得ている。</p> <p>マシントレーニングへの関心の高まりに合わせ、遊休施設を活用した教室を準備した。</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の一環として通いの場を巡回。高血圧予防に関する学習会を行った。</p> <p>事業者を参集した連絡会を開催。事業者間の連携も始まり、新規事業に繋がっている。</p>	B
◎認知症施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症となっても地域で暮らし続けられる、支える人材の育成と家族支援の強化 		<p>平成30年度より、各包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し認知所の支援、啓発活動に取り組んでいる。また、認知症初期集中支援チームを設置し、早期に関わり適切な医療や介護サービスに繋がるよう支援体制を整備している。</p>	B
高齢者の権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 高齢期に安心して安全に生活できる態勢の構築 成年後見支援センターとの連携と活用 高齢者を地域で見守る地域ネットワークの充実 		<p>成年後見制度の普及啓発や、連携自立圏事業の成年後見支援センターでの、土業の協力による無料相談や研修会開催などを、高齢期に自分らしく安心して暮らせる取組を行った。また、令和4年3月には、権利擁護支援地域連携ネットワーク設置要綱を整備</p>	A

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

医療・介護の連携	<ul style="list-style-type: none"> 多職種が連携し必要な支援やサービスの提供が円滑に提供できる地域づくり 	福祉課	令和2年度末に専門職員が退職し相談や同行訪問などの業務ができなかった。令和4年度から大町病院へ業務委託するための調整を行った。	C
◎いいまちおおまちサポーターの養成	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の正しい理解を促進するためのボランティア(認知症サポーター)の育成と、認知症の人やその家族の支援 地域で行う体操教室の運営補助や介護予防の普及啓発を行うたいそうサポーターの育成 		認知症サポーターの養成を毎年行い、認知症に対する正しい理解と、地域での見守りが向上している。	B
◎複合教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設等での体操や認知症予防、栄養改善や口腔ケアに関する教室の開催と、住民主体の通いの場の創出 		コロナ禍のためボランティア活動の受け入れが完全停止したため、たいそうサポーターは解散。その後、自主的に通いの場を立ち上げ新たな活動を開始している。	A
◎生活支援コーディネーター(協議体)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でのニーズや地域毎の住民活動、民間サービス等の地域資源についての調査など、ニーズとサービスのコーディネートの実施 		市内14か所で開催。高齢者の閉じこもり予防、健康づくりの場となっており、自主活動への契機にもなっている。受託可能な事業所が限定されていることが課題である。	B
◎自主活動団体育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 自助、互助を推進する地域での通いの場、見守りの場として定期的にサロン等を開設する団体への支援 		生活支援コーディネーター(SC)を市内5カ所の圏域へ配置。第2協議体は一部の地域で未設置だが、5人のSCが連携しながら情報を共有し、地域の生活課題解決に向け、新たな生活支援サービスの発掘や構築に努めている。	B
			28団体実施。内4団体新規。コロナ禍により活動しなかった団体が1か所あったが、各地域で活発に活動が展開されている。	A

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
大町病院入院患者数	162人	190人	164人	コロナ禍での受診抑制や新しい生活様式の定着により目標と大きく乖離した数値となった。安全安心に受診できる体制や、受診しやすい環境整備を進める。	大町病院
大町病院常勤医師数	17人	20人	25人	産婦人科医の採用等、目標は達成しているものの、安定的な診療体制を考えると、医師が1名の診療科もあり、専門医が必要数に達していないので引き続き医師確保に努める。	大町病院
大町病院経常収支比率	91.5%	100%	108.4%	令和3年度は前年度よりコロナ関連補助金が減少したものの、診療実績の増や予防接種の受託により目標達成となった。補助金と同等の収益を確保できるよう、患者確保対策を進める。	大町病院
大町病院人件費対医業収益比率	73.7%	63%	64.3%	コロナ禍により、患者数は減少したが、医業収益が前年度に比べ大幅に改善となった。 安全安心に受診できる体制や、受診しやすい環境整備を進め、患者確保を行う。	大町病院
国民健康保険税収納率（現年課税分）	94.9%	96.5%	96.80%	納め忘れ等により滞納する者を減らすため、口座振替の推進やマルチペイメントの導入等を検討する必要がある。	市民課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

後期高齢者医療保険料収納率（現年課税普通徴収）	98.8%	99.4%	99.36%	現金納付者を減らすため、特別徴収以外の者に対して、口座振替の推進やマルチペイメントの導入を検討する必要がある。	市民課
特定健診受診率	45.6%	55.0%	45.4% （令和2年度）	特定健診受診料の無料化、休日の健診、がん検診の同時実施など、受診環境の整備、また、訪問・電話等による受診勧奨により、受診率の向上を図っている。 令和2年度より、コロナ禍の影響により、人間ドックの受診者数が減少傾向にあり、受診率も目標値を下回る結果となっている。	市民課
特定保健指導実施率	50.0%	75.0%	66.2% （令和2年度）	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の概念を導入し、特定健診の結果から生活習慣病のリスクに基づく必要度に応じて、保健指導を行っている。対応する保健師等のマンパワーの不足もあり、全ての対象者に指導が出来ていないという課題がある。	市民課
胃・大腸・肺がんの検診受診率	—	40%	胃がん 22.0% 大腸がん 22.0% 肺がん 23.4%	コロナ禍において受診控えが見られ、受診率が伸びない状況にある。	市民課
子宮頸・乳がんの検診受診率	—	50%	子宮頸がん 19.7% 乳がん 26.5%	無関心層を中心とした受診勧奨の実施方法が課題である。	市民課
地域で通いの場を開催する団体数	11 団体	30 団体	27 団体	参加登録数 28 団体	福祉課
地域介護予防教室の参加人数（延数）	2,378 人	3,000 人	3,103 人	参加団体の固定化	福祉課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

いいまちおおまちサポーターの育成	398人	450人	58人	体操サポーターは令和4年度より自主活動化。コロナウイルスの影響で認知症サポーター養成講座が開催できなかった。	福祉課
------------------	------	------	-----	--	-----

目標実現の条件

- ・大町病院における常勤医師数の確保、信州大学医学部総合診療科との連携継続

市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
医療提供体制の充実に満足していると思う市民の割合	54.1%	70%
健康診断などの保健サービスに満足していると思う市民の割合	81.8%	85%
高齢者介護・介護保険サービスに満足していると思う市民の割合	57.2%	70%

関連する個別計画

市立大町総合病院 新改革プラン、大町市特定健康診査等実施計画、大町市データヘルス計画、大町市健康増進計画、大町市食育推進計画、大町市地域福祉計画、大町市老人福祉計画、大町市過疎地域持続的発展計画

◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
妊娠・出産・育児の切れ目ない支援事業	14133	母子保健事業	市民課
子育て世代包括支援センター事業	14135	子育て世代包括支援センター事業	市民課
健康増進事業	14141	健康増進事業	市民課
がん検診事業	14142	がん検診事業	市民課
	14147	精神保健事業	市民課
生活管理短期宿泊事業	13134	高齢者福祉事業費	福祉課
在宅介慰労金支給事業	13134	高齢者福祉事業費	福祉課
介護用品引換券交付事業	13134	高齢者福祉事業費	福祉課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

通所型介護予防事業	13176	通所型介護予防事業	福祉課
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
	131711	成年後見制度支援事業	福祉課
配食サービス事業	131712	地域自立生活支援	福祉課
緊急通報システム事業	131712	地域自立生活支援	福祉課
生活支援体制整備事業	131712	地域自立生活支援事業	福祉課
成年後見支援センター事業	131717	成年後見支援センター事業	福祉課
地域包括ケア実践事業	131721	地域包括ケア実践事業	福祉課
認知症ケア体制構築事業	131722	認知症総合支援事業	福祉課
妊婦・乳児健診	—	妊婦・乳幼児健診事業	市民課

◆2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進◆

子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、誰もが地域の中でいきいきと自立した生活が送れることを目指して、地域における様々な活動や地域サービスを組み合わせ、共に生き、支えあう社会を実現する、いわゆる地域福祉を推進します。

また、障がいを持つ皆さんが自分らしく住み慣れた地域で暮らすことができるよう、住民全体で「障がいのある人も地域の中で普通の暮らしができる社会に」という理念を共有できるよう啓発するとともに、支援・相談態勢の充実や様々な機会を捉えた社会参加の促進、当事者の権利擁護を支えています。

【地域福祉の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地域福祉意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が支える地域福祉に対する市民意識の高揚 住民が参加し協働する交流の場の創出と支援 	福祉課	新型コロナ禍により、市民ふれあい広場などイベントは中止となったが、広報紙による啓発活動に取り組んだ。	B
◎民間社会福祉団体の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人、NPO等の育成・支援 社会福祉協議会の組織体制の充実強化 		社会福祉法人、NPOとの連携を図り、支援に取り組んでいる。	B
◎ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンターの充実強化 市民ニーズに応じた様々なボランティア活動の発掘、育成と有償ボランティア制度の活用 ボランティアへの活動の場の提供 		社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの広報・研修活動により、市民啓発・団体育成に継続して取り組んでいる。	B
◎民生児童委員の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員との連携強化と活動支援 地域ケア会議等支援会議への民生児童委員の参加 		学校や地域行事に積極的に参加し、連携が図られている。	B
◎多様な福祉ニーズに対応できる福祉人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置 福祉従事者、各種専門研修の支援 		生活支援コーディネーターを市内5カ所の圏域へ配置。	A
地域福祉活動拠点の充実	<ul style="list-style-type: none"> 総合福祉センターの効果的・効率的な運営 集会所や公園、公民館などの既存のコミュニティ施設の積極的な活用 		<p>市内3カ所の総合福祉センターを指定管理者が一括管理することにより、業務の効率化やコスト削減につながっている。</p> <p>ふれあいプラザは指定管理施設として、年間359日開館し活動の拠点として開放している。</p>	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

◎小地域福祉ネットワーク活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者一人ひとりに近隣の人びとが見守り活動や援助活動を展開する小地域ネットワーク活動の推進と拡大 	福祉課	県内では早い段階から社会福祉協議会が地域に入り、基盤を整えてきたが、地域の担い手不足により活動の拡大に至らない状況となっている。	C
◎有償ボランティア制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がいのある方、産前産後の方などの買い物や家事、ゴミ出しなどの生活支援を行う有償ボランティア制度の構築 		有償ボランティアのコーディネートを社協で実施する中で、既存サービスでは解決できない依頼に対応するため、社協が独自サービスの実施・担い手の育成に努めている。	B
◎民生児童委員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員が関係機関と連携して適切な支援に結び付けるための研修の充実 		新型コロナ禍により、県・市規模の研修は軒並み中止となったが、地区単位での研修機会の確保に努めた。	B
災害時支援態勢の確立	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者の把握と災害時要援護者名簿の整備 災害時要援護者情報の管理・共有態勢の整備 災害時住民支え合いマップの作成 災害時ボランティアの養成と態勢整備 		要援護者システム更新が終了し、次回台帳更新後、個別避難計画へ移行の取組みを行う。社会福祉協議会により、支え合いマップの作成支援に取り組んでいる。	B
		危機管理課	避難行動要支援者名簿を関係機関と共有。(警察、消防、自治会等) 浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の避難確保計画について、対象となる34施設全てが作成済となっている。	A

【障がい者福祉の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
障がい者への理解の促進と支援制度の普及	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体等との懇談会の開催 障害者虐待防止法、障害者差別解消法の普及啓発と障がい者の権利擁護 北アルプス成年後見支援センターと連携した成年後見制度の周知と活用 支援制度の周知と適切な支援の提供 	福祉課	コロナ感染対策を徹底した上で各団体の総会や研修会が開催された。イベントや会議を機会に定期的に情報交換を行い、課題について施策に反映させていく。	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

住み慣れた地域で暮らすための支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大北圏域自立相談支援センターと連携した障がい者の相談支援 地域生活を支援するための地域生活支援態勢の整備 生活の利便性の向上と社会参加の推進 就労継続の支援 スポーツ大会や文化活動への参加支援 	福祉課	少子高齢化や社会情勢による生活の変化等により社会問題が表面化している。各々臨んだ場所で心配なく生活が続けられる地域づくりを進める。スポーツ大会は中止となった。	B
◎ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会のボランティア講座の実習の場としての、障がい者の余暇活動支援事業の活用 		大田市社会福祉協議会が実施する「希望の旅」事業を支援。障害者の外出の機会を支援することを通じ、障害や制度への理解を深める。	A

【生活困窮者への支援の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
生活保護制度の適正運用と生活困窮者の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障の最後のセーフティーネット、生活保護制度の適正な運用と自立を目指す就労支援 生活保護に至らない生活困窮者の相談や就労支援による生活困窮脱却への支援 	福祉課	県と共同設置する「生活就労支援センターまいさぼ大町」でも生活困窮や就労相談にのれる。生活費貸付、住居の確保、家計相談、生活保護制度等、生活困窮に対する制度説明や申請等事務支援を行い、個々の状況に配慮しながら自立に向けたサポートをする。	A
◎相談支援員の確保	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立相談支援事業の主任相談員、就労相談員の育成、研修 		まいさぼ大町を県社会福祉協議会へ委託している。職場での実務研修(OJT)、研修参加で資質向上を進める。	B

【生きがい対策の充実】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
老人クラブの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 生きがいと健康づくり、生活を豊かにする活動の支援と、高齢者の生きがい対策の中核組織としての機能への支援 	福祉課	シニアクラブ連合会や単位クラブのスポーツ、文化活動等に対し補助金を交付し活動を支援している。運動会に替えて健康運動教室を開催した。 単位クラブが解散してしまった場合には、個人会員として参加を受け入れている。会員数の減少に歯止めをかけるため、役員の負担軽減を図った。	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

◎就業機会の充実	・高齢者の豊かな知識・経験・技能を生かした活動の場の確保と、社会貢献や地域の活性化への参加支援	福祉課	北アルプス広域シルバー人災センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会の確保や高齢者の社会貢献の場を提供している。	B
より豊かな高齢社会の形成	・ボランティア活動や地域活動への参加機会の確保と、充実した高齢社会の形成		保育園でのボランティア作業等を行うことにより地域活動に参加し、世代間交流をおこなった。	B
◎学習機会の充実と社会参加の促進	・生涯学習との連携による社会貢献・地域参画に必要な学習交流の機会づくり		シニアクラブの教養研修や公民館講座、シニア大学へ積極的に参加し、学習交流や生きががしている。陶芸の家の講座を開設し、交流と学習の機会としている。	B

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
小地域福祉ネットワーク数	46 地区	58 地区	46 地区	新型コロナ禍により、地域との懇談の機会が設けられず、周知・説明の取り組みが滞った。	福祉課
災害時住民支え合いマップの作成団体数	23 地区	35 地区	23 地区	新型コロナ禍により、地域との懇談の機会が設けられず、周知・説明の取り組みが滞った。	福祉課 危機管理課
総合福祉センター利用者数	19,000 人	21,000 人	8,474 人	新型コロナ感染対策を徹底する一方、感染拡大防止の観点から、イベント等を中止したことに加え、まん延防止等重点措置適用期間内の貸館を中止した影響を受けて減少した。	福祉課
グループホームの利用者数	48 人	57 人	55 人	緊急時に受け入れが可能な事業所が増え支援体制整備される必要がある。	福祉課
障害者支援施設入所者数	36 人	32 人	29 人	社会資源が少ない	福祉課
授産施設の障がい者利用者数	22 人	30 人	16 人	社会情勢から就労が減少。仕事以外で一定の時間を過ごす通いの場としての機能も重要	福祉課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

生活保護世帯数	146 世帯	140 世帯	96 世帯	支える側の高齢・要介護状態となったり、就労機会が減少したりと、自立が難しい世帯がある。	福祉課
生活保護者数	173 人	165 人	115 人	コロナの影響で生活困窮を訴える生活相談が増加している。	福祉課
生活保護法に基づく授産施設利用者数	30 人	35 人	31 人	高齢者、障害者の利用希望が多い。	福祉課
老人クラブ会員数	1,849 人	2,000 人	1,147 人	新規加入者が少なく、高齢により解散するクラブや脱退する会員がある。	福祉課

目標実現の条件

- ・自治会活動、地域の担い手、支え合い意識等の維持
- ・有効求人倍率の現状維持

市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
地域住民が支える地域福祉への市民の意識の高まっていると思う市民の割合	17.3%	50%
生活困窮者に対して適正な生活援護がなされていると思う市民の割合	47.1%	55%
自立支援などの障がい者福祉サービスに満足していると思う市民の割合	53.0%	65%

関連する個別計画

大町市地域福祉計画、大町市障害者計画、大町市障害福祉計画、大町市高齢者福祉計画

◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
総合福祉センター管理事業	13114	総合福祉センター管理事業	福祉課
市社会福祉協議会助成事業	13115	市社会福祉協議会助成事業	福祉課
	13121	障害者福祉一般経費	福祉課
	13124	障害者自立支援給付費	福祉課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

地域生活支援事業（相談支援事業）	13128	その他障害福祉サービス費	福祉課
ふれあいプラザ管理事業	13131	高齢者福祉一般経費	福祉課
	13142	社会就労センター運営管理費	福祉課
	13144	美麻福祉企業センター運営管理費	福祉課
生活困窮者自立支援事業委託	13312	生活保護一般経費	福祉課
	13313	生活保護扶助費	福祉課

◆3 結婚・出産・子育て支援の充実◆

少子化の進行や核家族化、両親の共働きなど、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化し、子育てに対する負担感や不安感が高まっており、子育て支援のあり方についてもこうした変化に即した対応が求められています。子どもを安心して産み育てるためには、行政だけでなく企業の協力が必要です。そして、様々な事例に対応できるよう、産科医療機関・助産院・NPO等、子育てに係る関係者全てが連携し、妊娠から子育てまで切れ目のない相談・支援態勢の構築を図ります。

また、子育て家庭のニーズを把握し、幼稚園・認定こども園等の保育態勢の充実を図るとともに、子どもへの虐待や育児放棄などが社会問題となっているため、保健、医療、福祉分野や幼稚園、保育園、学校との連携により、児童の人権保護に努めます。

【結婚支援の充実】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎結婚支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市内3団体の結婚相談所との連携による結婚支援の充実 結婚の希望を実現するための、若者の意見を取り入れた若者交流事業の実施 市内事業所が連携した出会いの場の創出イベント等の開催による結婚支援 	まちづくり交流課	<p>市内結婚相談所開設団体等との意見交換会を開催。一過性のイベントとならないような工夫や婚活イベントへの市内参加者を増やすことが課題である。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携自立圏事業（5市町村の若手職員による若者交流イベント） 参加者 22名 市内事業所の若手職員による異業種交流会 参加者 14名 任意団体婚活イベント 参加者 17名（カップル成立2組） 結婚新生活支援事業補助金 5件 出会い創出事業補助金 1件 	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

【妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎妊娠・出産・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育てにおける育児不安の軽減を図る支援の充実 ・子育てに係る関係機関や企業との協力・連携態勢の構築 ・地域の力を活用して育児を応援する取り組みの支援 	市民課	産後ケア事業、育児支援ヘルパー派遣事業、母乳相談等助成事業、子育て相談事業、助産師による相談を随時に実施。 妊娠から子育て期において、子育て世代包括支援センターを中心に、保育園などの子育て機関等との連携を強化し、一体的・継続的な支援を実施。	B
		子育て支援課	主任児童委員、民生児童委員の協力により実施する「こんにちは赤ちゃん事業」を通じ、様々な子育て支援施策の周知啓発を図る。	A

【子育て支援の充実】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
児童センター・子育て支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所の確保 ・親子の集いの広場など育児、子育て支援の推進 ・子育ての総合相談の実施 ・母子保健、子育て支援の一体的な施設整備の検討 	子育て支援課	児童センターは年間を通じ開館し、親子の居場所支援・親子教室、子育て講座、育児相談等を実施している。 「子ども家庭総合支援拠点」を中心とした関係機関の連携を図り、地域ネットワークを強化し母子保健・子育て支援の一体的な体制整備を構築する。	B
◎放課後児童クラブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後における児童の健全育成の推進 ・開所時間の延長や適正な利用者負担のあり方の検討 ・支援員の確保と人材育成 		放課後児童クラブ及び放課後子供教室の連携により児童の健全育成を図っている。開所時間の繰上げ及び延長、利用者負担のあり方についての検討、支援員の安定的な確保等が課題となっている。	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

<p>◎子育てのための環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと仕事が両立できる環境整備の促進 ・ファミリー・サポート・センターの充実 ・ファミリー・サポート・センターの協力会員の確保と人材育成 ・子どもが地域で安心して遊べる場所の整備と充実 		<p>各小学校区域で児童クラブを開設。はなのき保育園において休日保育を、各保育園・幼稚園では、一時保育、預かり保育を実施している。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業は、利用者の要望時間に対応できる協力会員の確保が課題となっている。新たな子どもの遊び場の整備については未検討の状況。</p>	<p>B</p>
<p>多様な相談事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・福祉・学校教育等との連携による相談の充実 ・出産後の地域での身近な相談態勢の充実 		<p>保健師や家庭児童相談員等を配置し子育ての様々な悩みの相談に対応している。相談内容に応じ、学校、保健センター、福祉課等と連携を密に相談体制の充実に努めている。</p> <p>生後4か月のお子さんを対象に、地域の民生委員が家庭を訪問し子育ての様子を伺う「こんにちは赤ちゃん事業」を実施している。</p>	<p>A</p>
<p>子育て家庭への経済的支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出産祝金、児童手当、育児家庭応援地域商品券等の給付 ・子どもの貧困の実態の把握と支援の充実 ・中学校3年生までの医療機関での保険診療における窓口負担額の一部給付の実施 	<p>子育て支援課</p>	<p>県が実施した子どもの貧困に係る実態調査では、困窮家庭は約1割とされている。今後、支援のあり方について検討を行う。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <p>出産祝金 129人 児童手当 1,324人 育児家庭応援事業 137人</p>	<p>A</p>
<p>ひとり親家庭の自立支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支給 ・関係機関との連携による自立に向けた就労支援の推進 	<p>子育て支援課</p>	<p>ひとり親の就労支援として、母子・父子自立支援員がハローワークと連携した支援を実施している。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <p>児童扶養手当 140人</p>	<p>A</p>

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

<p>発達障がい児への継続的支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、医療、福祉等との連携による発達障がい児等の育児、幼児教育相談の充実 ・発達障がい児の早期発見と療育の充実 ・発達障がい児に必要な保育環境の整備 ・児童の発達を支援する人材の育成、受け入れ態勢の整備 	<p>子育て支援課</p>	<p>5歳児相談、保育所等の巡回相談の内容や親子教室、保健センターの健診などを通じ、必要な支援について、専門員（臨床心理士・作業療法士・理学療法士等）の相談や専門機関への受診を勧めている。</p> <p>療育又は検査が必要な児が増えて来ており、支援体制のさらなる充実が課題となっている。保育環境においては、支援する人材の育成と確保が課題となっている。</p>	<p>B</p>
<p>心身障がい児教育相談の充実（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署、機関と連携した発達障がい児の早期発見・早期把握 ・教育相談委員会の充実 	<p>学校教育課</p>	<p>教育相談委員会を通じ、早期把握や支援体制の確立を進めている。関係部署との、より充実した連携を推進する。</p>	<p>B</p>
<p>子どもへの虐待の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の早期発見と適切な保護の実施 ・要保護児童対策地域協議会による要保護児童への適切な支援 		<p>要保護児童対策協議会の関係機関との情報共有を密にし、児童虐待の早期発見と早期対応に努めている。</p>	<p>B</p>
<p>保育機能の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、低年齢児保育、障がい児保育、休日保育等の保育機能の充実 ・未就園児に対する一時保育、園開放の実施 ・地域子育て支援センター機能の充実 ・適正な保育園配置、保育機能、保育態勢等の検討 ・病児保育と病後児保育の実施 	<p>子育て支援課</p>	<p>公立保育園では、一時保育、延長保育、園開放、育児相談等により、地域の子育て支援を実施している。</p> <p>少子化の進展により、保育所の適正配置について、検討を進める必要がある。また、保育所における、保育士等の安定的な確保が課題となっている。</p> <p>病児・病後児保育は、大町病院内で事業を開始している。</p>	<p>C</p>
<p>保育園と地域の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事への地域自治会、老人クラブなどの参加の促進 ・園の運営への各種ボランティアの受入れ 		<p>保育園では各種行事等において、自治会や老人クラブなどの参加を図っている。地域やボランティアとの交流の積極的な促進を図っている。</p>	<p>B</p>
<p>保育施設の適正な管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行等に対応した施設のあり方の検討 ・保育施設の適正な維持管理 		<p>少子化が進む中、保育所の適正配置について「大町市保育所等のあり方検討委員会」、「子ども・子育て審議会」を通じ検討を実施。老朽施設の計画的な修繕の実施により施設の長寿命化を図る。</p>	<p>B</p>

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

<p>幼稚園・認定こども園との連携・支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と幼稚園・認定こども園の連携による子育て支援態勢の充実 ・施設型給付費等による幼稚園・認定こども園を運営する法人等への支援 ・国が進める幼児教育の段階的無償化により保護者の負担軽減の支援 ・県補助金を活用した認可外保育所への支援 		<p>幼稚園・認定こども園との定期的な懇談会の実施により連携を図っている。</p> <p>国の基準に基づく幼稚園・認定こども園に対し施設型給付費を給付し、保護者の負担軽減については、国の基準に基づき実施している。</p> <p>県と連携し市内認可外保育所への運営支援を実施している。</p>	<p>B</p>
<p>◎子育て学習の機会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や保育園、児童センター、保健センター等の連携強化による親子教室、育児学級の一層の充実 ・ブックスタートや読み聞かせ等0歳からの教育の推奨 	<p>生涯学習課</p>	<p>保育園や地域との連携により親子教室を開催し、親子のふれあい、交流の促進を図るとともに、育児相談や集団生活体験等を行っている。</p>	<p>A</p>
		<p>市民課</p>	<p>4ヵ月健診でブックスタート、1歳6ヵ月児健診で絵本の読み聞かせを行い、親子でふれあい、絵本に親しむ機会を設けている。</p>	<p>A</p>
<p>◎地域の子育て支援環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者相互のつながりを築くことができる家庭教育支援の充実 ・子育て支援態勢の整備と支援組織の連携の促進 ・日常的に集まることができる場の確保と地域のボランティア等の養成による地域で子どもを育てる気運の醸成 	<p>生涯学習課</p>	<p>子育て世代参加の行事、イベント等では託児所を設け活動を支援している。</p> <p>託児ボランティア養成のため、保育サポーター養成講座を開催している。</p>	<p>A</p>
		<p>市民課</p>	<p>子育て世代包括支援センターを中心に、子育て支援関係機関と連携し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施。</p>	<p>A</p>
<p>◎体験活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験、異年齢交流、自然などと触れ合う場など様々な体験ができる機会の提供 ・単位子ども会での体験活動の場の充実と支援 	<p>生涯学習課</p>	<p>単位子ども会等主催の体験学習会やリーダー研修会等を通して、様々な体験や異年齢交流の機会を設けている。</p>	<p>A</p>
		<p>市民課</p>	<p>4ヵ月健診、2歳児健診で保育士による親子のふれあい遊びの体験学習を実施。</p>	<p>A</p>

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
30代未婚率	37.4%	30%	男 44.1% 女 27.9%	結婚観の醸成、自己啓発の場の提供	まちづくり交流課
出生数	166人	180人	123人	減少傾向にある	市民課 子育て支援課

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
保育などの子育て支援サービスに満足していると思う市民の割合	57.7%	75%

○関連する個別計画

大町市健康増進計画、大町市食育推進計画、子ども・子育て支援事業計画、大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画
--

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
出産祝金事業	13213	子育て応援事業	子育て支援課
育児家庭応援事業	13213	子育て応援事業	子育て支援課
私立幼稚園・認定こども園運営支援事業	13215	幼稚園・認定こども園運営支援事業	子育て支援課
児童扶養手当給付費	13216	児童福祉扶助費	子育て支援課
障がい児通所支援給付費	13216	児童福祉扶助費	子育て支援課
母子等福祉費	13217	母子等福祉費	子育て支援課
家庭児童相談室事業	13218	家庭児童相談室事業費	子育て支援課
療育事業	13219	療育事業	子育て支援課
子育て支援センター事業	13223	子育て支援センター事業	子育て支援課
児童クラブ運営事業	13225	児童クラブ運営事業	子育て支援課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

保育所管理運営事業	13232	保育所管理運営事業	子育て支援課
	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
	110422	青少年育成事業	生涯学習課
	110433	大町公民館活動費	生涯学習課
	110435	平公民館活動費	生涯学習課
	110437	常盤公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
児童手当給付事業		児童手当給付費	子育て支援課

◆4 市民生活の安全の確保◆

近年、全国で大災害が頻繁に発生する中、本市においても神城断層地震や集中豪雨による土砂災害などの自然災害が発生しています。

神城断層地震の教訓や過去の災害経験等を踏まえ、地域防災力の向上や既存建築物の耐震性能の向上を図り災害等による被害を最小限度に抑えるとともに、犯罪などから市民の生命や財産を守り、安全に暮らせる社会の実現を目指します。

また、子どもと高齢者の交通事故が増加していることから、警察署、交通安全指導員、交通安全協会等が連携し、交通事故防止に取り組むとともに、複雑・多様化する消費生活や特殊詐欺等に関する相談・助言等を一元的、総合的に行うなど市民の暮らしを守ります。

【災害に対する市民生活の安全の確保】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
防災・減災態勢の充実及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画の変更や地域情勢に配慮した地域防災計画と水防計画の見直し ・地域防災計画に基づく、施策・事業の推進と実効性のあるマニュアルの作成と普及 ・大規模災害に備え、業務継続計画の見直しと推進 ・地域主体による避難所運営マニュアル等の整備 ・民間企業等との協定締結等による連携強化 ・民間施設等の避難所としての活用の検討 ・実効性のある地震総合防災訓練等の実施 ・災害時に必要な防災資機材の備蓄 	危機管理課	<p>上位計画となる県防災計画に準じた市防災計画の見直しを令和4年度に実施予定。避難所開設運営マニュアル等の見直しは随時実施しており、避難所開設運営訓練により普及を図っている。</p> <p>自主防災会連絡会防災士専門部会を通じ、地域主体による避難所運営マニュアル、地区避難計画等の整備を推進している。</p> <p>災害時に必要な防災資機材は補充及び更新を随時実施。災害協定は、現在38団体と37協定を締結。</p>	B
情報収集・伝達手段の充実及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁や国土交通省等からの情報収集と、その情報を活用した市民への迅速な情報発信 ・ケーブルテレビ等のメディアを活用した情報発信の強化 ・同報系防災行政無線、緊急メール等の既存情報伝達手段の有効活用による市民への迅速かつ正確な情報の発信 ・移動系防災行政無線更新の検討 	危機管理課	<p>危機管理課職員は24時間365日、昼夜を問わず非常参集体制を組んでいる。災害時には県防災情報システムへの情報入力によりアラート（災害情報共有システム）や緊急速報メールで情報の発信が可能である。</p> <p>同報系防災行政無線、戸別受信機、緊急情報メールなど、様々な情報伝達手段を用いて情報の発信を行っている。同報系防災行政無線親局の更新に伴い、消防本部の通信指令システムとも連動させ、より迅速な情報発信が</p>	A

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

<p>◎地域防災力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会組織率の向上と強化 ・自主防災会の防災資機材整備や訓練・研修等への支援 ・地域防災活動リーダーの育成 ・避難行動要支援者名簿の普及と活用 ・住民参加型訓練等の実施 		<p>可能となった。</p> <p>各地区自主防災会の防災訓練で職員、消防団員、防災士が講師を務め、地域防災力の向上に努めている。</p> <p>市自主防災会連絡会と市連合自治会により避難所開設運営訓練を開催。大町地区連合自治会による訓練では、西小学校を活用し実地訓練を実施。地域防災活動リーダーの育成として、防災士の資格取得者に対する支援を行っている。令和3年度に2名が合格。</p>	<p>A</p>
<p>消防団の充実及び強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや広報誌等を通じた消防団活動の理解促進 ・消防団協力事業所の拡大や事業主への協力依頼による消防団活動の環境整備 ・自治会・自主防災会、事業所等の協力による消防団員の加入促進 ・女性消防団員の加入促進と機能別消防団の創設 ・救命講習や資機材取扱、ポンプ操法等の教育訓練と研修会等への積極的な参加による消防団員の安全確保、技術向上の推進 ・消防団車両や車庫の更新と消防団装備基準に沿った装備の充実 ・家庭防災の日や年末警戒等での火災予防の啓発 ・常備消防との連携強化 		<p>消防団のPR、加入促進等を目的として毎年消防フェスタを開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p> <p>消防団の組織再編に合わせて、消防団車両や車庫の更新計画見直しを実施。年次計画により、消防団が安全に活動できるよう消防団装備の充実を図っている。令和3年度は防寒着600着を配備。</p> <p>家庭防災の日や年末警戒等で火災予防の啓発活動を実施。</p>	<p>B</p>
<p>雪害対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪害による地域経済活動の停滞防止と、市民の生活環境の維持向上のための関係機関との連携による対策の強化 		<p>雪対策会議を開催し市内での連携強化・役割分担を確認した。</p>	<p>A</p>
<p>地域の防犯態勢の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会における防犯灯の設置と維持管理への支援 ・防犯協会等による見回りと街頭指導の実施 ・警察や防犯協会等関係団体との連携による防犯対策の推進 ・青色回転灯車両による防犯パトロールの実施 		<p>防犯灯3, 191基に対し維持管理費を補助。防犯協会等による防犯啓発活動を実施。</p> <p>職員による青色回転灯車両での防犯パトロールを実施。</p>	<p>B</p>

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

熊等の野生動物に対する安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 熊等の出没時における警戒や被害の防止、回避のための啓発 		熊の目撃情報に対して、防災無線、緊急情報メールによる市民へ情報提供や注意喚起を実施。警察等の関係機関と連携し、目撃箇所周辺での警戒を実施。	A
危機管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> 国民保護計画に基づく市民への啓発、訓練等の実施 避難実施要領の作成 		大田市国民保護計画避難実施要領について、避難パターンの追加や見直しを行っている。	A
空家等の発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理が行われていない空家所有者への指導と安全対策、有効活用の検討 		<p>自治会から情報提供のあった危険空家の所有者等に対し適正な管理や解体撤去等について指導等を実施。</p> <p>危険空家報告累計79件、うち改善件数28件（解体・撤去24件、改善3件、売却1件）</p> <p>【令和3年度実績】</p> <p>新規案件2件、解体撤去1件、 特定空家等認定4件（うち解体済み2件）</p>	B

【災害に強いまちづくりの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
治山・治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携による、土砂災害や水害危険個所の把握と監視 治山、治水、砂防等の防災事業の推進による、安心・安全な地域づくり 		関係機関と連携し、砂防施設や危険箇所の合同点検を定期的にも実施している。また、点検結果等を踏まえ、砂防事業や治山・治水事業の推進について、国・県へ要望活動を実施している。	B
中心市街地の雨水排水対策	<ul style="list-style-type: none"> 雨水渠等の整備による浸水被害の低減・解消 	建設課	雨水整備基本計画に基づき、市街地上流部において、下流域の浸水被害を抑止する目的で、雨水排水を直接農具川へ放流する雨水渠バイパス管工事を実施しており、本管については、布設が完了し、供用開始をしている。令和3年度に舗装復旧工事を完了した。	A

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

<p>建物等の耐震化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住宅や指定緊急避難場所における施設の耐震診断と耐震化の推進 	<p>建設課</p>	<p>住宅の耐震改修については、工事費負担が多額になること、後継者がいないなどの要因から伸び悩んでいる。耐震化を促進する取組を規定した「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を策定することにより耐震改修に係る補助率、限度額の引き上げになることから、令和4年度も引き続き策定し、耐震改修実施件数の増加を図る。</p> <p>耐震性が劣っている緊急避難場所において、危機管理課とも連携を図りながら、所有者等と耐震改修に向けた協議、意向確認をしていく。</p> <p>ブロック塀等の安全点検の結果を踏まえて、減災対策の観点から、倒壊の恐れのあるブロック塀等の解体・撤去を促進するため、大田市減災対策ブロック塀等撤去事業を創設する。</p>	<p>B</p>
<p>◎建築関係団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 震災時における建築関係団体との連携強化と事前訓練等の実施 		<p>平成28年3月29日一般社団法人 長野県建築士会大北支部と「災害時における応急危険度判定等の協力に関する協定」を締結した。</p> <p>大北地域被災建築物応急危険度判定連絡会を随時開催し、連絡調整、県、市町村及び建築関係団体の連携を図っている。</p>	<p>B</p>

【交通安全対策の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>◎交通安全意識の高揚</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年齢階層に応じた交通安全教育による正しい知識の普及と意識の高揚 	<p>市民課</p>	<p>小学校や幼稚園等で行われる交通安全教室に市交通指導員を派遣し、交通ルール、交通マナー等について指導を行い、交通安全意識の向上を図っている。</p> <p>高齢者交通安全モデル地区を選定し、地域住民の自主的な交通安全活動により、高齢者の交通事故防止を図っている。</p>	<p>B</p>

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

			交通安全の日、季別の交通安全運動での啓発活動、街頭指導等を通じ、交通ルールの遵守、交通マナーの向上、交通安全に対する意識高揚を図っている。	
交通安全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県等関係機関と連携した交通安全施設の整備促進 	市民課	自治会等からの要望を関係機関に要望している。	B
市民協働による交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全協会、警察署等との連携による交通事故防止 県民交通災害共済への加入促進 交通事故が増加している高齢者の運転免許の自主返納支援の拡充 		<p>交通指導員、子どもを交通事故から守る交通安全推進員を委嘱し、年代ごとに交通安全対策の推進を図っている。</p> <p>県民交通災害共済への加入率は、県内でトップであるものの減少傾向にあり、加入促進に向けた取り組みが必要である。</p> <p>運転免許自主返納支援事業では、これまで市民バス乗車券のみであったが、令和3年4月からタクシー乗車券の選択もできるよう支援内容を充実させ、自主返納の促進を図っている。</p>	B
◎交通指導員等人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員、交通安全推進員の育成 		交通指導員は定年制を設け、順次交代を図っている。交通安全推進員は幅広い年代からの選出となっている。	B

【消費生活相談の充実】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
消費者の保護	<ul style="list-style-type: none"> 商品やサービスなどの契約に関する正しい消費者知識の普及と、消費者トラブルに対する意識の高揚 消費生活相談窓口の充実と適切な指導助言 		令和3年度の消費生活相談件数は、192件で、昨年度と比較し26件減であった。年々複雑多様化する相談に対し、専門的知識が求められ、相談員の研修が欠かせない。	A
◎消費者教育・啓発及び相談態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 年齢階層に応じた消費生活に関する情報提供や出前講座などの啓発の推進 消費生活相談員の育成 	市民課	<p>広報紙やホームページでの啓発を行っている。また出前講座による消費者教育については、コロナ禍において実施できなかった。高齢者を狙う特殊詐欺が後を絶たないことから、様々な機会をとらえ、被害防止のための啓発活動に取り組んでいく。</p> <p>相談員の人材確保や行政コストの削減といった視点か</p>	B

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

		ら、広域連携事業としての取組みは有効である。	
--	--	------------------------	--

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
消防団員数	694人	710人	635人	加入団員数の減	危機管理課
自主防災会設置率	90.7%	95%	90.8%	自治会未加入者の増	危機管理課
火災発生件数	7件	5件	10件	火災発生の抑制	危機管理課
犯罪発生件数	209件	180件	254件	窃盗、特殊詐欺の増	危機管理課
交通事故件数	105件	95件	51件	各年齢層に応じた交通安全教育を実施し、市民の交通安全意識の高揚を図る。	市民課
特殊詐欺被害件数(市内)	3件	0件	1件	被害防止に向けた広報、周知の徹底。	市民課

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
地震や風水害など防災対策に満足していると思う市民の割合	55.6%	60%
消防・救急体制に満足していると思う市民の割合	73.0%	75%

○関連する個別計画

大町市地域防災計画、大町市耐震改修促進計画、大町市空家等対策計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
	12161	交通安全対策費	市民課
消費生活センター運営事業	12164	消費生活センター運営事業費	市民課
住宅・建築物耐震化推進事業	18443	住宅・建築物耐震推進事業	建設課

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

様式第1号

消防施設整備事業	19132	消防ポンプ自動車等更新事業	危機管理課
消防施設整備事業	19132	消防団車両車庫建設事業	危機管理課
防災対策一般経費	19152	防災資機材整備事業	危機管理課
防災対策一般経費	19152	デジタル同報系防災行政無線整備事業	危機管理課
防災施設整備事業	19154	同報系防災行政無線固定局（中継局）器機更新	危機管理課

施策評価票

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

1 自然と共生した環境の創造

- ◎自然環境の保全と共生
- 上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用
- 安定した温泉の供給
- ◎自然や環境に関する学習の促進

2 暮らしやすい都市基盤の整備

- 移動しやすい公共交通網の整備
- 市営駐車場等の管理
- ◎魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進
- 調和と秩序ある都市計画区域・用途地域の設定
- 中心市街地の活性化
- ◎都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進
- ◎潤いのある公園・緑地の整備推進
- ◎安全で快適な道路整備・維持管理

3 快適な生活環境の形成

- ◎廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進
- 公害対策の推進
- ◎豊かな自然・文化と調和した景観の形成
- 住宅環境の向上
- 下水道の整備と水洗化の促進
- ◎高度情報化社会への対応

◆ 1 自然と共生した環境の創造 ◆

本市の豊かで多彩な自然、特に貴重な財産である良質な水や良好な大気環境を適切に保全、共生し、現在と変わらない快適な環境を未来へ確実に引き継ぐため、自然、景観、多様な生態系の保全、再生に取り組みます。

省資源、地域特性を生かした再生可能エネルギーの促進により地球温暖化を防止するとともに、環境未来都市の創造を図ります。

また、水道水の安定供給や重要な資源である温泉の安定供給、田園・農村景観等の保全等を通じて自然と共生した環境整備を促進します。

【自然環境の保全と共生】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
水資源の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 河川、湖沼の水質検査の実施 河川等へのごみの不法投棄防止月間の取り組み推進 地下水の有効利用と保全 	生活環境課	<p>市内の河川湖沼の水質検査を実施している。環境の変化を確認するためにデータを蓄積することが重要である。</p> <p>信濃川水系の上流部に位置する市として、町川の川ごみを下流に流さないため、要所にスクリーンやオイルフェンスを設置し、ごみを回収している。また、広報誌により不法投棄防止の取り組み推進や啓発をしている。</p> <p>地下水については、環境保全に関する条例に基づき、事業者から既存の井戸について届出を受け、井戸台帳の作成を行った。</p>	A
外来動植物対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 移入種に関する情報の提供、啓発活動の実施 移入種の駆除の実施 地域が行う駆除活動への職員の派遣、支援 		<p>環境保全推進委員による情報提供やパトロールにより発見されたオオキンケイギク、アレチウリ、セイタカアワダチソウの駆除を直営及び委託により実施している。また、地元自治会から相談があった駆除作業に市、地域振興局、建設事務所が協力して実施した。今後さらに市民団体、住民との協力体制の構築が必要となる。</p> <p>広報誌やホームページで啓発活動を実施している。</p>	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

地球温暖化防止策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者等への周知と啓発の強化 ・地球温暖化防止実行計画の見直しと施策の実施 ・地球温暖化防止実行計画の進行管理 		<p>地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定するとともに、大田市ゼロカーボンシティ宣言を行い2050年温室効果ガス排出実質ゼロを目指すことを表明した。</p> <p>大田市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）で、市の事務事業により発生する温室効果ガスを令和5年度に平成25年度比10%の削減に取り組んでいる。</p>	B
再生可能エネルギー活用 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への再生可能エネルギー導入の促進 ・民間の再生可能エネルギー導入に対する支援 	生活環境課	<p>庁舎、学校、公民館、保育園への再生可能エネルギー導入は建替え等に合わせて順次実施されてきている。</p> <p>（太陽光発電能力 169kw、地中熱利用 40kw）</p> <p>町川発電所の管理を実施している。（令和3年度町川発電所の売電収入額 9,592千円）</p> <p>民間への再生可能エネルギー導入支援については太陽光発電など一定の普及が図られたことから支援は終了している。（地中熱 2件、陽光発電 334件）</p> <p>今後は地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、普及啓発を推進していく。</p>	B
水資源の多面的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した工業用水や農業用水等の確保・支援 ・小水力発電の計画・実施に伴う支援 	建設課	<p>農業用水等の安定した水量確保のため、土地改良区など取水管理を行う関係者との連携強化をし、農業用ため池や河川からの取水施設の点検、管理及び修繕を行い、関係する利水者への支援を図る。</p>	B
		生活環境課	<p>市が管理する小水力発電所は、発電した電力をクリーンプラントに供給し、自家消費すると共に余剰電力は売電している。</p>	B
◎山岳文化都市としての 情報発信や学習活動の充 実と促進 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳情報や山岳文化・歴史、山岳の自然や生き物など山岳文化都市としての積極的な情報発信 ・博物館としての機能や施設の充実 ・「北アルプスの自然と人」を基調とした常設展や企画展 	企画財政課	<p>山岳がもたらす豊かな自然と人が共有する山岳文化の発展を目指し、ライチョウ保護や信州山の日など、関連事業の展開やSDGsの取組みを通じ、山岳博物館や観光課の関係課と理念を共有しながら情報発信に努める。</p>	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 等の開催に併せた講演会、出版等の実施 ・鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪の氷河認定を契機とした北アルプスや氷河への関心の喚起 	山岳博物館	<p>博物館活動を充実させるため、計画的な常設展の改修を進めるとともに、調査、研究を基にした年3回の企画展示や、年4回のパネル展示のほか、研究紀要や展示図録などの出版を行った。</p> <p>大学や研究機関と連携し、最新の情報発信をすることに努めている。</p>	B
◎動植物など自然環境の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県などのレッドリスト（絶滅危惧種）作成の協力など自然環境調査の実施 ・生物多様性に配慮した自然環境の保護・保全に関する啓発 ・環境学習会、自然観察会等の開催 	山岳博物館	<p>環境省のライチョウ保護増殖事業への参画や、大北地域の動植物生息状況調査などを行い、記録を蓄積するとともに、貴重な自然環境を知っていただくよう観察会や講座の実施に反映させている。</p>	B

【上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
水道の水質保全	<ul style="list-style-type: none"> ・各水源における水質の保全 ・情報発信による安全性の確保 	上下水道課	<p>水源の集水施設等の調査や改修、また野生動物等の侵入防止柵を更新し、水源の水質保全に努めた。また、水質検査計画に基づいた水質管理を行い、検査結果をホームページにおいて情報発信を行った。</p>	A
水道施設の計画的な改築・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設の計画的で効率的な整備・更新 ・水道事業認可変更等による安定した供給体制の構築 		<p>昨年度から施工していた南平配水池の改築工事については、今年度完成、また老朽化した水道管の布設替えを市内各所で実施するなど、計画的に施設の整備を進めることができた。</p> <p>水道水の安定供給のため、変更認可に基づいた海の口水系統合の矢沢送水管の整備についても計画的に実施している。</p>	A
災害時等の対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の耐震化推進 ・災害時における給水の安定性確保 ・各監視システムの統合等による管理体制の強化 		<p>水道管の耐震化については、老朽化した基幹管路の計画的な更新を実施するとともに、国道道改良工事等の他事業との同時施工による布設替えを積極的に実施するこ</p>	A

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

			<p>とにより耐震化を進めている。また水道施設の耐震化については、老朽化した配水池から順次計画的に施設更新を進めている。</p> <p>災害時の安定供給の確保については、災害協定に基づき、水道組合や中電と災害対応の協議を定期的実施することができた。</p> <p>遠隔監視システムの一元化やデジタル化およびクラウド化を実施したことにより、維持管理の簡素化、効率を上げることができ、災害時の通信障害のリスクを低減することができた。</p>	
<p>事業経営の健全化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 水道料金の適正化と収納の確保 • 水道施設の効率的、効果的な管理運営 • 原水供給事業の継続 	<p>上下水道課</p>	<p>今後の給水収益は減少傾向で推移することが見込まれる中、収納率は前年度と比べ若干ではあるが増加している。</p> <p>水道施設の遠隔監視装置の一元化やデジタル化により、通信料を縮減することができ、効率的な管理運営を図ることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、原水供給事業の使用水量は減少傾向であったが、コロナが収束傾向にあり、供給事業者が行っているウォーターサーバーの発注が徐々ではあるが回復してきている。原水供給事業は水道事業経営における大きな収入源であることから、今後も供給事業者と連携を密にしながら、事業の継続と共に、収益の増加策を図っていく。</p>	<p>A</p>
<p>公営簡易水道の安定した給水体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 給水能力向上のための連絡管の整備 • 老朽化した配水管等の更新 		<p>安全な水道水の安定供給を継続するため、基幹管路の整備や、老朽化した送配水管の更新を計画的に実施している。また、浄水施設の新設計画についても順調に進んでいる。</p>	<p>A</p>

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

【安定した温泉の供給】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
源泉の保全管理	<ul style="list-style-type: none"> 源泉の的確な保全と源泉施設の計画的な更新 	上下水道課	源泉及び施設の日常点検により、必要に応じた予防修繕や施設の更新等維持管理を実施し、安定湯量の確保に努めた。	A
温泉供給の安定化	<ul style="list-style-type: none"> 温泉引湯施設、配湯施設の計画的、効率的な整備と更新 監視システムの統合等による管理体制の強化 		老巧施設の優先度を考慮した計画的な施設更新に加え、日常点検による引湯事業を監視し、施設管理に努めた。	B
温泉事業の健全化	<ul style="list-style-type: none"> 温泉利用料の適正化と収納の確保 施設の効率的、効果的な管理運営 		引湯事業から定量で購入し、必要量に応じ供給先へ配湯する受湯者は、コロナ禍の影響による売上げが不安定な状況にあり、支払猶予や一部利用料の減免により、受湯者の経営安定化と収納の確保に努めた。 引湯事業、供給事業における施設の一元管理等により、効率的な運営に努めた。	B

【自然や環境に関する学習の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎環境教育・環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する情報の積極的な提供 環境保全に取り組む市民団体等との連携促進 環境保全活動につながる学習機会の提供 	生活環境課	市ホームページの環境カテゴリーに各種環境情報等を掲載、発信している。 一般廃棄物最終処分場（グリーンパーク）において小学生の見学を受け入れている。 環境保全推進員、環境学習に取り組む学生に外来性植物に関する学習の機会を提供している。	B
◎豊かな自然を生かした学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間など、学校で活用できる学習プログラムの開発と提供 青少年の環境保全・自然体験・美化活動等体験活動の充実 	生涯学習課	総合的な学習での水育の推進や郷土学習冊子を活用し、学習活動の充実を図っている。 子ども会育成会やリーダー研修事業を通じて自然体験活動を実施している。	A

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習や自然環境に関する公民館講座等の開催 		<p>公民館で自然体験教室、里山ハイク等を実施するほか、文化財講座で自然観察会を開催し、自然や環境に関する学習を進めている。</p>	
--	--	--	--	--

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
環境保全推進員巡視活動	7,805 時間	7,805 時間	7,615 時間	巡視活動に必要な情報の提供を定期的に行う必要がある。	生活環境課
不法投棄ゴミ回収量	18 t	15 t	15 t	定期的なパトロールやごみの回収を行っているが、依然として絶えない状況である。	生活環境課
外来植物除去量	1,140 kg	1,500 kg	7,690 kg	繁殖地の拡大を防ぐため、市民団体等と協力体制を強化する必要がある。	生活環境課
公共施設のCO ² 排出量	10,182,080 kg-co ²	10,000,000 kg-co ²	8,783,609 kg-co ²	さらなる削減に取り組むための全庁的な方針を示す必要がある。	生活環境課
温泉熱を活用した産業の創出（5年累計）	—	1 件	1 件	温泉熱利用に関する予備調査が行われた経過はあるが、事業化には至っていない。	生活環境課
雪氷熱等の発電ユニットの実用化数（5年累計）	—	1 件	1 件	温熱冷源となる自然エネルギーの安定的な確保	生活環境課
公共下水道の水洗化率	68.3%	70%	74.1%	アンケート調査では、高齢者世帯や経済的な理由から接続に消極的な回答が多く課題である。	上下水道課
農業集落排水施設の水洗化率	88.2%	90%	92.3%		上下水道課

目標実現の条件

- 河川、湖沼の水質データの蓄積、不法投棄防止の取組みの推進と啓発、地下水保全の涵養対策の継続実施

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
山岳文化都市づくりを聞いたことがある市民の割合	41.3%	60%
自然環境の保全に満足していると思う市民の割合	69.6%	80%
大町市の川の水はきれいだと思う市民の割合（水資源の保全と活用）	68.6%	80%
上下水道の整備に満足していると思う市民の割合	73.8%	80%

○関連する個別計画

大町市環境基本計画、大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
環境調査事業	14314	環境調査事業	生活環境課
環境保全員推進事業	14315	環境保全事業	生活環境課
小水力発電施設管理運営費	14316	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110422	青少年育成事業	生涯学習課
	110433	大町公民館活動費	生涯学習課
	110435	平公民館活動費	生涯学習課
	110437	常盤公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	110461	文化財保護一般経費	生涯学習課
山岳博物館教育普及事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
山岳博物館調査研究事業	110614	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館
公営簡易水道 水道施設整備事業	122111	（簡易水道特会）水道施設整備事業	上下水道課
温泉引湯施設建設改良事業	401111	温泉引湯事業	上下水道課
機械電気計装設備更新事業	401116	水道事業	上下水道課
送配水管布設事業	401116	水道事業	上下水道課

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

配水池築造事業	401116	水道事業	上下水道課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
温泉供給・配湯管更新事業	1714107	温泉供給事業	上下水道課

◆2 暮らしやすい都市基盤の整備◆

都市における社会的活動は公共や民間の区別なく様々な要素が一体となって形成されており、これらの基盤となるストック効果の高い交通環境の整備とともに、市民や来訪者に潤いを提供する公園・緑地等、良好な都市環境の整備を推進します。

また、将来を見据え、調和のとれた都市計画区域や用途地域の設定や地区計画の策定などについて検討します。特に、富山県や石川県等から首都圏へ、また大北地域から松本地域への所要時間の大幅な短縮を図り地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備促進について、関係市町村と連携し、市を挙げて強く働きかけます。

【移動しやすい公共交通網の整備】

進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
市民バスの運行	<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの運行による、通院、通学、通勤などの市民生活の移手段の確保 	情報交通課	<p>平成12年の運行開始以来、毎年ルートやダイヤの見直しを行い、利便性の向上に努めている。令和2年度からは一部地域においてデマンド運行（予約制乗合タクシー）を試行。</p> <p>運行形態の見直しや運行経費の効率化が課題であり、利用者ニーズや地域の実情に応じた運行形態の検討を引き続き行う。</p>	C
市民バス、JR、特急バスなどの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 長野・松本方面など都市間や地域間の交通の利便性向上を図るための関係自治体や団体等で構成する同盟会等への参画、交通事業者への要望活動など利用促進事業の実施 市民が利用しやすい公共交通環境の整備のための多角的な検討 		<p>JRや特急バスの地域間交通幹線の利用促進等については、期成同盟会や利用促進協議会において、事業者への要望行動や利用促進事業の取組を実施。</p> <p>特急バス長野大町線については平成27年度に事業者により冬期間の運行休止が決定されたが、利用促進協議会としてアルピコタクシー(株)に運行依頼し、現在、通年運行が可能となっている。夏期運行に比べ便数を半減しながら継続しているが、コロナ禍の影響等もあり運営は厳しい状況にある。引き続き観光団体等と連携した利用促進事業の取組や、夏期運行事業者に対し冬期運行の</p>	C

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

			再開を含めた要望活動を実施していく。	
地域内交通の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興バスの運行 	八坂支所	地域振興バスの運行により、山間部の医療確保の面で効果が出ているとともに、山間部に居住する交通弱者の生活の足となっている。また、運転免許証を自主返納する高齢者対策として、今後も公共交通空白地帯の解消に向けた取り組みを進める。	B
		美麻支所	交通弱者対策として美麻診療所への患者輸送を行っている。また、地域間の移動支援については、「小さな拠点づくり」で事業化を予定しており、実証実験を行っている。	B

【市営駐車場等の管理】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
市営駐車場、駐輪場の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場や駐輪場の適正な管理と整備 放置自転車の回収・撤去 	市民課	<p>市営駐車場9ヶ所、駐輪場5ヶ所の管理運営を行っている。駅前駐車場の管理は、自動料金精算機を設置し、その管理と利用料金の回収を警備会社に委託している。また、五日町バス専用駐車場は市観光協会に受付等管理業務を委託するなど、適正な管理に努めている。</p> <p>放置自転車が後を絶たないため、今後も警察署等と連携した放置自転車対策に取り組んでいく。</p>	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

【魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
都市計画マスタープランに基づくまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランに基づく、地域特性や市民ニーズを活かしたまちづくりの推進 住民生活の利便性と調和した都市形成に向けた地域コミュニティの合意形成と確立 	建設課	社会情勢や市民ニーズの変化により都市計画マスタープラン改定に取り組んでいる。計画の基本方針に示す中心市街地活性化策に掲げる遊休不動産等の有効利用やまちなか居住推進を図るため、まちづくりや中心市街地活性化に関わる市民や各種団体の積極的な参画や庁内関係各課との連携により、賑わいの創出と立地適正化計画の居住誘導区域への緩やかな誘導を図る。	B
◎市民ニーズを活かした協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 住民懇談会の開催などによる市民の視点やニーズを活かしたまちづくりの推進と連携 市民がまちづくりに参画し、主体性をもって取り組める態勢の構築 		県や庁内各部局と連携、さらには100人衆会議の開催や大町岳陽高校等からの意見を反映し、まちなか回遊の仕組みづくりを進め、地域の特性や、住民のニーズに沿った緑地等の整備の検討を進めている。	B

【調和と秩序ある都市計画区域・用途地域の設定】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
都市計画区域等の設定・見直し	<ul style="list-style-type: none"> 市民要望や将来性を踏まえ、居住可能区域全域を対象とした都市計画区域の設定・見直し まちづくりとしての現状と、将来需要予測に基づく用途地域の設定・見直し 	建設課	大型商業施設の稼働や駅周辺の宿泊施設立地による、周辺環境や交通環境等の変化を踏まえ、中心市街地活性化に向けた用途地域の見直しの必要性について検討を進めている。また、市の具体的な指針を示す立地適正化計画を作成し、その実現に向け、進捗管理を実施する。	B
計画的な土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な土地利用の推進と適正かつ調和のとれた開発計画の誘導 都市の風致や美観の維持・保全と地域特性を踏まえた地区計画の検討 		定住促進につながる総合的な見地から、引き続き計画的な土地利用の推進に向けて取り組むとともに、社会情勢の変化や土地利用の推移などに応じ、都市の風致や美観の維持・保全を踏まえた地区計画等の必要性についても検討を図る。	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

【中心市街地の活性化】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
中心市街地における施設整備の推進（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地への人の誘導化策を踏まえた施設整備の推進 市街地緑化の推進 	建設課	「緑の基本計画」の策定により、市民の緑化意識の高揚や市街地緑化の推進及び、市街地への誘客効果などを踏まえ、駅前交通広場や駅前広場公園、また、中心市街地に近いポケットパークに花壇を整備した。民間主体による、植栽の継続した維持管理が広がりつつある。	A
		商工労政課	芸術祭やイベント実施により一時的な賑わい創出は実現、今後、各種助成制度による施設整備を推進し、誘導化の促進を図る。 第4次基本計画に基づく区域内の用地選定、コンパクトシティ化に向けた調整・検討に継続して取り組む。	B
市営住宅団地等の新設（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティを推進するための中心市街地への市営住宅団地等の整備 	建設課	新設団地用地選定庁内検討委員会を組織し、建設候補地選定を進めており、令和4年度中に決定する。	C
		商工労政課	第4次基本計画に基づく区域内の用地選定、コンパクトシティ化に向けた調整・検討に継続して取り組む。	B

【都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地域高規格道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域高規格道路 松本系魚川連絡道路の整備促進 道路計画の推進に向けた沿線住民との連携強化 大町市街地ルート選定に向けた意見集約等の促進 	建設課	大町市街地区間について西ルート帯が最適なルート帯とされ、現在、その中で幅の細いルート帯案3案と選定の為の比較評価の検討を進めている。今後は、県と市の各部局と連携し、地域振興策や、まちづくりの観点からも総合的な評価をし、概略計画の決定へと進めていくとともに、市民との合意形成に努める。	B
国道の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 国道19号の2次改築や国道147号、148号の整備促進 		関係機関、団体との連携により整備促進活動を実施している。（各同盟会による要望活動）	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

県道の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 大町麻績インター千曲線、有明大町線、大町明科線、長野大町線、美麻八坂線、小島信濃木崎（停）線等、幹線県道の整備促進 		<p>関係機関、団体との連携により整備促進活動を実施している。（各同盟会による要望活動）</p>	B
都市計画道路（街路）の整備	<ul style="list-style-type: none"> 中央通り線等の整備促進や、土地利用や緊急性を踏まえた都市交通網の整備促進 		<p>中央通り線については、工事等について約9割を完了している。今後、中心市街地の整備はまちづくりと連携し要望の取組みを強化しまちなかの再生に取り組んでいく。</p>	A
◎市民協働による道路整備の促進	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備の早期実現に向けたつながりの強化と、事業への関心や意欲向上を目的とした住民説明や推進に向けた参画・協働の取組み拡大 		<p>道路整備の進捗状況や計画等、事業に対する住民の関心は高く、特に地域高規格道路松本系魚川連絡道路については、早期の着工が望まれている。関係機関、団体等と連携し実施している協議会・同盟会活動による情報発信など行うとともに、住民との合意形成が図れるよう取組みを強化していく必要がある。</p> <p>市道の整備については、自治会からの要望を大切に、市民の理解を深めるための説明会や、現場で意見を聞き、協働した建設を進めている。</p>	B

【潤いのある公園・緑地の整備推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
身近な公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、ポケットパークなど身近な公園の整備 大町の水に触れることのできる親水スポットの整備 	建設課	<p>ポケットパークについては、市民団体が主導となって園内の清掃や植栽帯の維持管理を近隣住民のボランティア活動により担ってきた経緯があるが、近年、高齢化や担い手不足から活動の継続が困難となっている。「緑の基本計画」に基づき、新たな活用の方向性と市民主体の緑地管理などを進めている。</p> <p>「水のまち」をイメージする既存の親水空間の保全や、親水スポット等の整備については、魅力あるまちなみ景観や住環境の向上に向け、民間の低未利用地であった「庵寓舎」の水場設置や、下仲町ポケットパークの歩</p>	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

			行者ルート沿いの水路の活用など、市民をはじめ、関係各課が連携した取組みを進めている。	
		商工労政課	<p>＜平成28年度に駅前親水施設整備事業基本構想を策定後、平成29年度には意見交換会を開催（全77回開催）。現行の基本構想案では水ブランド向上への効果が得難く、発展性に乏しい、「水のまち」を象徴し、中心市街地の活性化に資する、より効果的な計画を慎重に練っていく必要性を示唆、基本構想策定を延期する方針に決定。＞</p> <p>これを受け、中心市街地の歴史的建造物等を拠点に、市と包括協定締結を結ぶ（株）モンベルに依頼し水巡りクリアボトルを作成、販売したほか、男清水・女清水の水飲み場が新たに1カ所民間により整備された。地域を訪れる観光客等に「水のまち」のPRを図っていく。</p>	B
多様な用途に対応した公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画との整合を図った公園の防災機能の強化 	建設課	<p>地域防災計画をはじめ、公園周辺の宅地等の利用状況と整合を図った防災機能の強化が一定程度図られている。今後は施設を増設の検討とともに、市民への周知を図っていく。</p>	B
安全かつ適正な公園の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の点検に伴う的確な修繕と適正な維持管理 既存施設の長寿命化計画に基づく適切な更新 	建設課	<p>都市公園6箇所とその他公園6箇所について、維持管理及びトイレ等の清掃作業を委託し、安心安全な市民の憩いの場を提供できるよう維持管理している。</p> <p>遊具については、月1回職員による点検に加え、専門業者により年1回の点検作業を実施し適時修繕を実施している。</p> <p>設置から年数が経過した遊具については、今後長寿命化計画により計画的に更新を図る。</p>	B
◎市民協働による公園の維持・活用	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の維持と有効活用に向けたひとづくりによる地域連携 市民ボランティア団体等との協働による美化活動の推 	建設課	<p>ポケットパークや市民の森など、都市公園以外の公園の維持管理については、地元自治会や近隣住民等のボランティア活動と連携した取組みを行っている。</p>	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

	進	近年、住民の高齢化が進み、地域の担い手が不足しているなか、今後、施設の有効活用とともに、新たな市民団体の活動が広がり、必要な維持管理の継続に向けた取り組みを進める。
--	---	--

【安全で快適な道路整備・維持管理】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
生活道路の整備や安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の拡幅改良や舗装修繕等の整備・更新 歩道の新設など歩道空間の安全整備や施設の更新 道路施設の定期点検や各種調査による長寿命化対策 道路に付随する水路や側溝の維持・更新 	建設課	道路舗装及び道路重要施設（橋梁、トンネル）の長寿命化計画に基づく修繕事業の実施。また、日常点検及び通学路の合同点検、地域要望を踏まえた道路拡幅や安心・安全な歩行空間整備。	B
市道の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 道路の異常個所の早期発見と迅速な対応 	建設課	<p>道路の異常個所については、道路パトロールにより早期発見に努めているが、道路延長が長いパトロールで把握しきれない箇所は自治会等からの通報により把握している。</p> <p>軽微な補修や作業は、職員がその場で修繕等対応している。それ以外については業者に早急な修繕等を依頼している。</p>	B
除雪・排雪の充実	<ul style="list-style-type: none"> 住民との協働による除排雪の推進 市が保有する除雪機械の計画的な整備・更新 流雪溝の機能維持管理 	建設課	<p>市道・歩道の除雪は、通勤・通学などに支障が出ないよう実施している。また、市街地の排雪については、自治会等からの要請を受け早目の対応を行っている。</p> <p>除雪機械については、国庫補助等を活用して今後も充実を図り、安心安全な冬期交通を確保する。</p> <p>流雪溝については、転倒ゲートや蓋の点検を実施し、不具合が発見された箇所はシーズン前に修繕している。</p>	B
◎市道沿線の環境美化	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体やボランティア等の協働による、歩道や植樹帯等の環境美化活動の推進 	建設課	歩道や道路脇の空地の除草など、地元自治会等と連携した取り組みを行っており、今後も継続していきたい。	B
		生活環境課	市民団体等の環境美化活動により集められたごみを回収している。	B

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
市民バス利用者数	87,125人	88,000人	65,585人	少子高齢化の進行により、公共交通の重要性は増す一方、人口減少等により利用者の大幅な増加が見込めない中、運行形態の見直しや運行経費の効率化が課題。 利用者ニーズや地域の実情に応じた運行形態の検討を引き続き行う。	情報交通課
松本系魚川連絡道路調査区間指定距離 (5年累計)	36km	44km	36km	路線延長が広域にわたるため、沿線地域単位で影響や課題等が異なる状況にある。それぞれの地域ごとに議論や検討を深め、事業促進に向けた合意形成を図っていくことが重要な課題となる。	建設課
都市計画道路整備率	58.2%	60%	64%	土地利用や緊急性などを踏まえ、計画的に整備を推進する。	建設課

目標実現の条件

- ・ 松本系魚川連絡道路建設促進に向けた沿線地域の機運醸成
- ・ 社会や利用者のニーズに沿った都市計画道路の整備

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
広域的な交通網の整備に満足していると思う市民の割合	41.8%	70%
調和と秩序ある市街地の形成が進められていると思う市民の割合	11.9%	50%
中心市街地の活性化に満足していると思う市民の割合	24.1%	50%

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

身近に利用できる公園が整備されていると思う市民の割合	61.2%	75%
国営公園の有効活用が図られていると思う市民の割合	55.3%	70%
道路・水路の整備に満足していると思う市民の割合	54.1%	75%
総合的・計画的な土地利用が進められていると思う市民の割合	37.9%	50%

○関連する個別計画

大田市地域公共交通総合連携計画、大田市都市計画マスタープラン、大田市中心市街地活性化基本計画、大田市営住宅等整備計画、大田市橋梁長寿命化修繕計画、林道橋 長寿命化修繕計画、大田市通学路安全推進プログラム、大田市地域防災計画、大田市過疎地域持続的発展計画
--

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
市民バス運行事業	12166	市民バス運行事業	情報交通課
公共交通対策事業	12167	公共交通対策事業	情報交通課
特産品振興事業（ブランド振興事業）	17115	特産品振興事業（ブランド振興事業）	商工労政課
中心市街地活性化事業	17117	中心市街地活性化事業	商工労政課
道路維持管理事業	18221	道路維持管理事業	建設課
交通安全施設整備事業	18222	交通安全施設整備事業	建設課
道路新設改良事業	18232	道路新設改良事業	建設課
雪害対策事業	18241	雪害対策事業	建設課
公園管理事業	18431	公園管理事業	建設課
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
仁科三湖周辺整備事業	184310	仁科三湖周辺整備事業	建設課

◆3 快適な生活環境の形成◆

可燃ごみの発生量は、市民や事業所の努力により、近年、減少傾向が続いています。今後においても、快適で住みよい生活環境を維持し、良好な環境を次の世代に引き継いでいくために、行政のみならず、市民や事業者も互いに協力しながら、それぞれの役割と責任を果たし、社会全体で環境にやさしい循環型のまちづくりを推進します。また、法令に基づく指導・監督や事業者の調査・監視活動などを行い、悪臭、水質汚濁、騒音などの公害を未然に防止するとともに、公害問題が発生した場合には、良好な住環境の保全に向けて積極的に取り組みます。

清潔で快適な生活環境を守り、住みよい地域を形成するため、自然と暮らしが調和した山岳文化都市にふさわしい景観形成を推進するとともに、居住環境の向上を目指した住宅改修等や市営住宅の計画的な改修等住環境整備、水洗化の促進等により質の高い生活基盤の充実を進めるとともに高度情報化社会への対応を図ります。

【廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
廃棄物の適正処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やCATV等によるごみ・資源物の出し方の周知 ・産業廃棄物の発生抑制と適正処理の推進 ・不適正処理を行った者に対する指導 ・適正な収集運搬処理態勢の構築 ・民間と連携した処理態勢の推進 ・在宅医療廃棄物や災害廃棄物処理など取扱困難・多量廃棄物の適正処理態勢の構築 ・広域連合一般廃棄物処理施設 北アルプスエコパークの建設促進と広域ごみ処理態勢の推進 	生活環境課	平成30年8月より北アルプスエコパークでのごみ処理が開始され、順調にごみ処理広域化が進められている。可燃ごみ、金属ごみ及び資源ごみの収集運搬についても適正に行われている。	A

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

<p>ごみの減量化と資源化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ごみの減量化の啓発活動の推進 • 循環型社会形成に関する情報の提供や学習会の充実 • 事業者へのごみの減量と資源化の促進 • 過剰包装の抑制やマイバック利用等の啓発活動の推進 • フリーマーケットやバザー、不用食器回収などリサイクル活動の支援推進 • グリーン購入法に基づくリサイクル商品等の購入促進 • 生ごみ堆肥化容器購入補助やダンボールコンポスト普及による生ごみの減量化と資源化の促進 • 自治会単位や大型宿泊施設等からの生ごみ堆肥化の拡大 • 剪定枝木類の資源化の検討 • 食品ロス削減の推進 • 市民委員会によるごみの減量とリサイクル策の検討と検討結果の推進 	<p>生活環境課</p>	<p>広報誌やホームページにおいてごみの減量化・資源物の分別に関する啓発を実施</p> <p>生ごみ堆肥化等処理容器への設置補助を実施。生ごみの堆肥化事業については、学校給食や福祉施設、宿泊施設、協力自治会、飲食店から排出される生ごみを堆肥化している。生ごみの堆肥化について、協力いただける施設や自治会などの拡大を図っている。生ごみ回収量については、コロナウィルス感染症の感染拡大防止に伴う宿泊施設や飲食店利用者の減少から、160トンとコロナ禍以前からは減少している。</p> <p>文化祭来場者に対し生ごみ堆肥を配布し、ごみ再資源化に関する広報活動を実施</p>	<p>B</p>
<p>◎協働による資源循環型社会のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リフューズ（発生抑制）、リデュース（排出抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）の4Rの推進 • 市民団体やPTA等が行うリサイクル事業への支援協力 • ごみの分別や再資源化に関する情報の提供や学習会の開催 	<p>生活環境課</p>	<p>市民団体に構成される「3Rの会」の不用食器のリサイクル事業及びごみ処理に関する学習会への支援を行った。</p>	<p>B</p>

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

<p>不法投棄対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報啓発活動の強化 ・ 環境保全推進員の設置 ・ 不法投棄防止パトロールの実施 ・ 地域や団体等との連携による不法投棄ごみの早期回収の実施 ・ 広域連合、県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進 ・ 河川ごみ防止啓発活動の推進 ・ 警察との連携による取り締まりの強化 ・ 常習箇所への監視カメラ設置による監視態勢の強化 	<p>生活環境課</p>	<p>不法投棄パトロールや不法投棄常習箇所への啓発看板の設置による、美化保全の実施。</p> <p>環境保全推進員により集められた不法投棄ごみの回収。</p> <p>信濃川水系の上流部に位置する地域として、下流域へのごみ流出を防止するため、5月から11月末まで、町川尻の旭町水門にオイルフェンスを設置するほか、市街地の小河川5箇所にもスクリーンを設置し、ごみ回収を行っている。</p>	<p>B</p>
<p>廃棄物処理施設の適正管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終処分場（グリーンパーク）の適正な管理運営 ・ 広域連合一般廃棄物処理施設（北アルプスエコパーク）への移行後の環境プラントの解体工事促進と跡地利用の検討 ・ クリーンプラントの適正な運営管理 ・ 堆肥センターの適正な運営管理 	<p>生活環境課</p>	<p>最終処分場の適正な運営管理に伴う地元自治会との定期協議を実施。第1期埋立跡地に自然エネルギーの活用を目的とした貸出事業を実施（太陽光発電設備）。現在、令和9年度以降の一般廃棄物の最終処分の方針について検討を進めている。</p> <p>旧環境プラント焼却棟については、令和4年3月に北アルプス広域連合へ譲渡し、今後は北アルプス広域連合において、令和5年度に焼却棟の解体撤去、令和6年度に跡地への資源ごみストックヤード棟の建設を進める計画である。現在、地元自治会や北アルプス広域連合と事業実施に伴う協議を進めている。</p> <p>クリーンプラントの適正な運営管理を行うため、計画的な修繕を進めている。クリーンプラント、上下水道課の浄水センター及び北アルプス広域連合大町リサイクルパーク運営に関する地元自治会との懇談会を実施。</p> <p>堆肥センター監視委員会の開催をした。</p>	<p>B</p>
<p>◎環境に配慮し行動する市民の気運醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座やごみ処理施設見学等、環境教育・学習の充実 ・ 循環型社会の構築やごみの適正処理に不可欠な知識や見識を深めるための、子どもから高齢者までを対象に 	<p>生活環境課</p>	<p>毎年市内の小学4年生や各種団体の施設見学を実施した。</p>	<p>B</p>

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

	した継続的な環境教育の実施			
--	---------------	--	--	--

【公害対策の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
調査監視活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査、監視活動の推進 事業所の環境影響調査、監視活動の推進 	生活環境課	自動車交通騒音測定、ダイオキシン類の調査を実施。いずれも基準値を下回っており、公害となるような事例はなかった。	B
発生源への指導・監督	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止策の実施、法令に基づく指導監督 公害発生源に対する改善指導 融資・助成制度による改善支援 		騒音規制法及び振動規制法に基づく届出の受理、事業所に対する指導等を行っている。 公害苦情の処理は、畔焼きや刈り草焼きの煙、堆肥の悪臭など農作業に起因する苦情が増加しており、作業方法や作業時間の見直しをお願いしているが対策が難しく課題となっている。	B
臭気発生施設の監視・指導	<ul style="list-style-type: none"> 悪臭防止法に基づく指導監督 臭気測定、臭気観測等による環境影響調査 他市町村の臭気対策状況調査 		臭気発生施設については、臭気測定と職員による臭気パトロールを継続して実施しながら監視を強化している。	C

【豊かな自然・文化と調和した景観の形成】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
景観形成の誘導・保全	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある景観形成に向けた住民への誘導 地域の特色ある田園・里山景観の保全 景観形成条例等の制定に向けた検討 	建設課	大町らしい景観の保全、良好な都市景観の形成については、地域の特色を生かした景観づくりを支援するため、関係する部署や団体等が連携して取り組み、住民への誘導・支援を図っていく。 現在、本市独自の景観条例は無く、県の景観計画と条例に基づき事務を行っているほか、平成27年に「大町市開発指導要綱」を制定し、比較的小規模な開発等にお	B

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

			<p>いても、周辺住民への周知や合意形成について従前よりきめ細かな指導に努めている。</p> <p>景観法に基づく独自の条例制定及び景観計画の策定については、先進都市の取り組み状況を参考に研究を進めていく方向としているが、田園や山林など、守るべき景観資源の継続した保全に向けた取り組みはもとより、土地所有者をはじめとする住民の合意形成を図っていくことが課題となる。</p>	
◎良好な景観形成に向けた住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性に応じた景観育成に向けた住民協定の締結支援 地域の景観育成に向けた住民意識の啓発に対する取り組み 		<p>現在、市内2地区（温泉郷、北山田町）において自主的なルールによる景観育成住民協定が締結され、地域特性に応じた景観育成の取り組みが行われている。現状、様々な関連施策との連携や住民参画等を踏まえながら、景観形成の誘導・支援を図っていく方向として位置付けているが、今後、地域における景観育成の範囲等を明確にしていくことが課題となる。</p>	B
田園・農村景観等の保全	<ul style="list-style-type: none"> 棚田等地域の特色ある田園風景の保全 里山景観の保全 	農林水産課	<p>中山間地域等直接支払事業及び多面的機能支払事業を活用し、里山等の景観保全に取り組んでいるが、高齢化等による人手不足及び後継者不足が課題である。新規就農者及び移住者等に農地等の情報を提供していく。</p>	B
		八坂支所	<p>農地の保全を図るため、中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業を活用していく。各地区の広域化が課題であり、引き続き関係団体と協議を進めていく。</p>	C
		美麻支所	<p>中山間地域等直接支払い事業や多面的機能支払事業を実施し、里山・景観の保全を行っている。</p>	B

【住宅環境の向上】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
住宅等の改修支援	<ul style="list-style-type: none"> 住宅のリフォーム等、居住環境に係る支援 	建設課	<p>安心・安全住宅リフォーム支援事業により、既存住宅の改修が進み、住宅性能が向上することで、定住促進を</p>	A

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

			図るとともに、市内経済の活性化にも資することができた。また、防災減災外構工事を補助対象とすることにより、地域防災力の向上にも寄与している。	
住宅情報等の提供	・住まいづくりに関する相談態勢の充実		県及び市が支援するマイホーム取得助成等事業の説明など、関係する部署と情報の共有・連携を図り、住まいづくりに関する適切な情報提供に努めている。	B
公営住宅の整備	・市営住宅等整備計画に基づいた市営住宅等の整備 ・中心市街地への市営住宅団地の整備によるコンパクトな市街地の形成		平成28年3月に策定した市営住宅等整備計画に基づき市営住宅の整備を推進している。令和3年度は、借馬団地改修工事（12棟31戸）を施行した。	B

【下水道の整備と水洗化の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健全な下水道事業の推進	・資産の適正管理と有効活用を図るアセットマネジメントの推進と維持管理の効率化	上下水道課	下水処理施設及びマンホールポンプ場の維持管理については、包括的民間委託による専門的技術によって、効率的な施設の運転管理を継続している。	A
施設の適切な更新	・公共下水道や農業集落排水施設の長寿命化計画に基づく計画的な施設の更新		下水処理施設については、一部施設を除き長寿命化と耐震対策が完了。今後は管渠を含めた下水道施設全般のストックマネジメント基本計画を基に、優先度と収支予測を考慮した施設更新に取り組む。	A
水洗化の促進	・公共下水道や農業集落排水施設への接続促進 ・合併処理浄化槽の設置と適切な維持管理の促進		下水道接続促進は、地域を定めた未接続世帯に対し、アンケート方式による接続への意向調査とともに、「リフォーム補助」の活用を促した。 合併処理浄化槽の設置と適正な維持管理事業補助金により、適切な浄化槽管理の促進を実施した。	B
下水道処理広域化の検討	・近隣町村との施設共同処理・行政区域外接続等による広域化の検討		下水道汚泥の共同処理による効率化に向け、管内事業者と情報交換を実施した。 処理施設の共同化・広域化に向け、関係事業者と調整を図り、課題や具体的な手法について検討を進めている。	B

【高度情報化社会への対応】

進捗状況：A…順調 / B…おおむね順調 / C…やや遅れている / D…遅れている / E…未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
電子自治体の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住民票や印鑑証明書などのコンビニでの交付サービスの導入 子育て支援の円滑化を図るための子育てワンストップサービスの導入 電子申請届出システムの拡充など行政手続きのオンライン化の推進 マイナンバーカードの多目的利用の検討 	情報交通課	平成29年度にサービスを開始したコンビニ交付サービスの基盤を利用し、令和2年度に市民課窓口で住民票や印鑑証明書等の交付申請が行える窓口証明書交付サービスを導入。今後は、コンビニ交付証明書の拡充及び行政手続きのオンライン化の拡充を図る。	A
◎ITリテラシー向上のための事業	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの危険性等への理解やマイナンバーカードの利用に対応した講習会等の開催 ITを積極的に活用するための知識の向上を図る講習会等の開催 		民間によるパソコン教室を市総合情報センターでの開催に加え、ICT学習活動推進協議会を設立し、プログラミング講座等の開催や市内小学校へのプログラミングロボットの貸出しを実施。	B
情報通信基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 市内情報通信基盤の平準化を図るための八坂・美麻地区における情報通信基盤の更新 国が推進する超高精細放送（4K、8K）への適切な対応 民間と連携した高度情報通信基盤の整備促進 		超高精細度放送（4K、8K）は対応済みであるが、八坂・美麻地区の伝送路更新については、国の補助事業など有利な財源を確保できるよう、関係機関と連携を密にしている。	C
情報セキュリティ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信システムの適正な管理によるネットワークシステムへの不正侵入、情報改ざん、漏えい等防止対策の推進 適正な情報機器の維持管理の推進 		番号制度の開始に伴い、情報系ネットワークからインターネットを分離するとともに、県セキュリティクラウドの共同運用を開始し、県域での情報セキュリティ対策を実施している。	A

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
市民1人1日当たりの可燃ごみ排出量	694g	617g	639g	更なるごみの減量化に向け、普及啓発に取り組む。	生活環境課
ごみの再資源化率	19.3%	21%	16.8%	資源物分別の徹底	生活環境課
公共下水道の水洗化率	68.3%	70%	74.1%	アンケート調査では、高齢者世帯や経済的な理由から接続に消極的な回答が多く課題である。	上下水道課
農業集落排水施設の水洗化率	88.2%	90%	92.3%		上下水道課
市営住宅の水洗化率	41.9%	55%	52.6%	市営住宅等整備計画に基づく推進	建設課
電子申請届出システム搭載手続き数	3件	10件	31件	電子申請届出システム認知度向上	情報交通課

目標実現の条件

- ・現在のごみ・資源物の分別方法の徹底と品質の維持の継続
- ・マイナンバーカードのさらなる普及

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
ごみ処理など生活環境整備に満足していると思う市民の割合	75.4%	80%
リサイクルの推進など環境問題への対応に満足していると思う市民の割合	71.9%	80%
自然と調和した景観整備に満足していると思う市民の割合	58.4%	75%
住宅や宅地の供給に満足していると思う市民の割合	55.1%	60%
ITを活用した情報化施策に満足していると思う市民の割合	48.2%	70%

○関連する個別計画

大町市一般廃棄物処理基本計画、大町市分別収集計画、広域連合大北地域循環型社会形成推進地域計画、広域連合ごみ処理施設基本計画、大町市都市計画マスタープラン、大町市営住宅等整備計画、大町市地域情報化推進計画、大町市過疎地域持続的発展計画

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

様式第1号

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
	12193	電子自治体構築事業	情報交通課
	14214	不法投棄対策事業	生活環境課
クリーンプラント運営管理事業	14233	し尿処理事業	生活環境課
生ごみ堆肥化事業	14243	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所

施策評価票

第5 市民の参画と協働でつくるまち

1 市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進

- ◎市民参画と協働によるまちづくりの推進
- ◎過疎地域での地域づくりの推進

2 多様性に満ちた共生社会の実現

- ◎人権教育・啓発の推進
- ユニバーサルデザインの推進

3 市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築

- 行政情報の積極的な提供
- ◎情報通信技術を活用した市民サービスの向上
- ◎都市間交流と国際交流の促進
- 広域連携の推進
- ◎健全で持続可能な財政運営
- ◎公共施設等の適正管理
- ◎職員の資質向上と育成

◆ 1 市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進 ◆

市民のまちづくりに対する意識も徐々に変化し、自ら積極的にまちづくりに取り組むひとが年々増加していますが、一方で、高齢化による担い手不足等、新たな課題もあり、自治会の運営においても大きな課題となっています。

自治会活動は、協働によるまちづくりの推進や災害発生時の対応などにおいて極めて重要な役割を担っています。自治会の果たす役割を再認識するとともに、加入しやすい自治会運営の見直しなどの取組みに対し支援を行い、加入者の増加につなげます。担い手不足の課題解決に向けては、団体間の連携強化、市民ボランティアの育成などを行いながら、ともにまちづくりを推進する態勢づくりを構築します。

また、市民に開かれた市政の実現を目指すために、施策の形成過程の段階から市民に積極的な情報提供を行うとともに、市民意見の的確な把握に努め、施策に反映させるための取組みを進めます。

【市民参画と協働によるまちづくりの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎市民がまちづくりに参加しやすい態勢づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画と協働による市政の必要性の啓発 世代間交流等の場の提供を通じ、市民のまちづくり活動への参加の促進 市民活動団体の活動の市民への周知と、市民活動への参加意欲の喚起 学校と連携したまちづくりの推進 協働のまちづくりの基本となる条例等の制定検討 		「ぼくらの市民活動フォーラム」は、昨年から実行委員会の主催とし、市民自らが企画の段階から参画した。市民活動やまちづくりに積極的に取り組んでいる団体から活動報告を行い、活動を市民に周知するとともに、団体相互の情報交換の場となった。	A
まちづくり活動団体の支援・育成・連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的・主体的なまちづくり活動の支援と育成 まちづくり活動助成制度の拡充 まちづくり活動団体の交流促進と連携強化 市民活動サポートセンターの機能充実と利用促進 企業との連携、企業のまちづくり活動の参加促進 	まちづくり交流課	ひとが輝くまちづくり事業は、コロナ禍によるまちづくり活動団体の活動停滞により、応募が少なく、追加募集を行った。感染対策や情報提供により、コロナ禍でも活動が停滞しないような支援を継続する。	B
情報の収集と発信	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動の情報収集と発信による情報共有 有効な情報伝達手段の検討 		各団体の活動やイベント情報は、ホームページ、掲示板、フェイスブックや、市役所入口に設けた「サポセンコーナー」において情報発信している。また、広報でも定期的に団体の情報発信を継続する。	A

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

<p>自治会等地域コミュニティ活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等地域コミュニティの機能・役割の明確化と重要性の啓発 連自治会との連携による自治会活動のあり方や役割の見直しと自治会加入促進運動の推進 自らの地域に誇りと愛着が持てるような自治会活動への支援 自治会、地域コミュニティ活動の情報発信 お互いの顔の見える安心な地域づくり活動の支援 		<p>自治会への新規加入がある一方で、脱退が増えていることが加入率低下の要因となっている。広く市民や移住者に加入を促進するため、連自治会が発行している「おらほのまち」に自治会の重要性や自治会活動の楽しさを伝える記事を掲載し加入啓発を行う。また、自治会役員の担い手不足解消のため、自治会長等への委員委嘱数の軽減を図る。</p>	<p>B</p>
<p>NPO 等の活動支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> NPO 等の活動に関する情報提供 NPO 等の活動に対する支援 		<p>NPO の設立、相談については、県が窓口となるため県と連携して進めている。また、団体には、設立や運営の研修等の情報を発信し、参加を呼び掛けている。</p>	<p>A</p>
<p>◎市民ボランティアの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動を支援する市民ボランティアの育成 		<p>市民ボランティアについて団体からの要望があった際に、ホームページ等で募集を行っている。</p>	<p>B</p>
<p>地域コミュニティ活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公民館分館等の施設整備等に対する支援 	<p>生涯学習課</p>	<p>コミュニティ振興対策事業補助金や分館事業補助金を交付し、活動を支援している。</p>	<p>A</p>
<p>市政への市民参画の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市が設置する審議会等への市民公募の委員選任 施策の策定段階におけるパブリックコメントによる市民意見の施策への反映 市民団体・グループ等との行政懇談会の開催 市長への手紙、メールの制度周知と提案内容等の反映 市民意識調査、ホームページなどを活用した市民要望の的確な把握 	<p>企画財政課</p>	<p>市が設置する審議会等の委員を市民から公募し、選考審査会において委員候補者を選考することにより、市民意見を施策へと反映させる環境を整えている。</p> <p>「パブリックコメント手続き要綱」に基づき、様々な計画や施策等の形成過程において、市民意見を幅広く反映させるための手続きについて統一を図っている。</p>	<p>B</p>
		<p>まちづくり交流課</p>	<p>地域懇談会は、市連自治会の通年事業として位置づけ取組んでいる。また、連自治会常任委員会、各地区自治会長と市長との懇談会を開催している。</p>	<p>B</p>
		<p>情報交通課</p>	<p>まちづくり行政懇談会は2回開催。市長への手紙・メールの周知は令和3年7月号に掲載し実施。手紙は61件、メールは72件、合計133件寄せられ一定の成果を上げている。</p>	<p>B</p>

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

【過疎地域での地域づくりの推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
過疎対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 過疎計画に基づく地域インフラの整備やソフト事業の導入による効果的な過疎対策事業の推進 	企画財政課	過疎債を活用しながら、道路整備、簡易水道等の地域インフラ整備や山村留学のソフト事業などを実施し、地域振興に取り組んでいる。	B
地域づくり委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 八坂・美麻地区における地域づくり委員会の積極的な運営 	八坂支所	八坂地域づくり委員会を定期的に関催し、地域の課題を掘り起し、課題解決に向けての取り組みを積極的に行っている。	B
		美麻支所	市民の意見を市政に反映するために年5回の会議を開催し、地域課題に対する意見書を提出。また、新過疎計画策定に係る意見を述べた。	B
◎過疎地域における市民によるまちづくり活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 八坂地域づくり協議会の活動支援 美麻地域づくり会議の活動支援 地域間交流や公共土木施設愛護の推進 	八坂支所	八坂地域づくり協議会の運営に補助金を交付し、活動の支援を行っている。協議会では毎年、地区内の観光スポット（唐花見湿原、相川ポケットパーク等）の整備を協議会役員や、地元自治会やボランティアが参加して、共同で実施している。そして、地域間交流事業（八坂秋まつり）や公共土木施設愛護事業を推進することで、地域の住環境の向上と活性化に繋げている。	B
		美麻支所	地域課題解決や地域づくりの促進のため積極的な活動支援を行っている。また、人口減少が著しい美麻地区では、地域の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる仕組みとして「小さな拠点」の設置と地域運営組織の形成支援を行う。	A

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
市民活動サポートセンター登録団体数	150 団体	180 団体	139 団体	市民活動団体の市民への周知	まちづくり交流課
市民活動サポートセンター利用者数	2,500 人	2,800 人	1,850 人	コロナ禍に対応したサポートセンターサービスの充実	まちづくり交流課
自治会加入率	76.3%	80%	71.40%	自治会加入促進の強化	まちづくり交流課
審議会等の公募委員数	86 人	100 人	89 人	応募者の減少が顕著であり、応募者の固定化が進んでいる。 (令和3年度：21件)	企画財政課
パブリックコメント実施件数	20 件	25 件	31 件	積極的な意見聴取のため、幅広く周知する必要がある。 (令和3年度：14件)	企画財政課

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
地域づくり活動への支援に満足している市民の割合	64.3%	80%
「市民参加と協働」の必要性に対する市民の理解度の割合	80.6%	85%
市民参加による協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合	17.1%	50%
市民の声の市政への反映度に満足している市民の割合	44.5%	60%
自治会等の地域コミュニティ活動が強化されていると思う市民の割合	12.4%	50%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、市民参加と協働のまちづくり推進基本指針、大町市過疎地域持続的発展計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
	12181	市民活動サポートセンター運営事業	まちづくり交流課

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

市民活動促進事業	12182	市民活動促進事業	まちづくり交流課
ひとが輝くまちづくり事業	12183	ひとが輝くまちづくり事業	まちづくり交流課
コミュニティ対策振興補助金	110415	公民館分館整備助成事業	生涯学習課
	110433	大町公民館活動費	生涯学習課
	110435	平公民館活動費	生涯学習課
	110437	常盤公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
美麻地域振興事業	121125	美麻地域振興事業	美麻支所
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課

◆2 多様性に満ちた共生社会の実現◆

今日においても差別や偏見、いじめ、虐待などの様々な人権問題が存在しており、近年では、インターネット等を使った人権侵害も発生しています。様々な人権問題を解決するためには、個人の尊厳を重んじ、市民一人ひとりが人権を尊重する精神を培う学習を積極的に推進していくことが大切です。人権教育を通じて人権問題を自分自身の問題としてとらえ、生涯各期に即した学習活動を積極的に展開していきます。

また、年齢や性別、国籍を問わず、それぞれの人権を尊重しつつ責任や役割を分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる社会を形成していくため、年少時から発達段階にあわせた教育や環境づくりが大切であり、あらゆる機会を通じて、人権意識の向上と啓発の推進に取り組み、全ての人が安心して生活できる共生社会の実現を目指します。

【人権教育・啓発の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎人権政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「人権教育及び人権啓発に関する基本方針」に基づく人権政策の推進 幼稚園、保育園、学校、家庭、地域、企業等あらゆる場を通じた人権の意識高揚と啓発の推進 	まちづくり交流課	人権擁護委員と連携し、文化祭会場において街頭啓発を実施。新型コロナウイルス感染拡大により、他の場所での啓発活動を中止し、市長メッセージやホームページを利用した啓発活動を実施。	B
		生涯学習課	人権教育を進めるために学校、地域、企業の指導的立場にある人たちにより人権教育を推進する組織を設置している。 幼保小中高校の担当者による学校人権教育研究委員会を組織し、情報共有を行っている。	A
人権擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権特設相談等、被害者救済のための活動支援 	まちづくり交流課	人権擁護委員による特設相談所、常設相談所、子どもの人権相談所の開設情報を、広報紙やホームページ等を活用しながら周知した。	A
◎男女共同参画の意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体等と連携協力し、全市的な広がりを持つ啓発と実践活動の推進 		新型コロナウイルス感染拡大により男女共同参画フォーラムは中止。男女共同参画コミュニケーターや女性団体連絡協議会と連携し、啓発活動を行っていく。	C

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

◎意識啓発の推進・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民の理解と認識を深める、地域の実態に即した学習機会の充実 		各地区での学習会を開催し、男女共同参画に対する理解を深め、男女お互いの人権を尊重する意識を高める啓発活動を行う。	C
◎人権を尊重する社会づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から人権感覚を培う、生涯各期の学習活動の推進 ・人権尊重意識を高める機会の提供と支援 		<p>人権を考える市民の集いを6地区で開催し、地域の学校や社会で共通した人権意識の発揚を図っている。</p> <p>学校人権教育研究委員会で、保育士、教師の人権に対する意識を高め、幼児期から人権感覚を育てる環境を整えている。</p>	A
◎様々な場を通じた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における人権教育の推進 ・企業における人権教育の推進 ・学校における人権教育の推進 	生涯学習課	<p>人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会を組織し、社会人権教育を進めるとともに、学校人権教育研究委員会を通じて幼稚園、保育園、学校における人権教育の推進に努めている。人権教育を広く浸透させていくためには、地道な活動を粘り強く継続していく必要がある。</p> <p>八坂・美麻地区では、高齢者・熟年学級を、市民の集いに併せて開催している。</p>	A

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

【ユニバーサルデザインの推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
ユニバーサルデザインの推進	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに関する情報提供と周知啓発 建物や道路、案内サインなどの公共施設への導入促進 ユニバーサルデザインの視点に立った情報の発信 	企画財政課	<p>ユニバーサルデザインとは、年齢・性別・国籍・個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加ができる環境を整えることである。</p> <p>「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けたSDGsと同じ方向を目指していることから、SDGs推進に向けた共通の情報提供や周知啓発により理解を深めていく。</p>	B

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
人権を考える市民の集い参加者数	1,756人	1,800人	1,020人	新型コロナウイルス感染症の影響により一般参加者が減少。	生涯学習課
各種審議会等の女性委員参加率	25.6%	30%	26.10%	男女共同参画の啓発活動の推進	まちづくり交流課
男女共同参画のための講座・講演会参加者数	639人	700人	26人	コロナ禍に対応した講座等の開催	まちづくり交流課

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
人権を尊重する意識が高まっていると思う市民の割合	39.3%	50%
男女共同参画の意識が高まっていると思う市民の割合	38.5%	50%
ユニバーサルデザイン社会への意識が高まっていると思う市民の割合	40.7%	50%

○関連する個別計画

大田市人権教育及び人権啓発に関する基本方針、大田市男女共同参画計画、大田市生涯学習推進プラン、大田市社会教育計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
	118000	人権政策費	まちづくり交流課
	121101	男女共同参画推進費	まちづくり交流課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課

◆3 市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築◆

人口減少に伴う税収や地方交付税の減少等により、将来的に財政規模の縮小が予測されている一方で、少子高齢社会に対応する社会保障費の増加や、老朽化が進む公共インフラの維持保全など、財政需要の増加が懸念されています。

このような状況を踏まえ、地域に活力を取り戻すための取組みを着実に進めながら、並行して健全財政を維持していくために、コスト意識に心掛け、事業評価等を通じた事業の厳選や市税の公平かつ適正な課税による財源確保など、安定した財政運営に努めます。

公共施設については、施設の統廃合や再配置、長寿命化等を実施し、本市に見合った適正な規模の施設総量を目指すとともに、施設を有効に活用することにより、持続可能な公共施設の計画的な管理・運営を図ります。

また、基礎自治体として、高度化・複雑化する行政需要に迅速かつ的確に対応した行政サービスの提供体制を継続するため、行政改革の推進や職員の育成に取り組めます。

【行政情報の積極的な提供】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
情報公開制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開制度に対応する行政情報の整備 個人情報の保護に配慮した情報公開の推進 	庶務課	公文書公開請求 合計 106件 ・公開 34件 ・一部公開 52件 ・非公開（不存在含む）19件 ・取り下げ 5件 ※複数の公文書を対象とした1件の公開請求に対し、公開・一部公開・非公開を分割して決定したものがあため、請求件数と内訳件数の合計値が一致していない。 個人情報開示請求 合計 6件 ・開示 1件 ・一部開示 4件 ・非開示（不存在含む）3件	B
行政情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市勢要覧、暮らしのガイドブックなどによる行政情報の提供充実 	情報交通課	広報おおまちは毎月発行し、市に関する記事（お知らせ・募集・イベント情報等）を掲載。読みやすい内容と	B

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

			<p>なるよう編集に努め広く市民に周知することができた。</p> <p>3年ごと発行しているくらしのガイドブックを電子化し毎年更新することにより、できる限り最新の情報を発信できるよう整備した。今後は、より分かりやすい行政情報の提供ができるよう充実に向けた検討を行う。</p>	
--	--	--	---	--

【情報通信技術を活用した市民サービスの向上】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
情報化の推進による市民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点に立った市ホームページの充実と機能改善 ・ホームページなどを活用した効果的な情報の提供と、共有による市民活動の支援 ・市民が情報を二次利用できる情報提供の充実 ・市民意見集約システムなどの広聴活動の充実 ・ビデオオンデマンドなどの動画配信による情報発信の充実 	情報交通課	<p>令和元年度に高齢者や障がい者も利用できるJISX8341-3:2016への対応及びスマートフォンなどのマルチデバイスに対応したホームページに刷新した。</p> <p>緊急情報の迅速、確実な伝達に加え、市民ニーズに合わせた情報伝達手段を確保するため、SNSと連携（令和2年度ツイッター、令和3年度LINE）</p>	B
◎自主放送番組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある自主放送番組の内容充実 ・市民リポーターの育成と協働の番組づくり ・視聴者から番組に関する意見を聴取するモニター制度の設定 		<p>大町岳陽高校放送部とコラボした番組や信州大学、包括支援センターと連携した番組を制作し、より市民が主役のコンテンツを作成。体操番組として出演者を入れ替えながら通年放送し、視聴者から好評をいただいた。市民アンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。</p>	B
ケーブルテレビ加入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビへの加入促進 		<p>テレビ離れが進むなか、放送サービスと同時に提供できるサービスについて検討している。放送コンテンツの見直しを随時行っており、市民が出演し視聴者がCATVをより身近に感じられる番組制作を行っている。</p>	B

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

【都市間交流と国際交流の促進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎姉妹都市・友好都市との相互交流	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市、友好都市との継続的な相互交流 ・自然・歴史・文化・生活等に関する理解と更なる交流の促進 	庶務課	関係課による定期的な交流を継続している。	B
		美麻支所	新型コロナウイルスの影響により令和3年度も訪問を中止。最短で令和5年度の相互訪問事業再開に向けて準備を進める。相互訪問交流の再開までは、ビデオレターによる交流やSNS等を活用したりリモート交流を実施する。	B

【広域連携の推進】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
北アルプス広域連合との連携による共同処理	<ul style="list-style-type: none"> ・広域消防、介護保険、広域的なごみ処理などの事務事業の共同処理による効率化の推進 		広域連合事務として共同処理必要とされる新たな事務事業が提案された際に相互に調整を行っている。	A
県・近隣市町村との連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス連携自立圏の活性化や生活機能の確保・充実、移住・定住の促進など交流人口の増加を図るための取組みの充実強化 ・県が策定する大北地域ビジョンに沿って地域の課題を解決するための県や町村との連携・協働による着実な取組みの実施 ・期成同盟会、広域観光等の広域連携事業の推進 	企画財政課	大北圏域における地域活性化と生活機能の確保を図るため、5市町村による北アルプス連携自立圏協定を締結し、移住定住や福祉分野など協議の整った分野から随時連携事業を進めている。(令和3年度：25事業)	B
		情報交通課	大北5市町村による共同利用や県域での共同利用により、システム調達コストの削減を図っている。	A

【健全で持続可能な財政運営】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 課税客体の確実な把握と調査に基づく適正な課税の推進、納税意識向上の啓発 徴収対策の強化と債権管理条例に基づく適正な債権管理 	税務課	<p>適正な課税客体把握のため不申告調査や申告指導及び納期内納税の推進を実施。新型コロナウイルスの影響に伴う納付困難者への納税相談や徴収猶予による対応等を実施するとともに、徴収強化の徹底や滞納処分の実施等に取り組み、税収の確保に努めた。</p>	B
	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度の活用による寄付金の確保 	企画財政課	<p>自主財源の確保や地域製品のPR等を目的として、豊富な自然を活用した「大町らしい」、「大町ならではの」アウトドアスポーツなど体験型サービスや魅力ある返礼品の導入に向け取り組みを進める。</p>	B
◎納税意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 市税のしくみや納税の理解を促進するための子ども向けホームページの作成 税に対する理解を深め、関心を高めるための情報発信や出張講座、租税教室の実施 	税務課	<p>税制改正や税の情報について、ホームページでの情報発信や、市内小中学校における租税教室を実施することができた。</p>	B
効率的な行財政運営による健全財政の堅持	<ul style="list-style-type: none"> PDC Aサイクルによる実効的かつ厳正な運用管理 財務諸表や財政推計を活用した継続的な財政分析 受益者負担適正化方針に基づく財源確保 民間活力の導入促進 適正で公正な入札の執行 基金の有効活用 	企画財政課	<p>施策評価、事務事業評価の検証等を通じ、より効率的な行財政運営に向け、統廃合を含めた事業のスリム化、適正化を推し進める。また、インフラ資産の長期的活用に向けた公共サービスの受益者負担の適正化指針を策定し、一斉見直しを実施したところであるが、今後は、減免基準の見直しに取り組む必要がある。</p> <p>基金運用に関しては、低利対策として債券運用を行い、定期的にメンテナンスを行うほか、SDGs 債の購入も行っている。公会計制度による財政諸表の有効活用に課題が残っている。</p>	B
◎詳細な財政状況の公表と説明	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成過程や決算内容、財務諸表、事業評価結果等に基づく詳細な公表と説明による、施策に対する理解度や関心の醸成と市民参画の機会の増加 		<p>予算編成過程、財政指標及び財政状況等について、理解しやすい公表に努めている。</p>	B

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

行政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革大綱の見直し 行政評価の効果的な運用 効率的な行政組織体制の検討 指定管理者制度やPFIの推進による民間資源の活用 		行政評価の実施や指定管理者制度の運用など、PDCAサイクルに基づく評価や、課題に対する改善等を繰り返すことにより、効果的・効率的な行政事務の執行に努めている。	B
---------	--	--	---	---

【公共施設等の適正管理】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
公共施設等の適正な総合管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況や維持管理コスト、老朽化度等の詳細な情報を登載した個別施設管理台帳の作成と、施設評価の実施 施設管理担当課による個別施設管理計画や長寿命化計画の策定と、推進本部による適正な施設総量とするための進捗管理 	企画財政課	<p>個別施設管理台帳において、利用者数や施設の維持管理経費、工事履歴などを集約して記録するとともに劣化問診票による評価を実施し、総合管理に努めている。</p> <p>各施設における今後の在り方や方向性が具体化していないのが課題となっており、少子高齢化の進む状況下において、公共施設のあり方を職員がまず認識することが重要である。施設管理担当者会議の開催や個別施設管理台帳の整備を行いながら、マネジメント力の向上を図っていく。</p>	C
◎市民との協働による、適正な公共施設の管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> 職員による公共施設マネジメント力の向上 市民との協働に向けた相互理解と共通認識の形成 		公共施設の適正管理や市民との協働の推進等について、担当職員への周知に努めた。	C

【職員の資質向上と育成】

進捗状況：A・・・順調 / B・・・おおむね順調 / C・・・やや遅れている / D・・・遅れている / E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎市職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実による政策法務等の業務遂行力の向上 人事評価の実施による職員の職務遂行力と組織力の強化 適切な職員管理による組織力の強化 地域活動の実践に積極的に取り組む職員の育成 	庶務課	<p>大町市人財育成基本方針を改定、大町市人財育成推進計画を策定し、令和4年度からの研修を充実させ、人財の育成に積極的に取り組んでいる。</p> <p>人事評価制度の手引きを作成し、職員に制度周知のための研修を行い、職員に人事評価制度を理解してもらった。</p>	A

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

			適正な職員配置の維持は、喫緊の課題となっている。	
◎圏域の将来像を見据えたマネジメント能力を強化	・圏域全体の行政力の向上を図る職員のマネジメント力の強化と、他市町村職員との交流による連携拡大	庶務課	連携自立圏の統一テーマ合同研修として、係長級以上を対象に「コーチングスキル向上研修」を実施した。	B
		企画財政課	北アルプス連携自立圏事業として、統一テーマによる合同研修、保育士の相互派遣の実施などにより、圏域全体を視野に入れた職員の質的向上・育成が図られた。	B

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (令和3年度)	R3数値	課題等	担当課
職員研修の実施回数	17回	19回	19回	自ら考え行動する職員を育成するため、座学以外の研修を積極的に取り入れていく。	庶務課
職員派遣研修への参加回数	36回	40回	38回	市役所外で学ぶことは、職員自身の気づきや行動変容につながることを期待されるため、今後も取り組んでいきたい。	庶務課
職員の特別研修への参加回数	26回	30回	9回	コロナの影響で開催されない研修が多かった。	庶務課
姉妹都市等との交流事業	15件	20件	5件	コロナ禍の影響を受けたが、今後も市民活動交流に繋がるような展開が必要 ビデオレターによる交流やSNS等を活用したりリモート交流を実施し、コロナ禍でも交流事業継続を図る。	庶務課 美麻支所
市税収納率	91.7%	95.8%	97.7%	新型コロナウイルスの影響に伴う徴収猶予等により収納率への影響はあったものの、目標値は達成することができた。	税務課

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

市公式ホームページへのアクセス件数	372,088 件	380,000 件	トップページ 315,431 件 サイト全体 2,173,977 件	情報発信の充実及びウェブアクセシビリティに配慮した、誰もが利用しやすいホームページの作成に努める。	情報交通課
ケーブルテレビ加入世帯数	3,159 世帯	3,900 世帯	2,922 世帯	加入者の微減が続いており、人口動態も念頭に、脱退減に向けた取り組みをおこなう。	情報交通課
ふるさと納税寄付額（5年累計）	136,527 千円	200,000 千円	1,002,049 千円	寄附者との継続的なつながりを持つ取り組みに向け、関係課との連携を強化していく。（5年累計の5年目R3：126,844 千円）	企画財政課

目標実現の条件

- ・ 税収確保のため納税義務者数等の維持（市税収納率）

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
県、近隣市町村との連携が推進されていると思う市民の割合	51.7%	60%
市からの情報提供に満足している市民の割合	67.1%	75%
市に意見を言う機会に満足している市民の割合	55.8%	70%
市民の声の市政への反映度に満足している市民の割合	44.5%	70%
市民参加型の市政が推進されていると思う市民の割合	46.5%	65%
行財政改革の推進に満足していると思う市民の割合	43.0%	50%
都市と農村等地域間交流が促進されていると思う市民の割合	14.3%	50%
国際化の推進に満足していると思う市民の割合	42.8%	50%

第5 市民の参画と協働でつくるまち

様式第1号

○関連する個別計画

大町市行政改革大綱、大町市公共施設等総合管理計画、大町市過疎地域持続的発展計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
ふるさと応援団事業	12138	ふるさと応援団事業	企画財政課
	12193	電子自治体構築事業	情報交通課
メンドシーノ姉妹都市交流事業			美麻支所
	12117	職員研修事業	庶務課